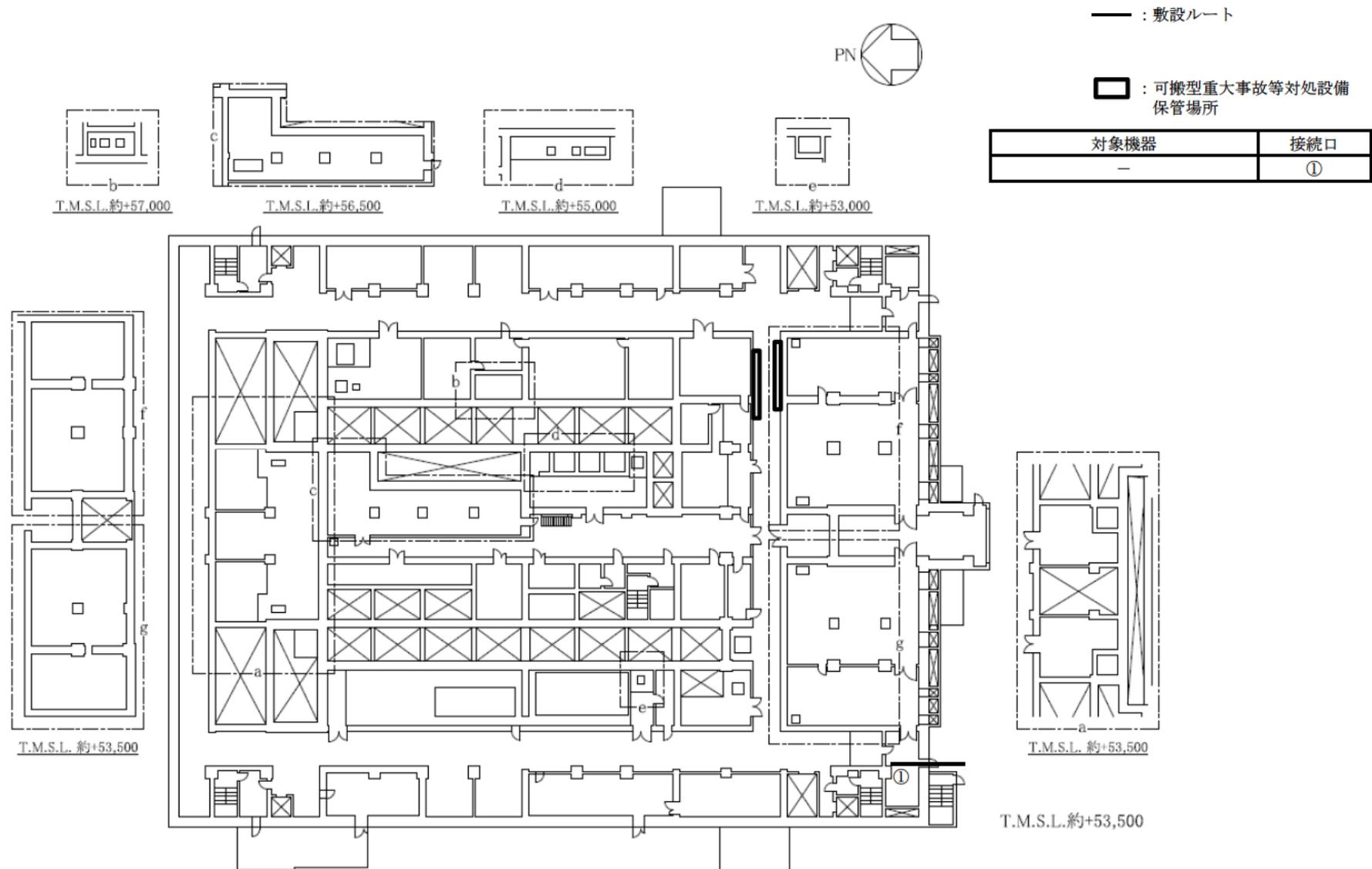
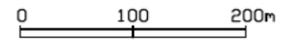
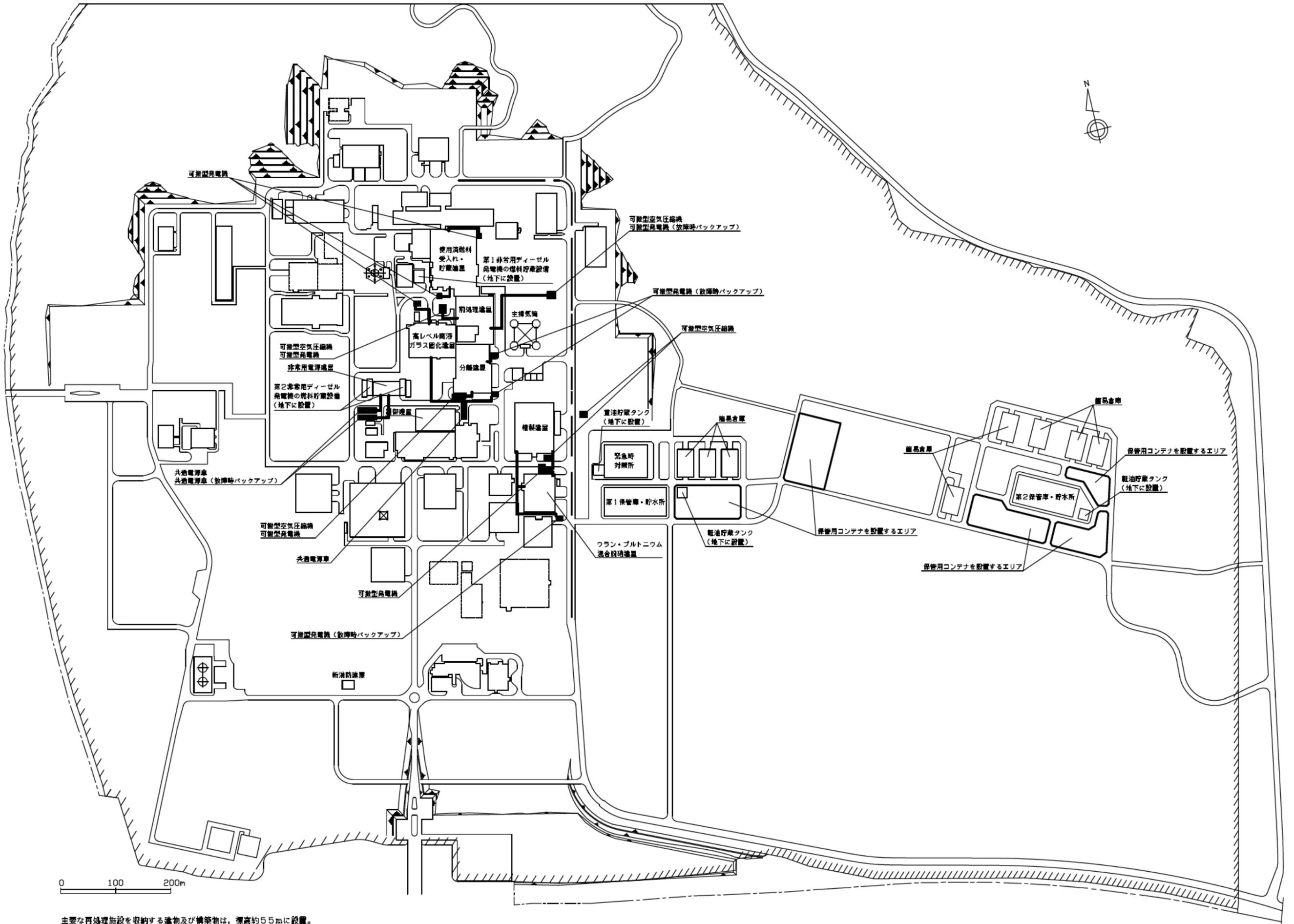


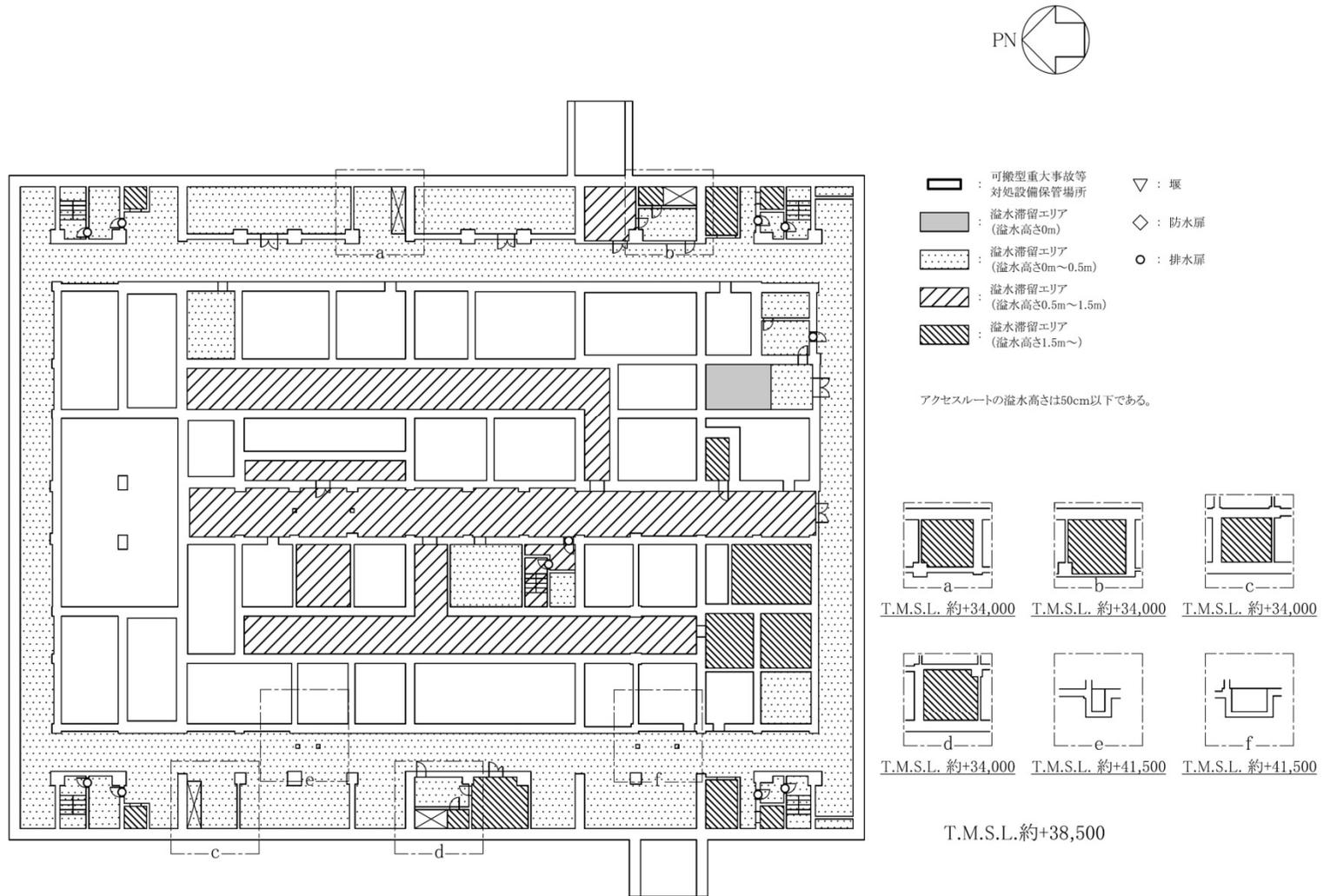
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機からの給電に係る精製建屋内可搬型電源ケーブル敷設ルート（第1接続口）（地上1階）



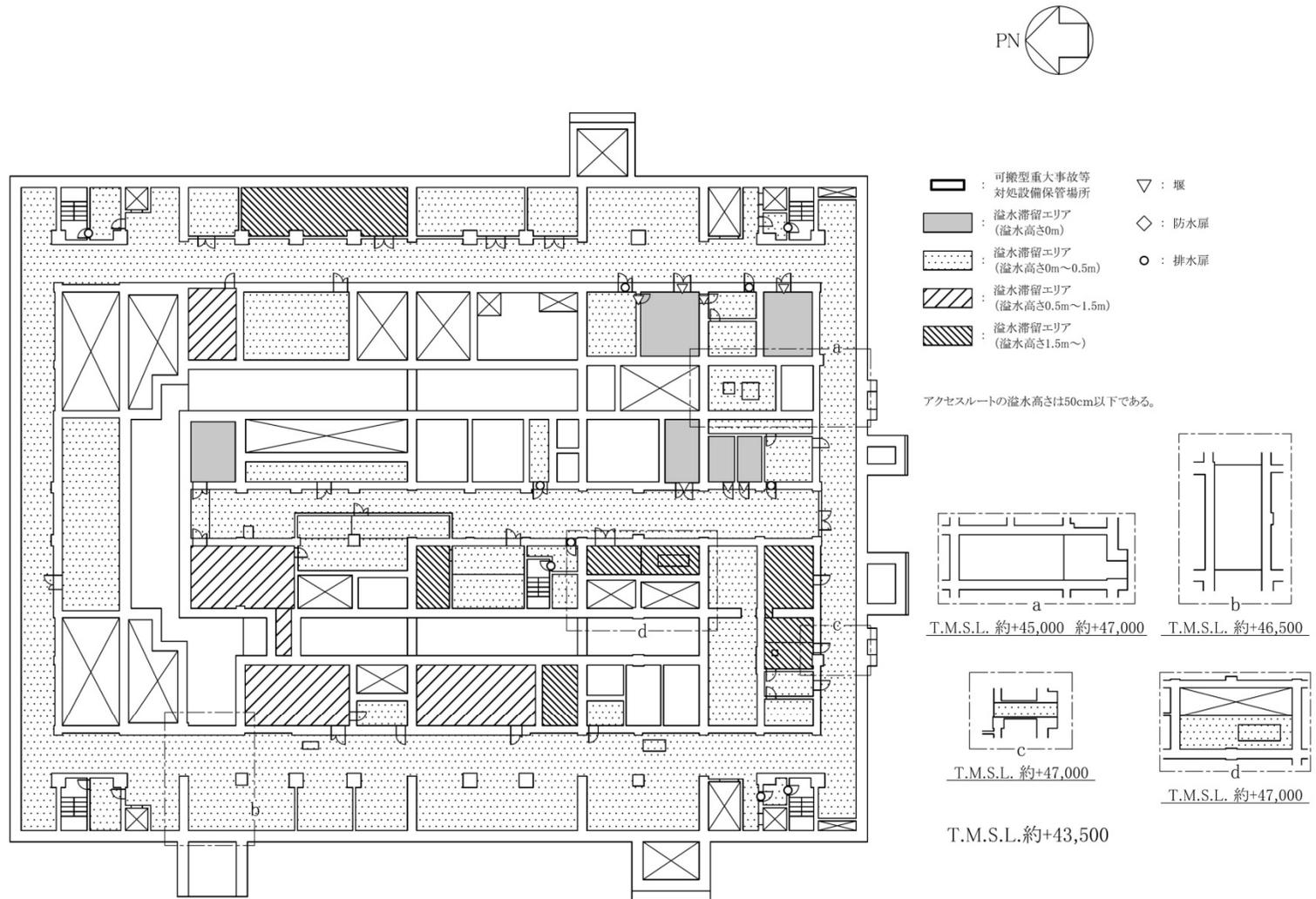
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機からの給電に係る精製建屋内可搬型電源ケーブル敷設ルート（第2接続口）（地上1階）



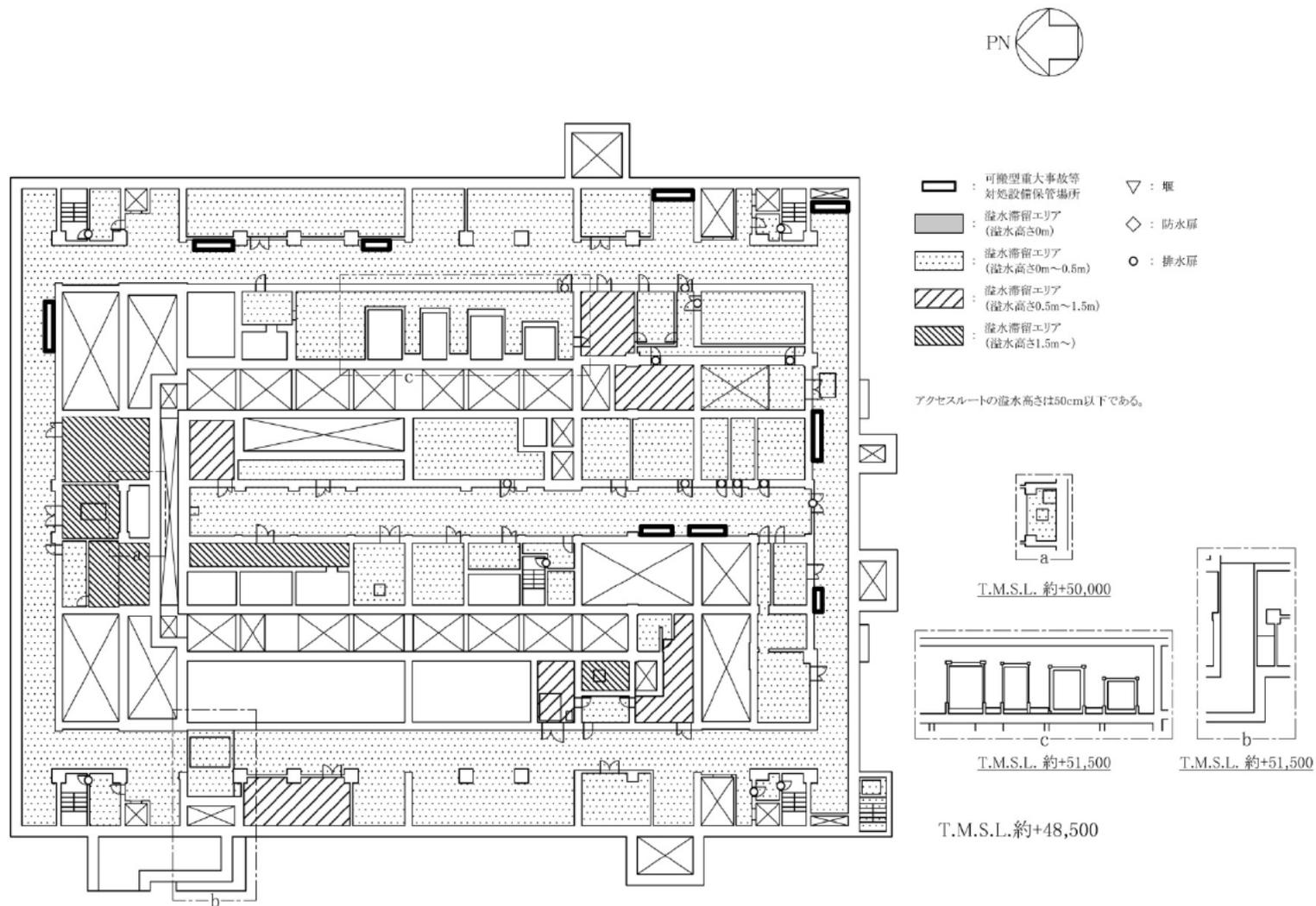
主要な再処理施設を収納する建物及び構築物は、標高約55mに設置。



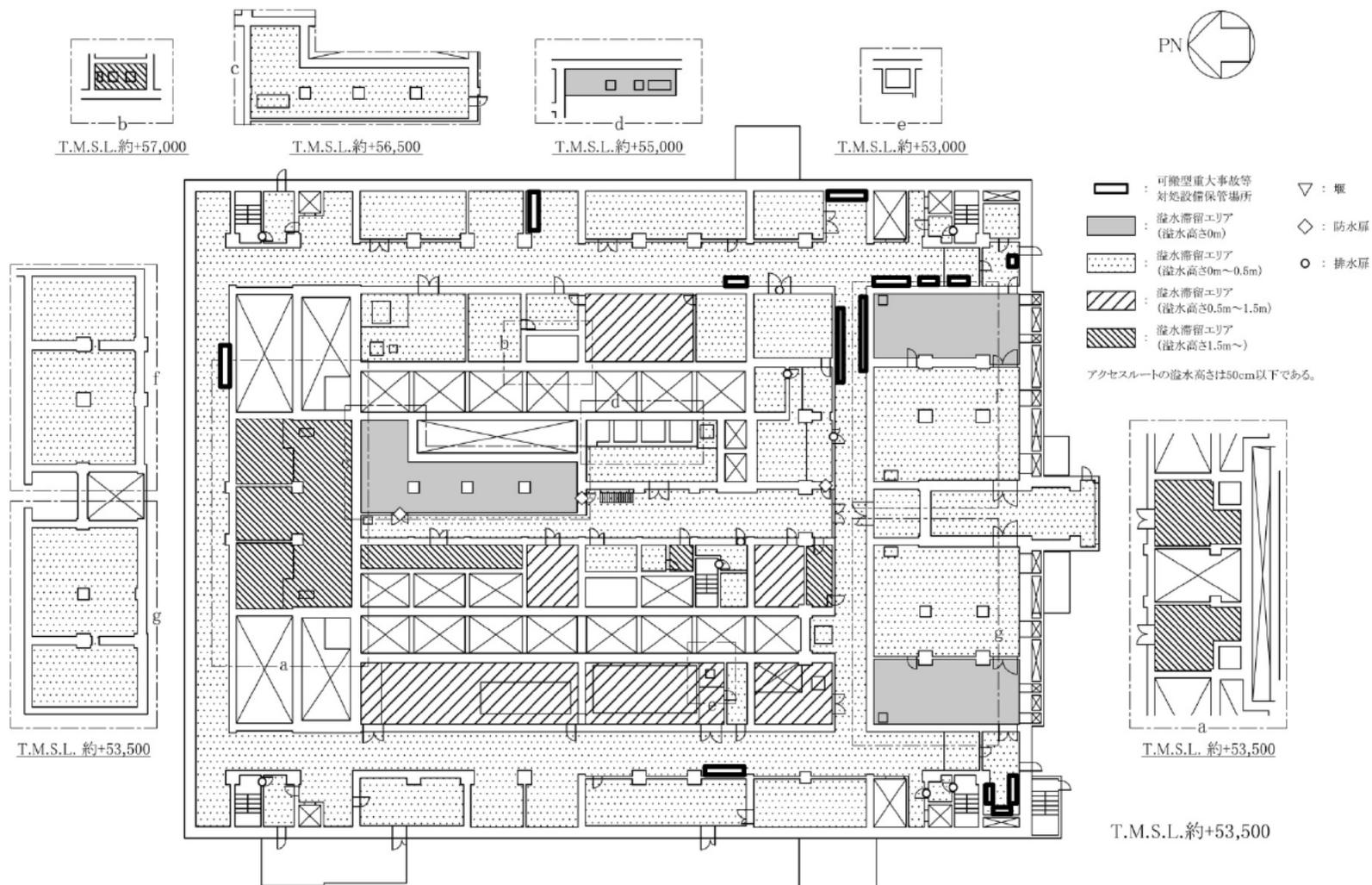
溢水ハザードマップ 精製建屋（地下3階）



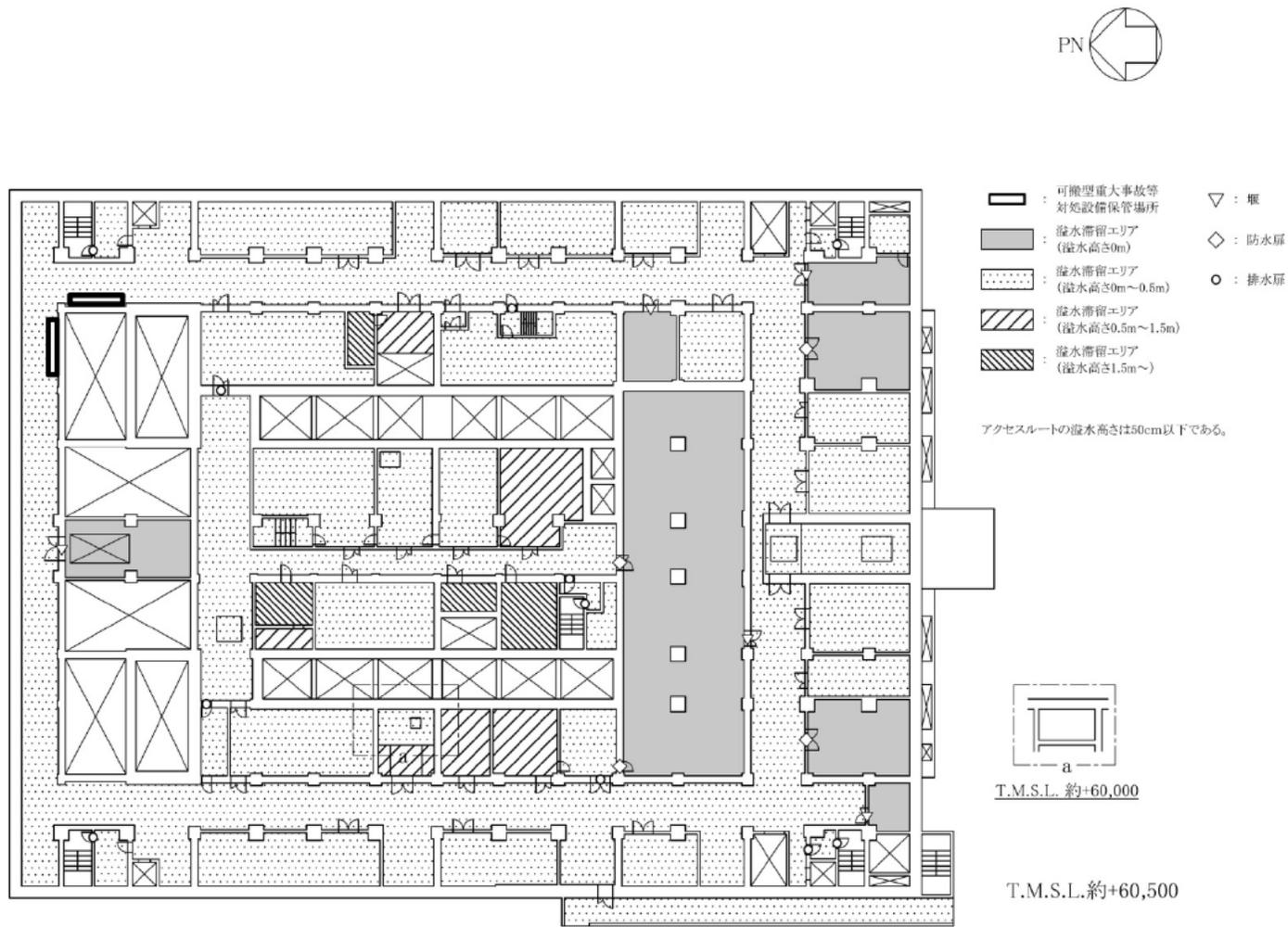
溢水ハザードマップ 精製建屋（地下2階）



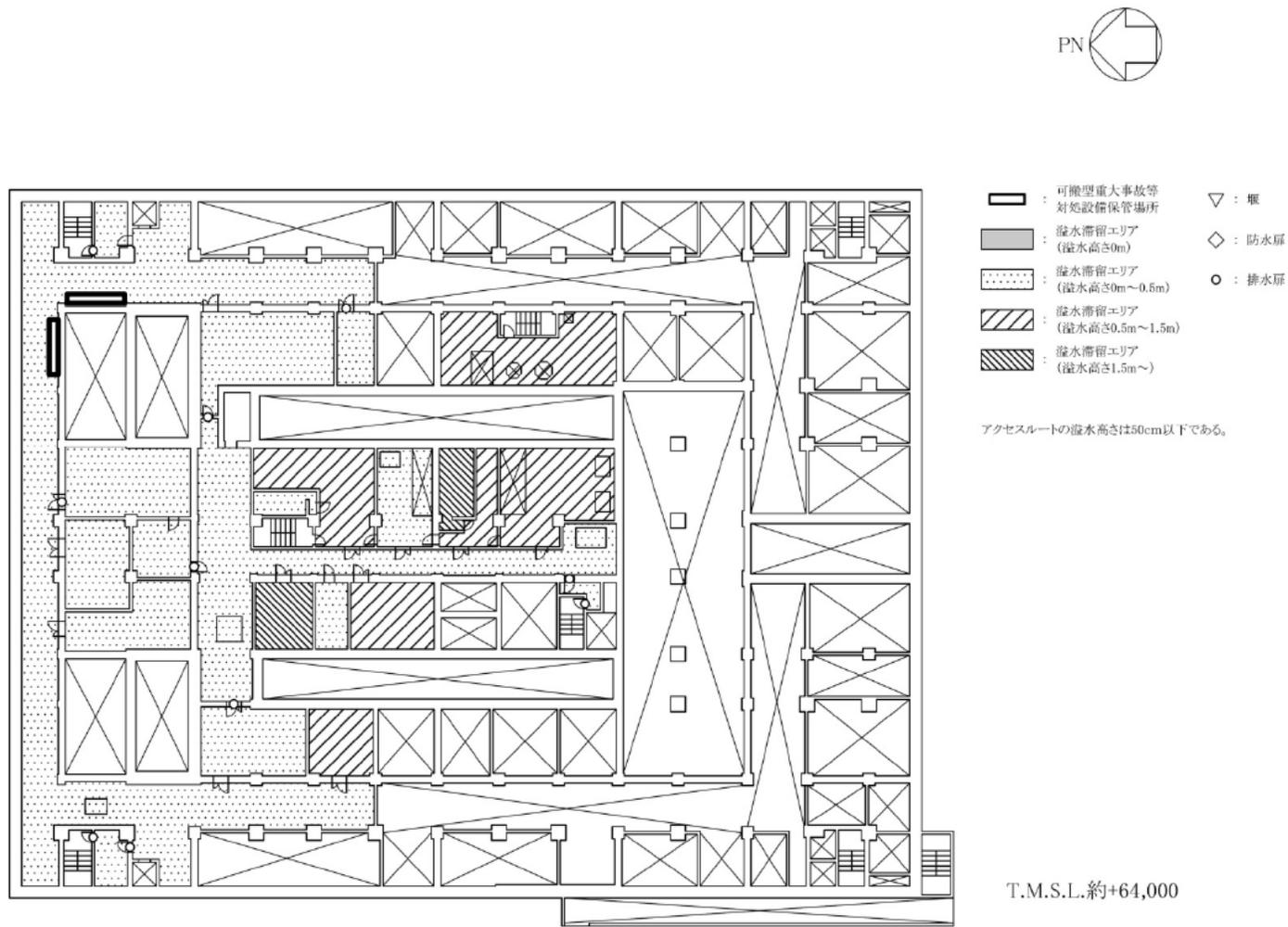
溢水ハザードマップ 精製建屋（地下1階）



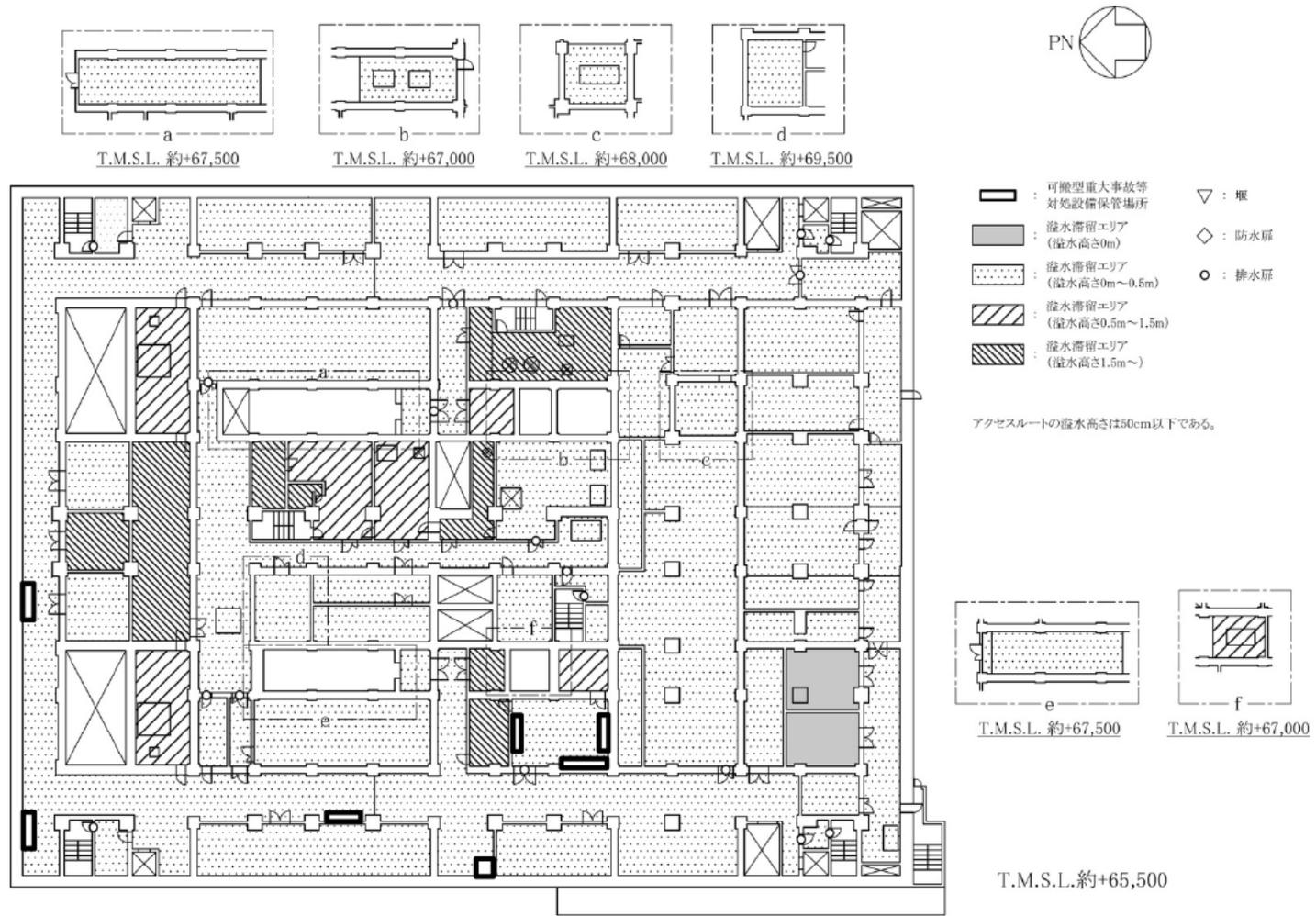
溢水ハザードマップ 精製建屋 (地上1階)



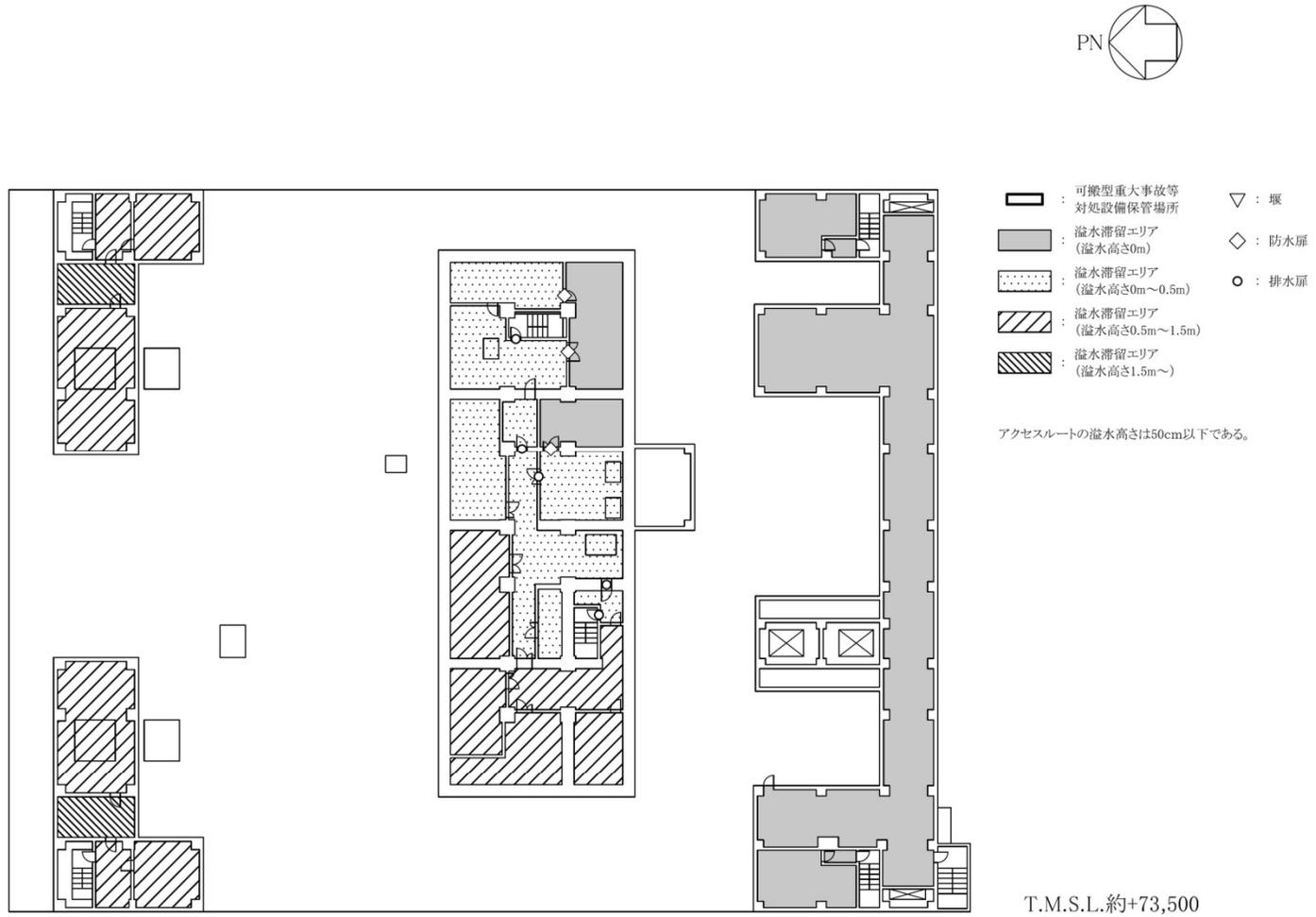
溢水ハザードマップ 精製建屋（地上2階）



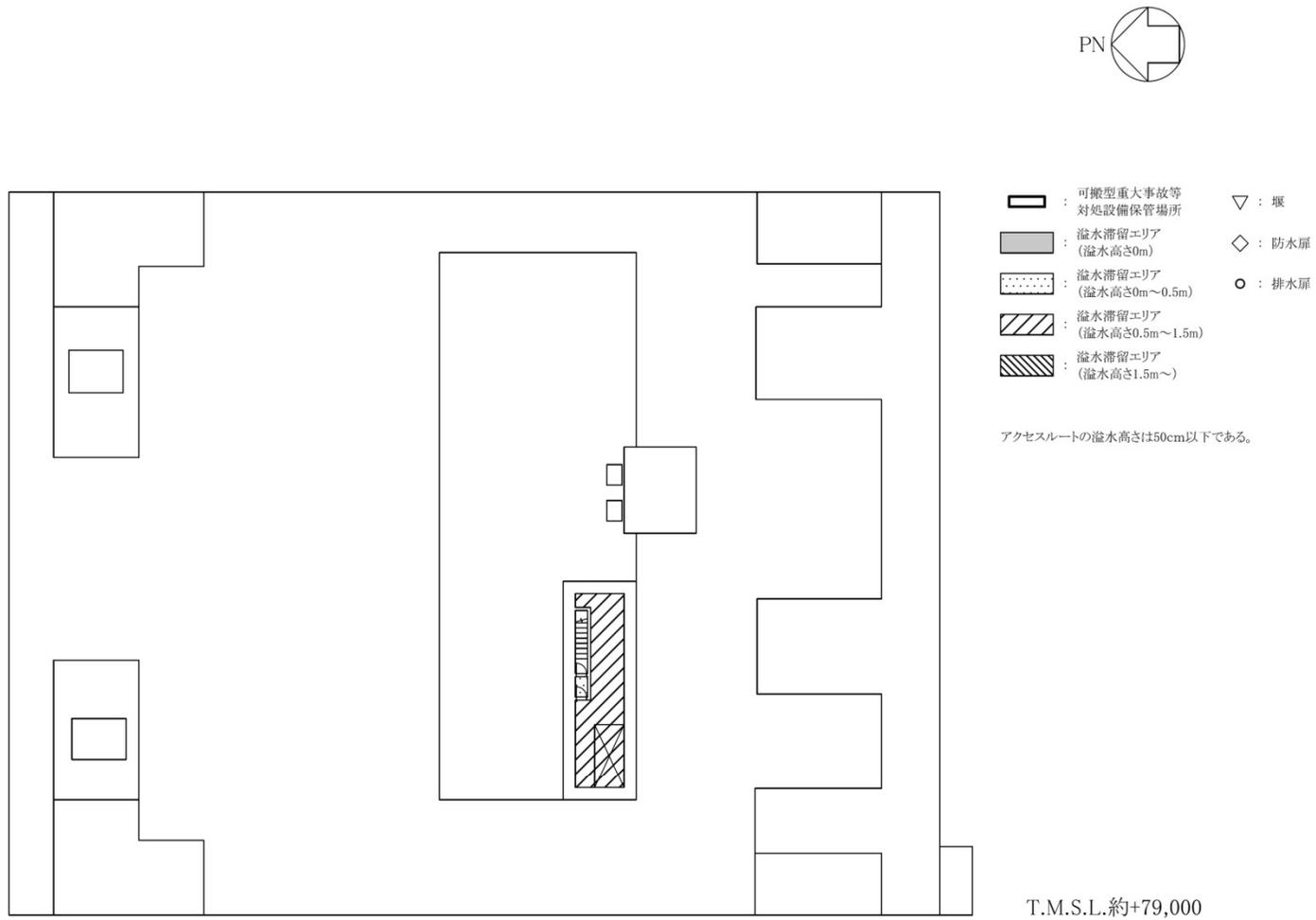
溢水ハザードマップ 精製建屋（地上3階）



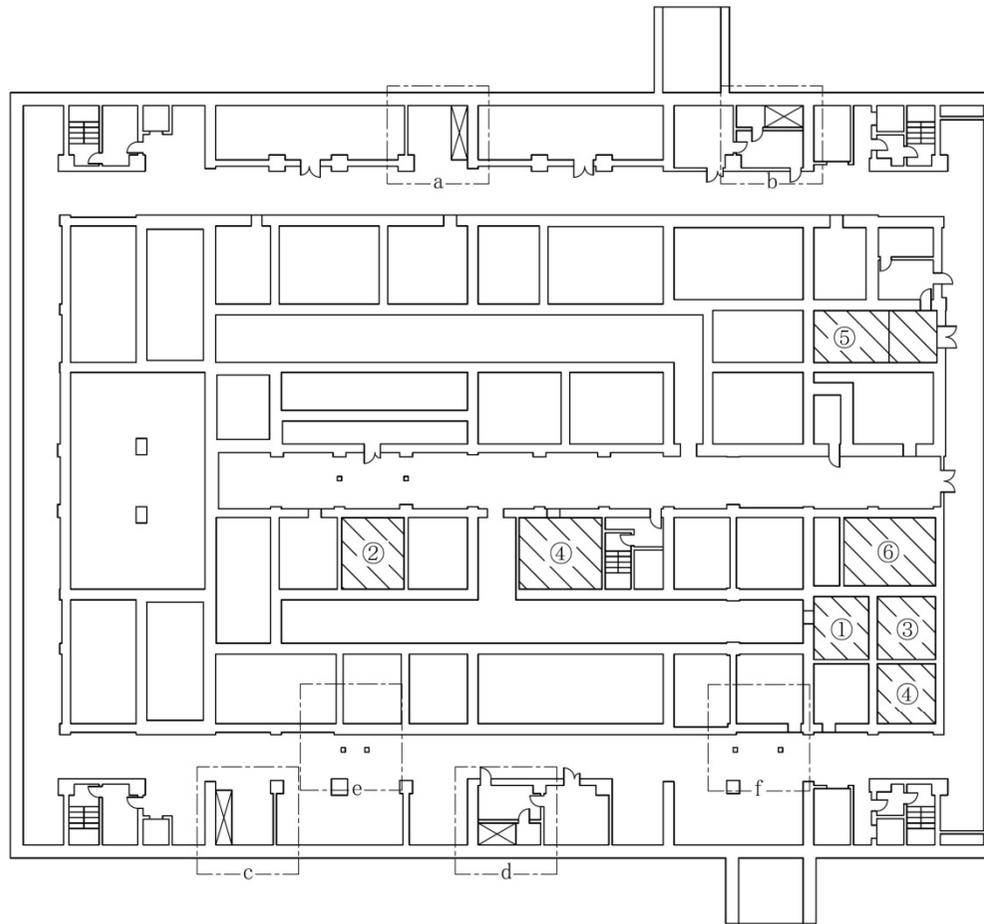
溢水ハザードマップ 精製建屋（地上4階）



溢水ハザードマップ 精製建屋（地上5階）



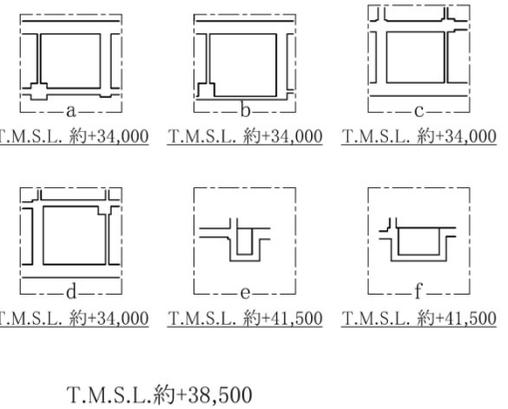
溢水ハザードマップ 精製建屋（屋上階）



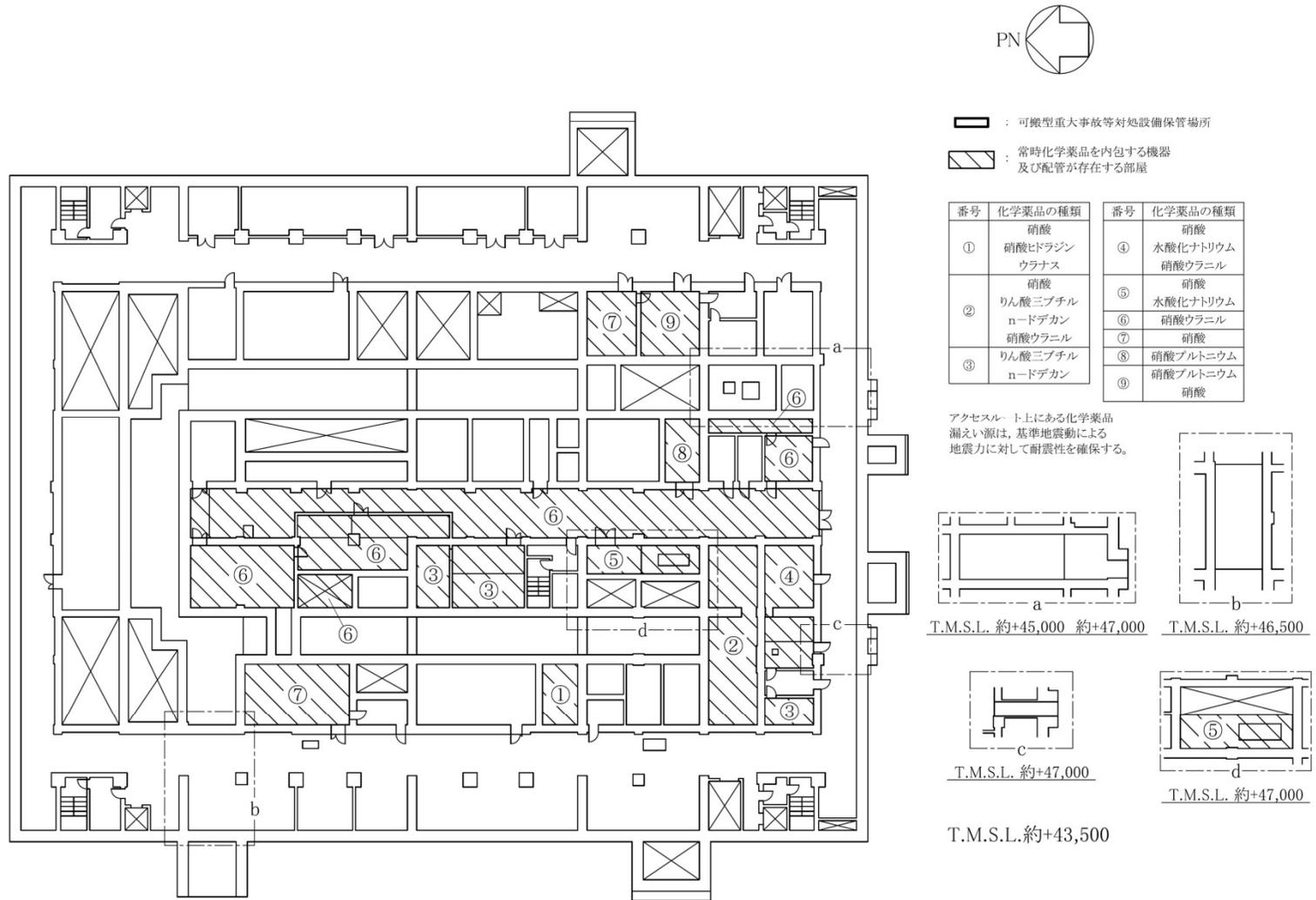
- : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
- : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類	番号	化学薬品の種類
①	硝酸	③	硝酸
	水酸化ナトリウム		水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル	硝酸ウラニル	
②	n-ドデカン	④	りん酸三ブチル
	硝酸ウラニル		n-ドデカン
		⑤	硝酸フルトニウム
		⑥	硝酸
			硝酸ウラニル

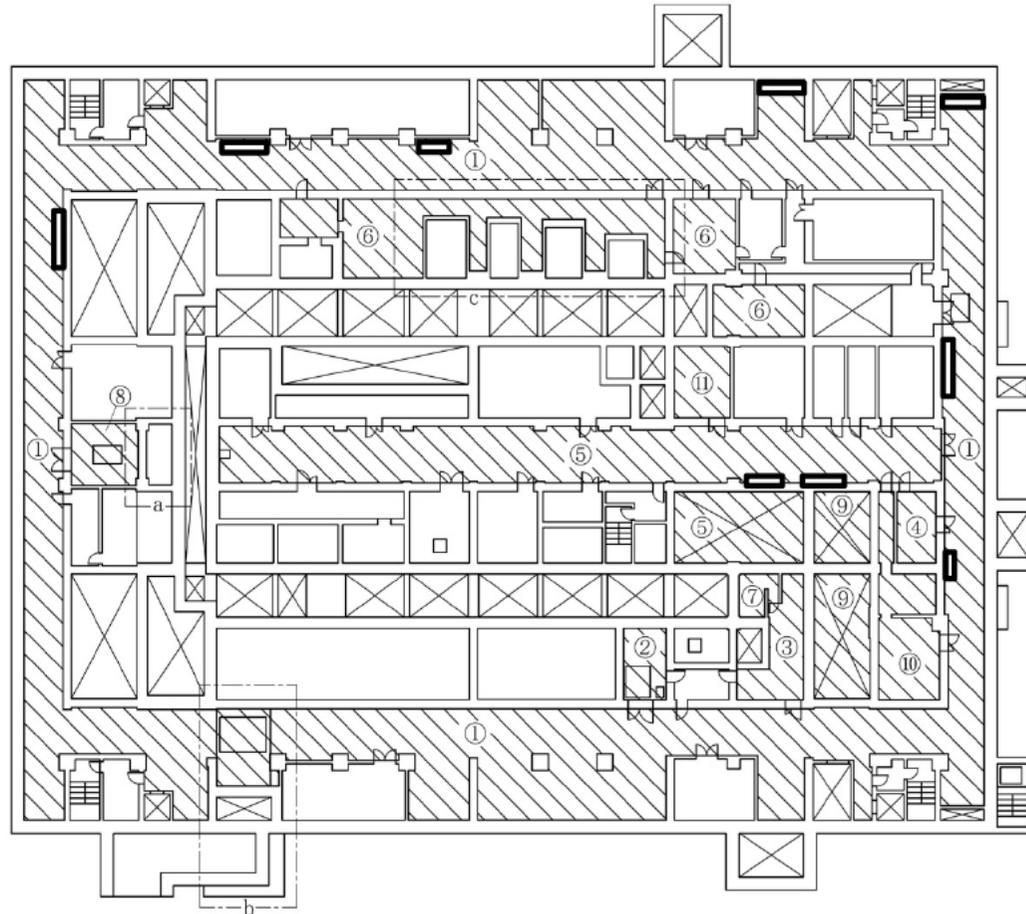
アクセラート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。



化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地下3階）



化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地下2階）



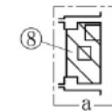
— : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

▨ : 常時化学薬品を内包する機器
及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
②	n-ドデカン
	NOx
	硝酸 硝酸ヒドラジン ウラナス

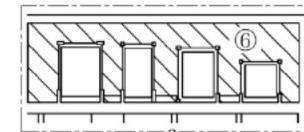
番号	化学薬品の種類
③	硝酸
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	硝酸ウラニル
④	硝酸ウラニル
⑤	硝酸
	水酸化ナトリウム
⑥	硝酸

番号	化学薬品の種類
⑦	硝酸
	りん酸三ブチル
	硝酸ウラニル
⑧	n-ドデカン
⑨	硝酸
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
⑩	硝酸ガドリニウム
	硝酸ウラニル
⑪	硝酸プルトニウム

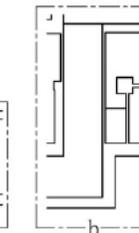


アクセスルート上にある化学薬品
漏えい源は、基準地震動による
地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L. 約+50,000



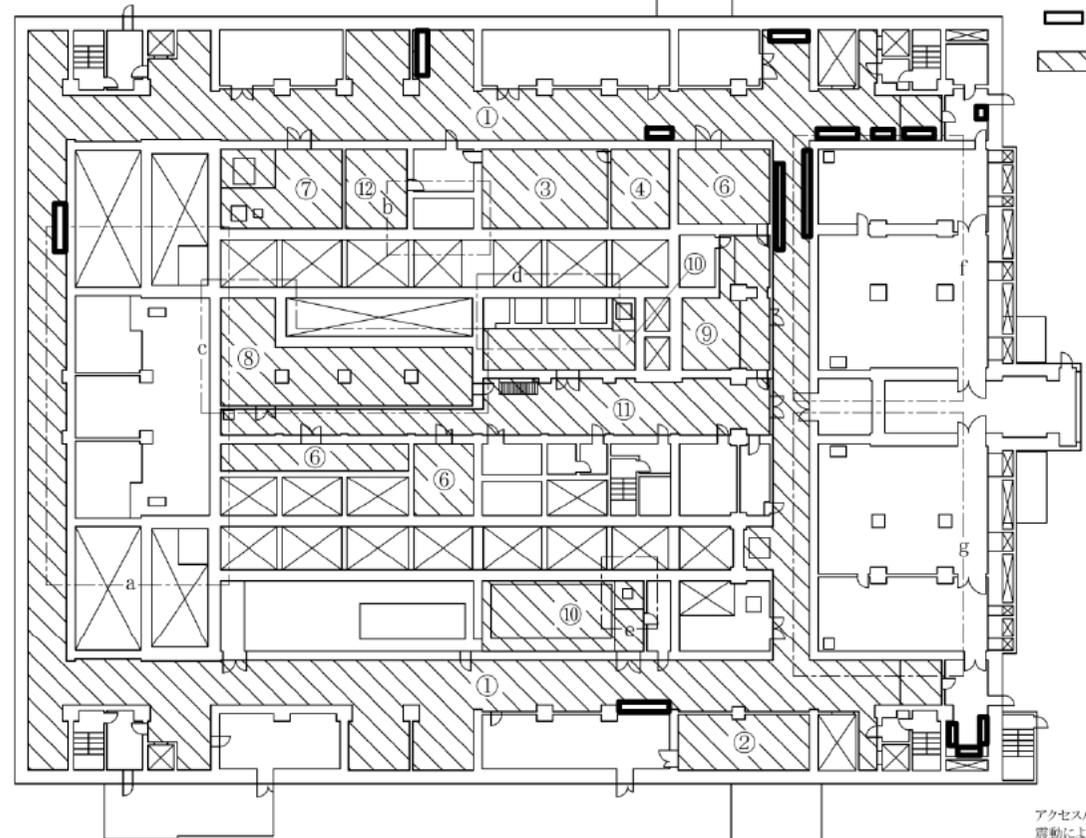
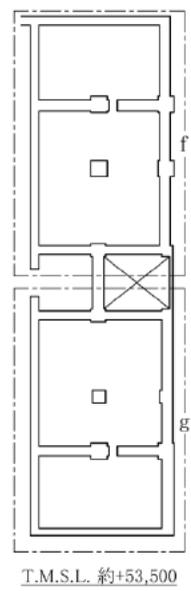
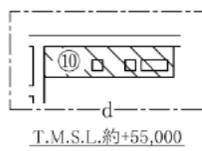
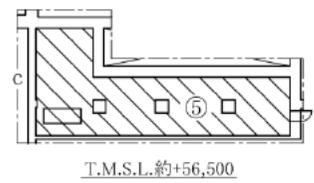
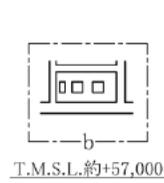
T.M.S.L. 約+51,500



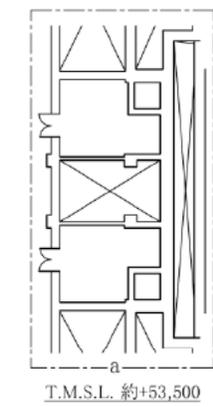
T.M.S.L. 約+51,500

T.M.S.L. 約+48,500

化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地下1階）



: 可搬型重大事故等対処設備保管場所
 : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

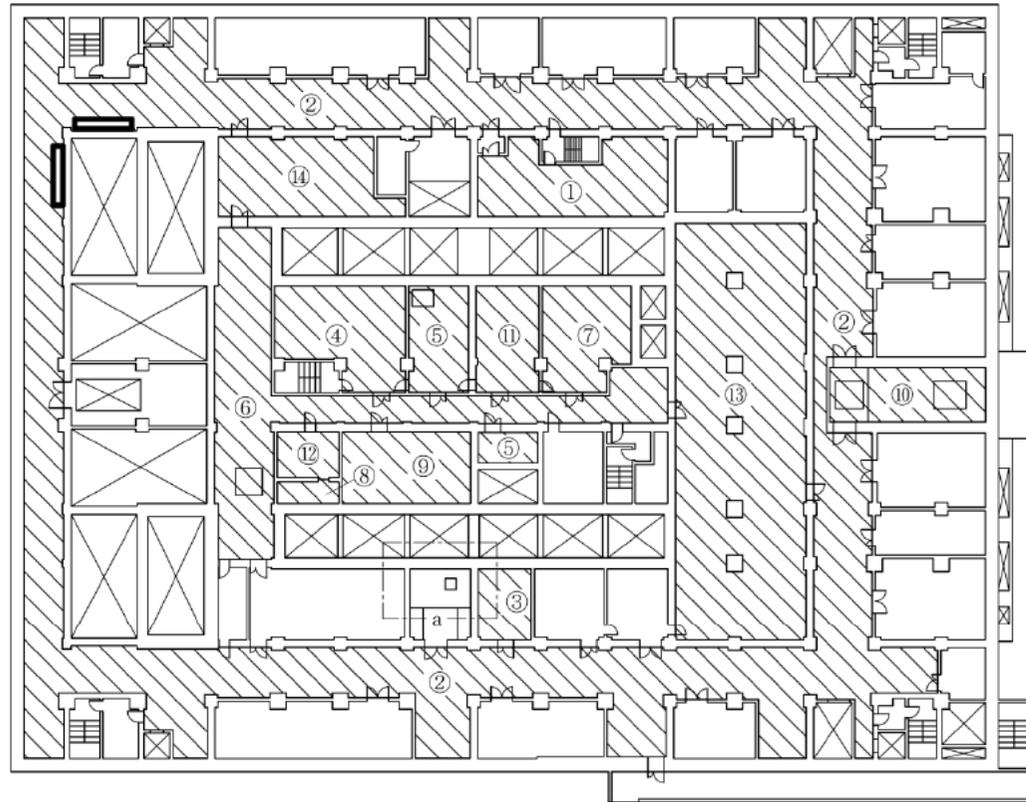


T.M.S.L.約+53,500

アクセラートにある化学薬品漏えい源は、基帯地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

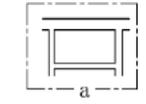
番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドロラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
②	n-ドデカン
	NOx
	硝酸
	硝酸ヒドロラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
③	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
	ウラナス
	NOx
④	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
	NOx
⑤	硝酸
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
⑥	ウラナス
	NOx
⑦	硝酸
⑧	水酸化ナトリウム
	硝酸
⑨	りん酸三ブチル
	ウラナス
⑩	硝酸
⑪	NOx
	硝酸
⑫	水酸化ナトリウム
	NOx
⑬	硝酸ガドリニウム

化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地上1階）



- : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
- : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
②	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	NOx
③	硝酸ガドリニウム
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
④	水酸化ナトリウム
	硝酸
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
⑤	ウラナス
	硝酸
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
⑥	硝酸
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	ウラナス
⑦	NOx
	硝酸
	りん酸三ブチル
	ウラナス
⑧	硝酸
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
	ウラナス
⑨	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
	ウラナス
⑩	硝酸
	りん酸三ブチル
	ウラナス
	NOx
⑪	水酸化ナトリウム
	硝酸
⑫	ウラナス
	NOx
⑬	水酸化ナトリウム
	硝酸
⑭	ウラナス
	硝酸ガドリニウム

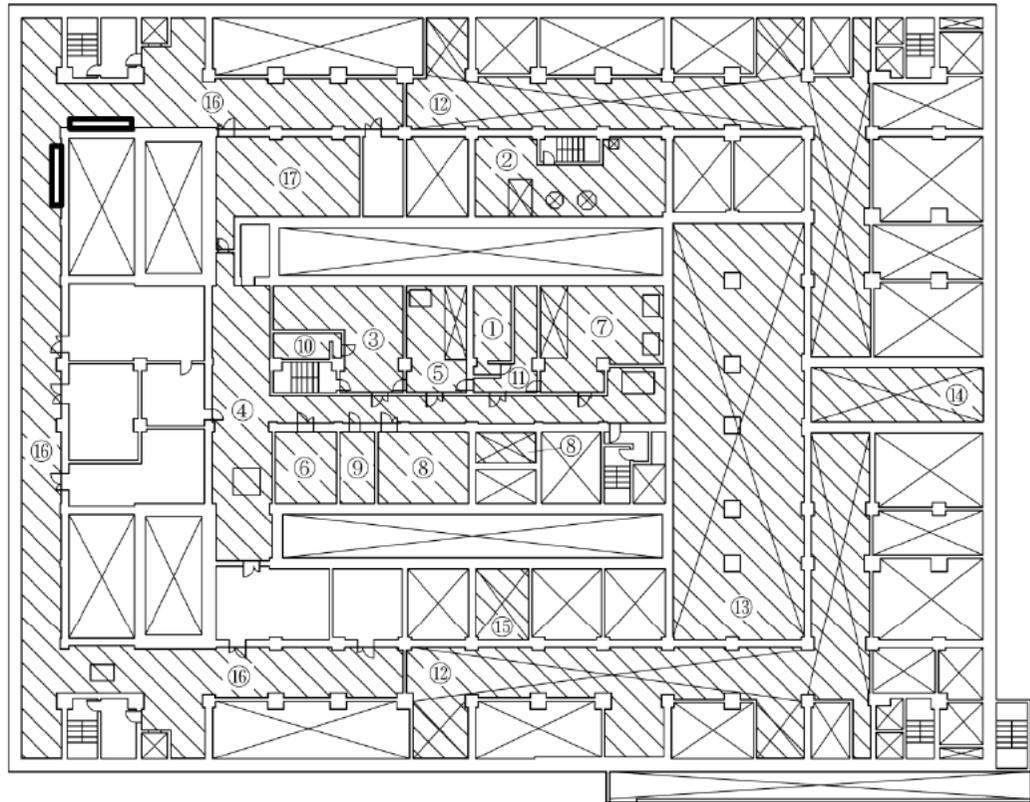


T.M.S.L. 約+60,000

アクセスルート上にある化学薬品
漏えい源は、基準地震動による
地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L. 約+60,500

化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地上2階）



— : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

▨ : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
②	硝酸ウラニル
	ウラナス
	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
③	りん酸三ブチル
	硝酸ウラニル
	ウラナス
	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ウラニル
④	ウラナス
	NOx
	硝酸
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン

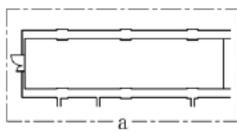
番号	化学薬品の種類
⑤	硝酸
	りん酸三ブチル
⑥	n-ドデカン
	ウラナス
⑦	硝酸
	水酸化ナトリウム
⑧	硝酸
	りん酸三ブチル
⑨	n-ドデカン
	硝酸
	りん酸三ブチル
⑩	硝酸ウラニル
	ウラナス
⑪	硝酸
	硝酸ウラニル
⑫	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
⑬	NOx
	硝酸ガドリニウム

番号	化学薬品の種類
⑭	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
⑮	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
⑯	硝酸
	水酸化ナトリウム
⑰	硝酸ガドリニウム

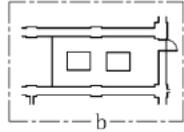
アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地質力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L.約+64,000

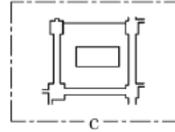
化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地上3階）



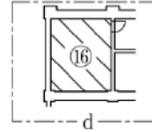
T.M.S.L. 約+67,500



T.M.S.L. 約+67,000



T.M.S.L. 約+68,000

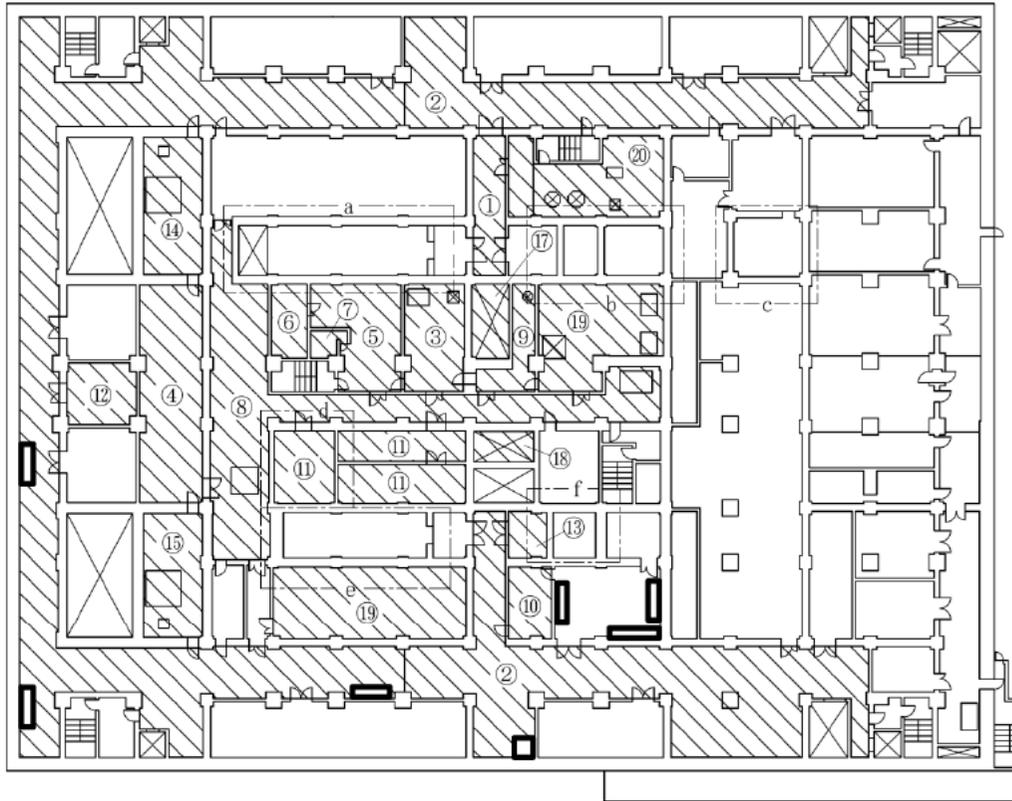


T.M.S.L. 約+69,500



— : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

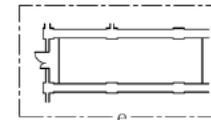
▨ : 常時化学薬品を内包する機器
及び配管が存在する部屋



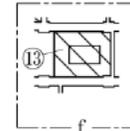
番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
②	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
③	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
④	硝酸
	NOx

番号	化学薬品の種類
⑤	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
	硝酸ウラニル
⑥	硝酸
	硝酸ウラニル
⑦	硝酸
	硝酸ヒドラジン
⑧	硝酸
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル

番号	化学薬品の種類
⑨	硝酸
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
⑩	硝酸
	硝酸ウラニル
⑪	硝酸
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
⑫	硝酸
	硝酸ヒドロキシルアミン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
⑬	硝酸
	NOx
⑭	硝酸
	水酸化ナトリウム
	硝酸
	りん酸三ブチル
⑮	硝酸
	水酸化ナトリウム
⑯	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
⑰	硝酸
	NOx



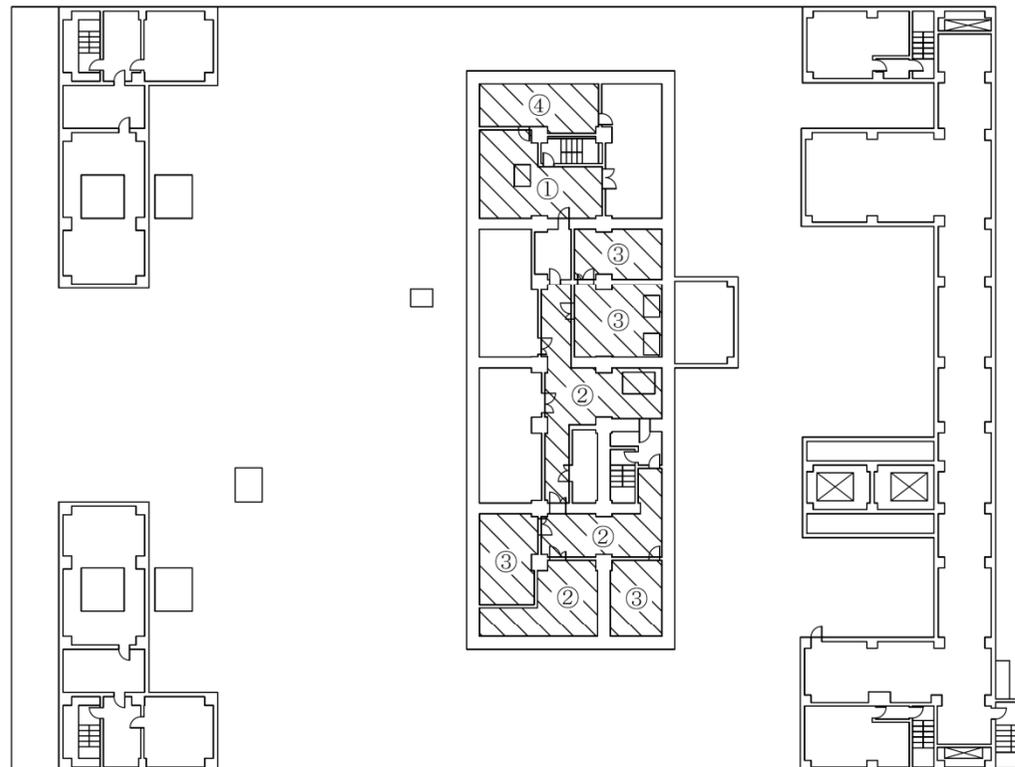
T.M.S.L. 約+67,500



T.M.S.L. 約+67,000

アクセラート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L. 約+65,500



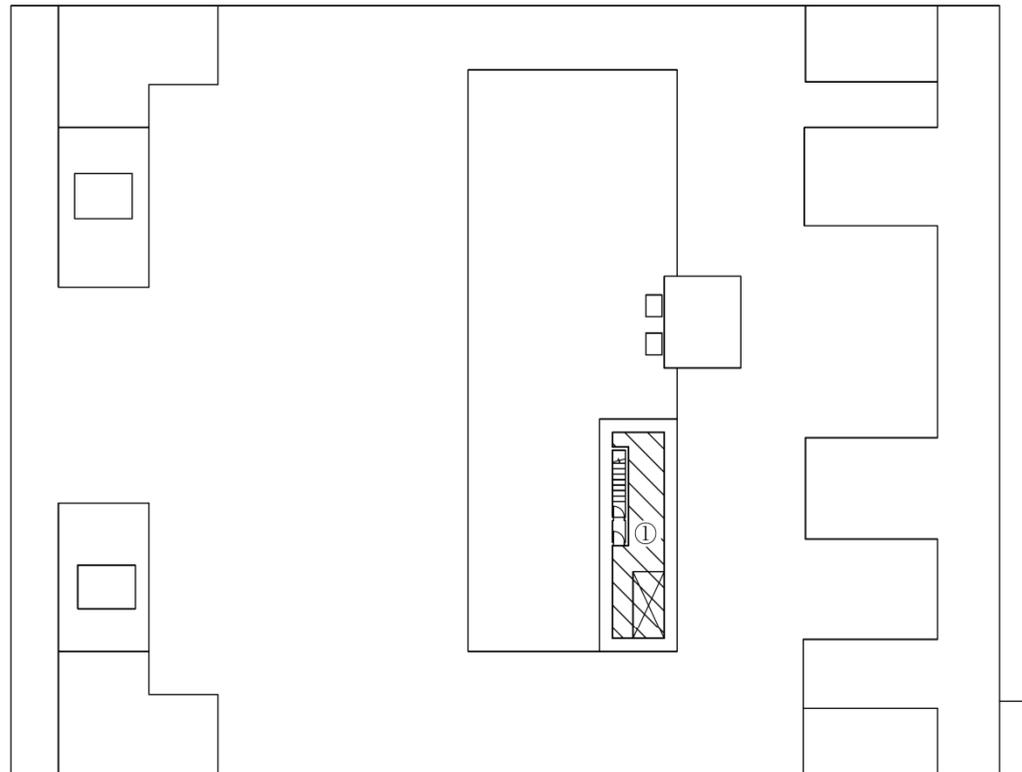
-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
 : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸
	硝酸ヒドラジン
	水酸化ナトリウム
	りん酸三ブチル
	n-ドデカン
②	硝酸
	硝酸ヒドロキシルアミン 水酸化ナトリウム
③	硝酸
	水酸化ナトリウム
④	りん酸三ブチル
	n-ドデカン

アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L.約+73,500

化学薬品ハザードマップ 精製建屋（地上5階）



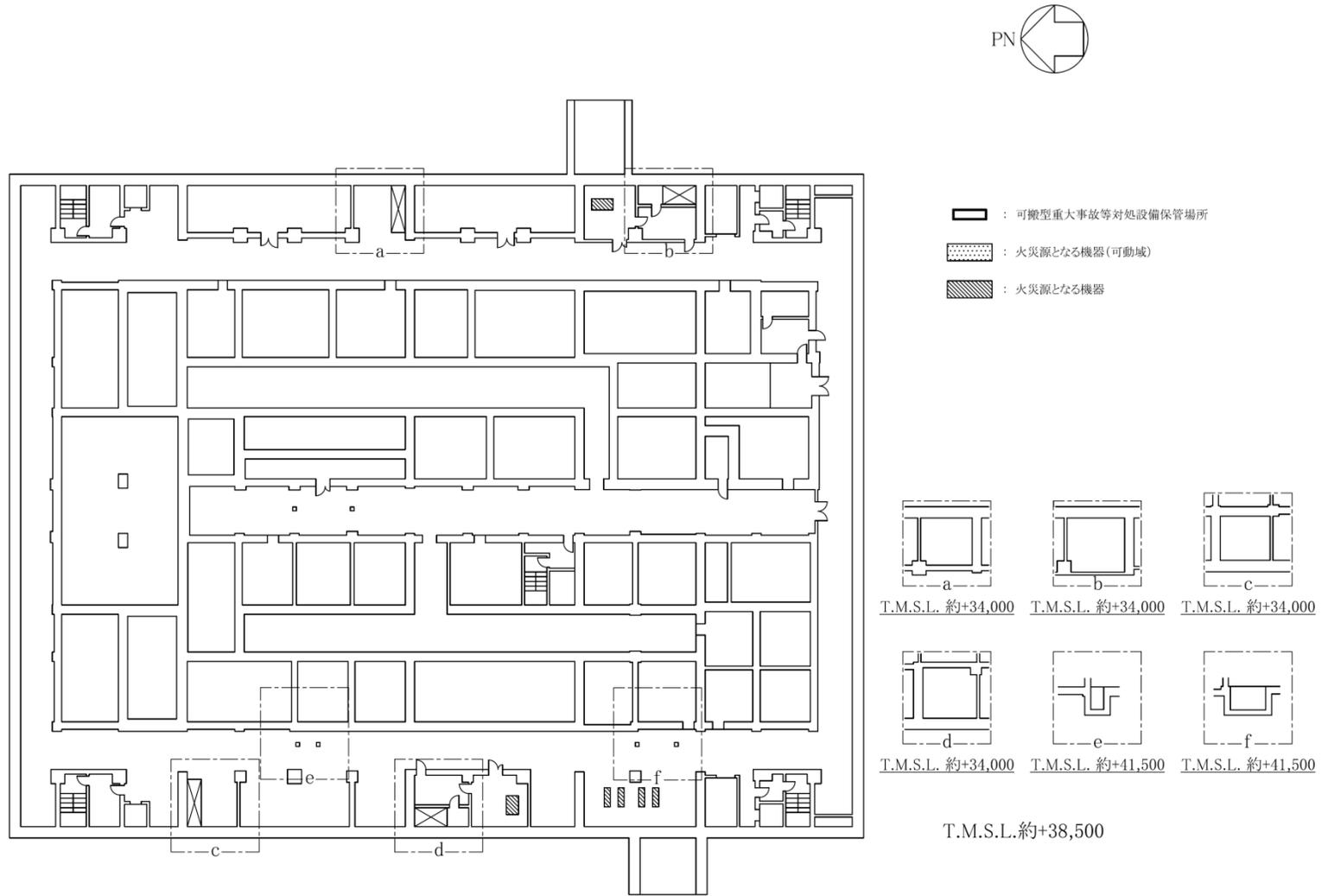
-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸 硝酸ヒドロキシルアミン 水酸化ナトリウム

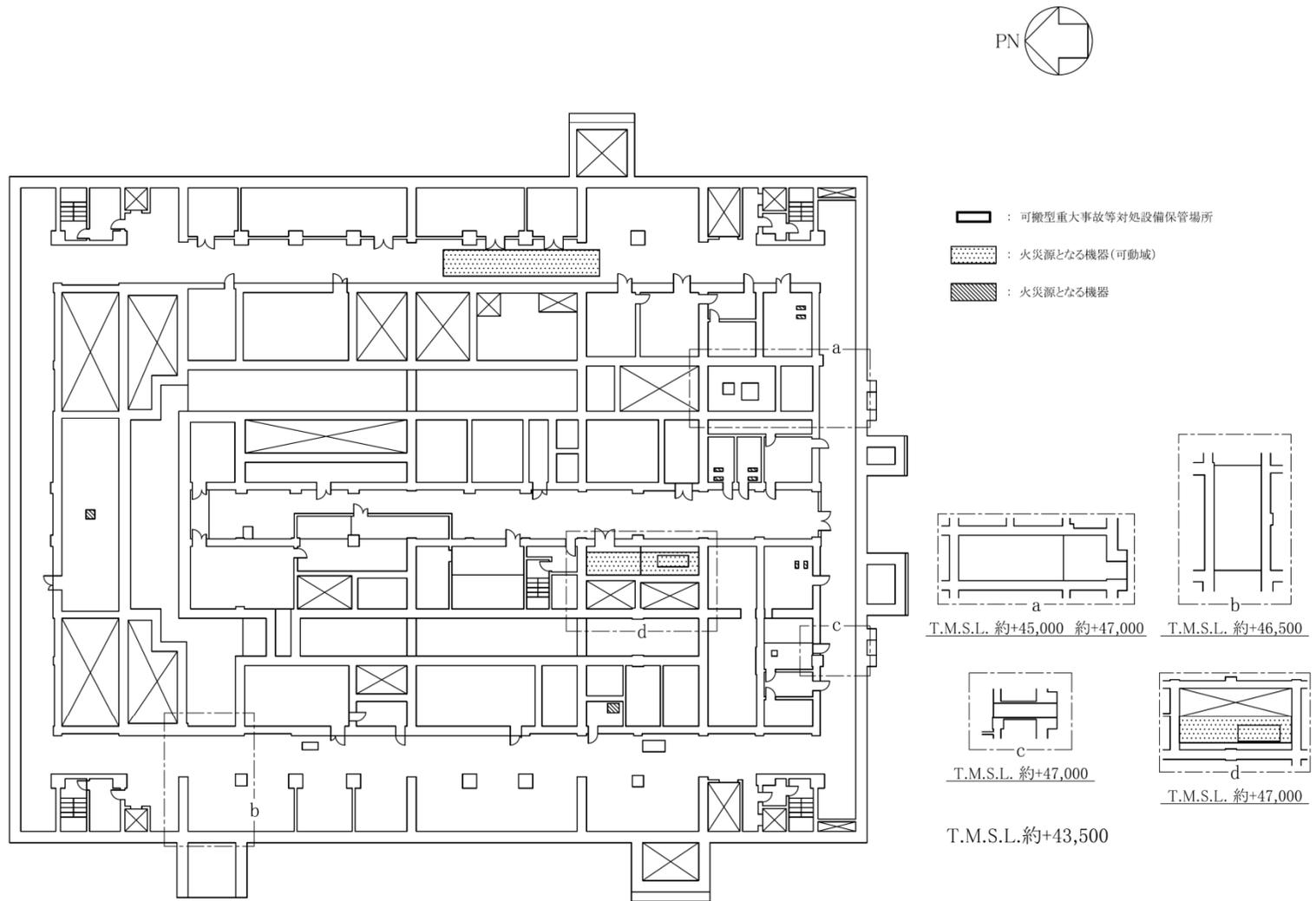
アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L.約+79,000

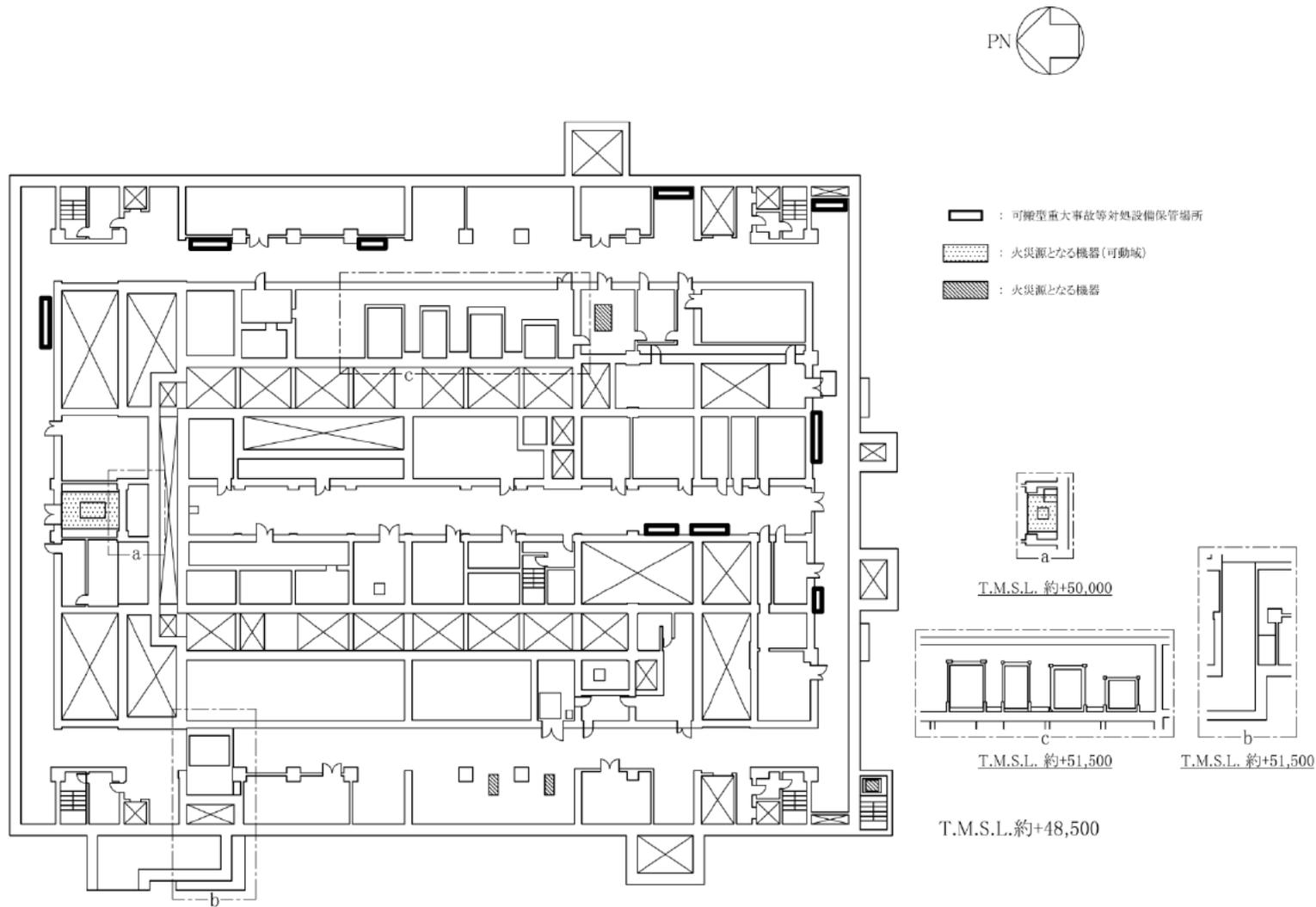
化学薬品ハザードマップ 精製建屋（屋上階）



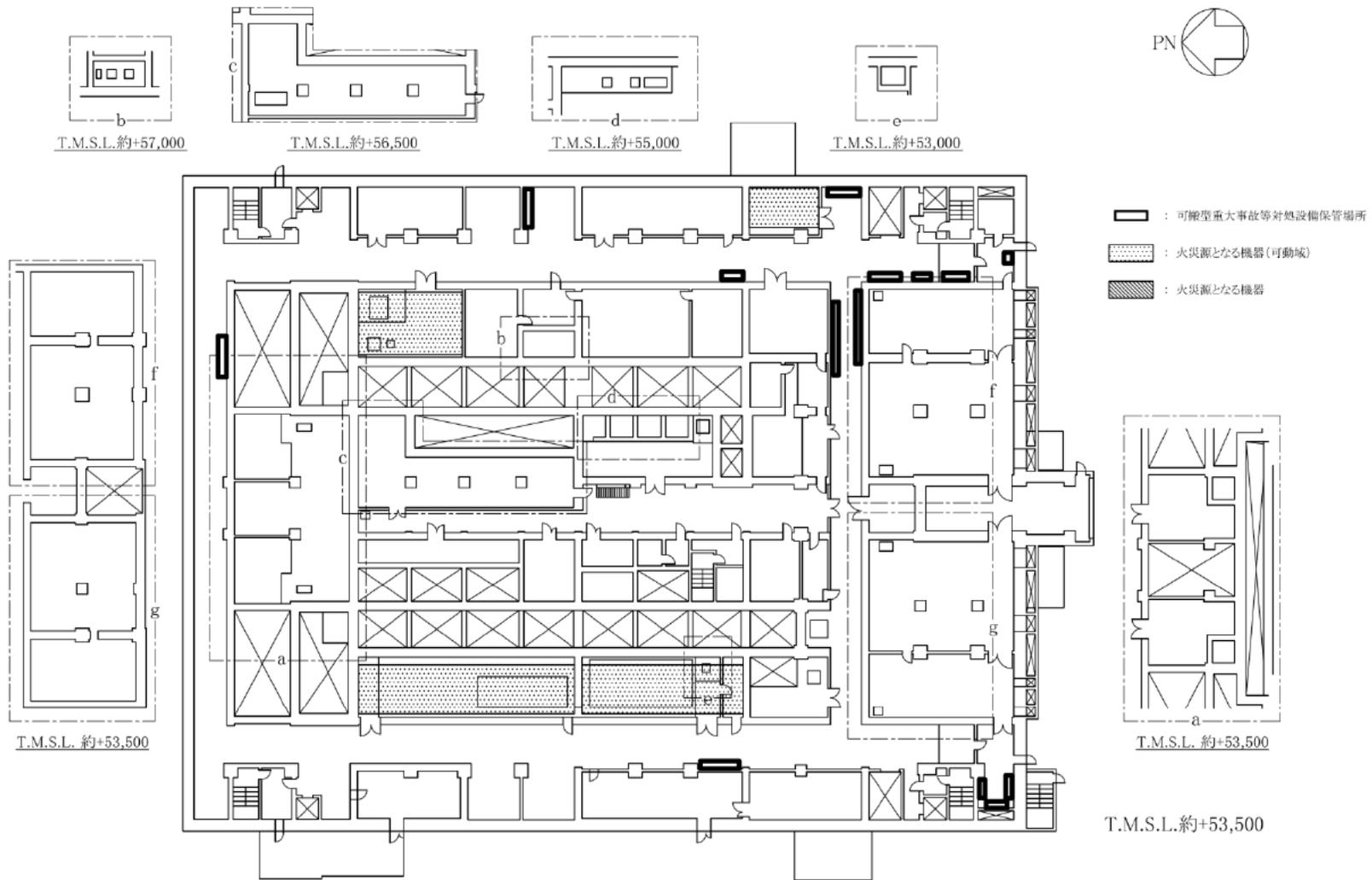
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地下3階）



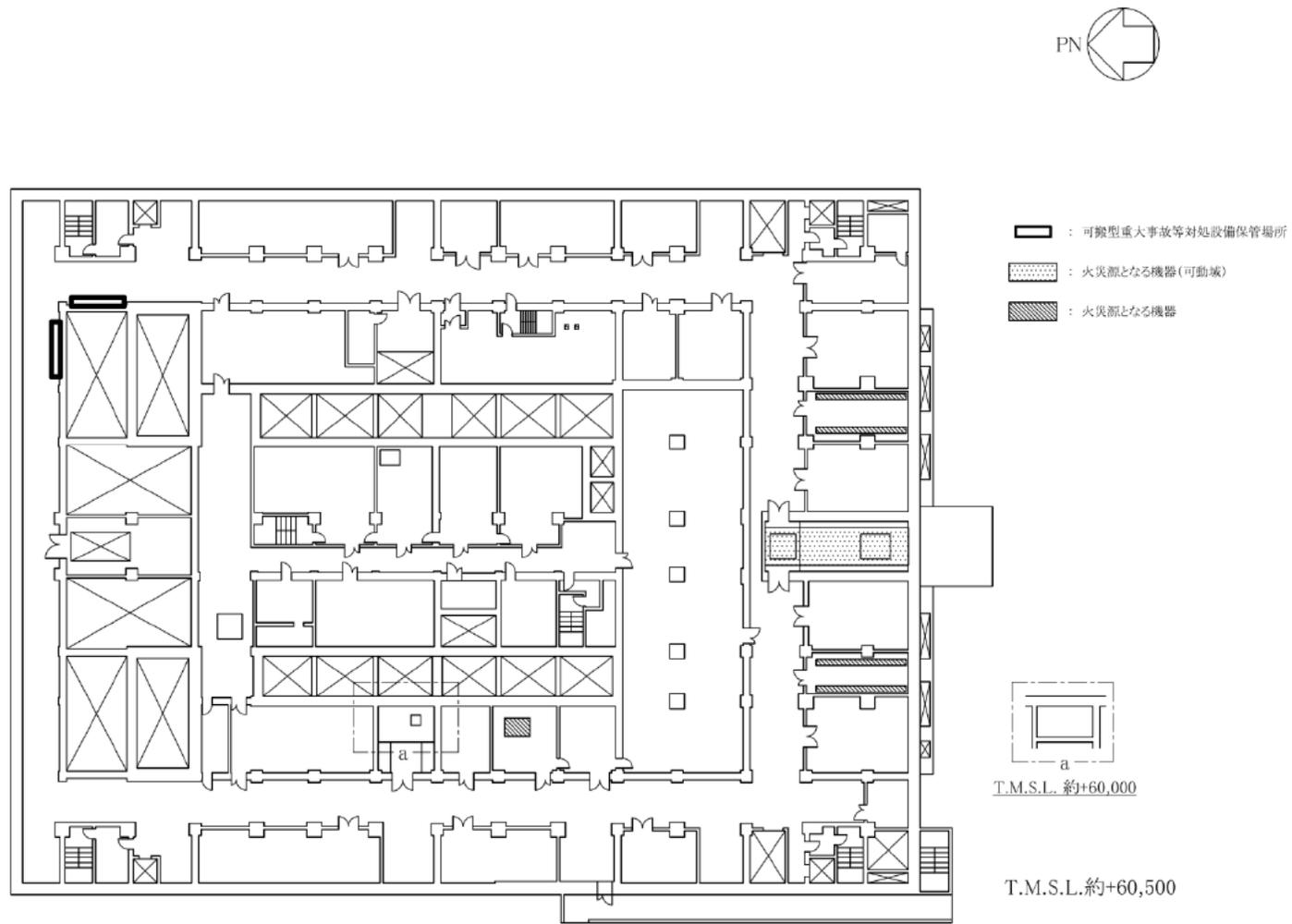
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地下2階）



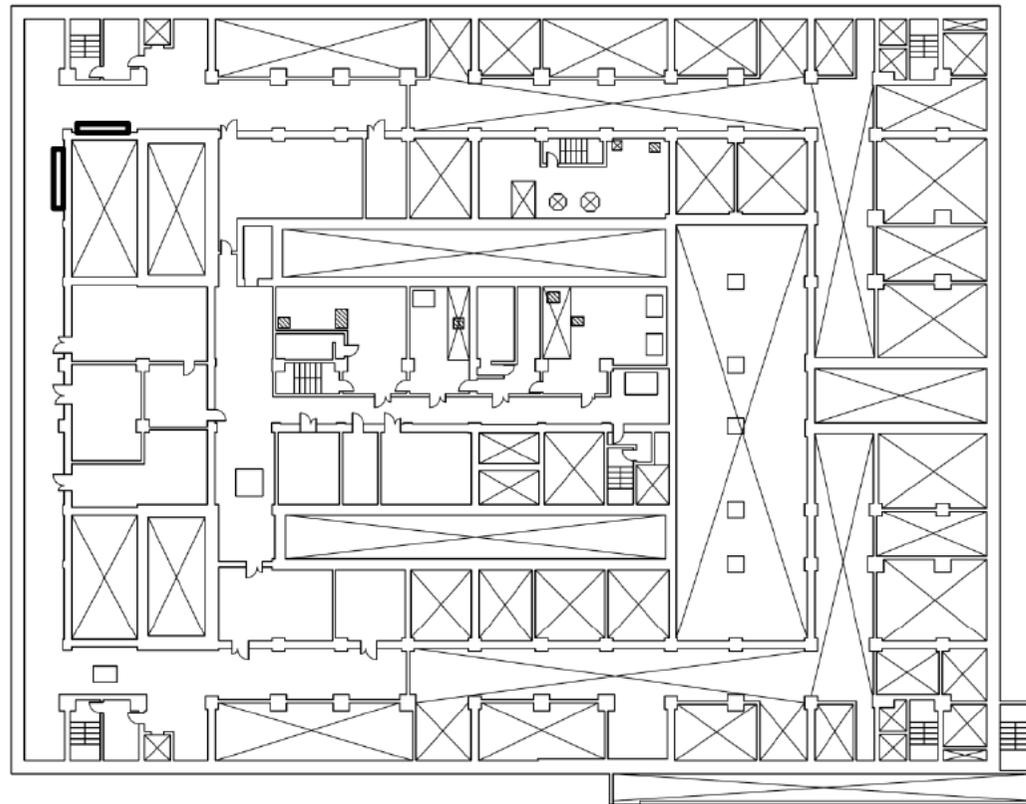
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地下1階）



機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地上1階）



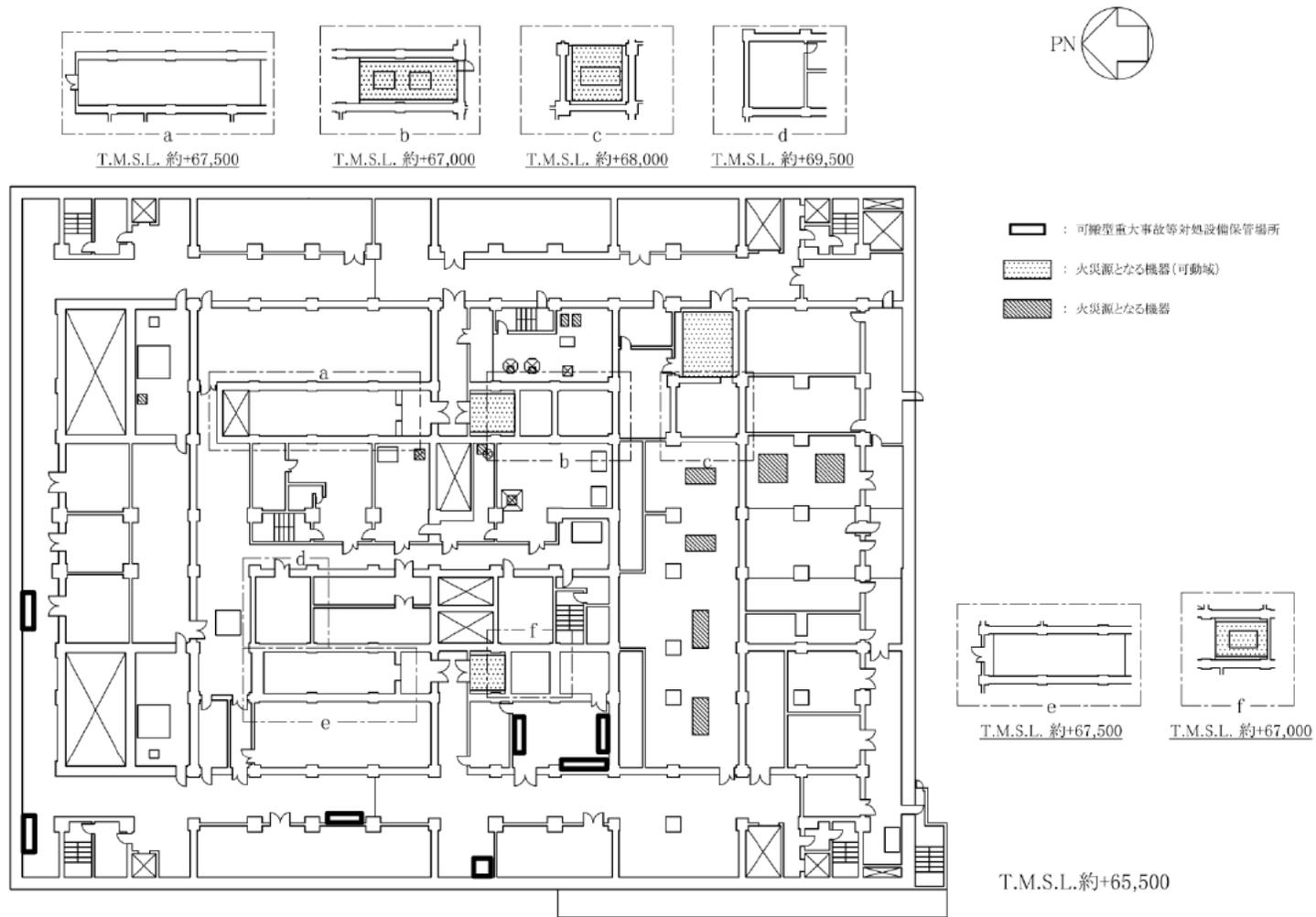
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地上2階）



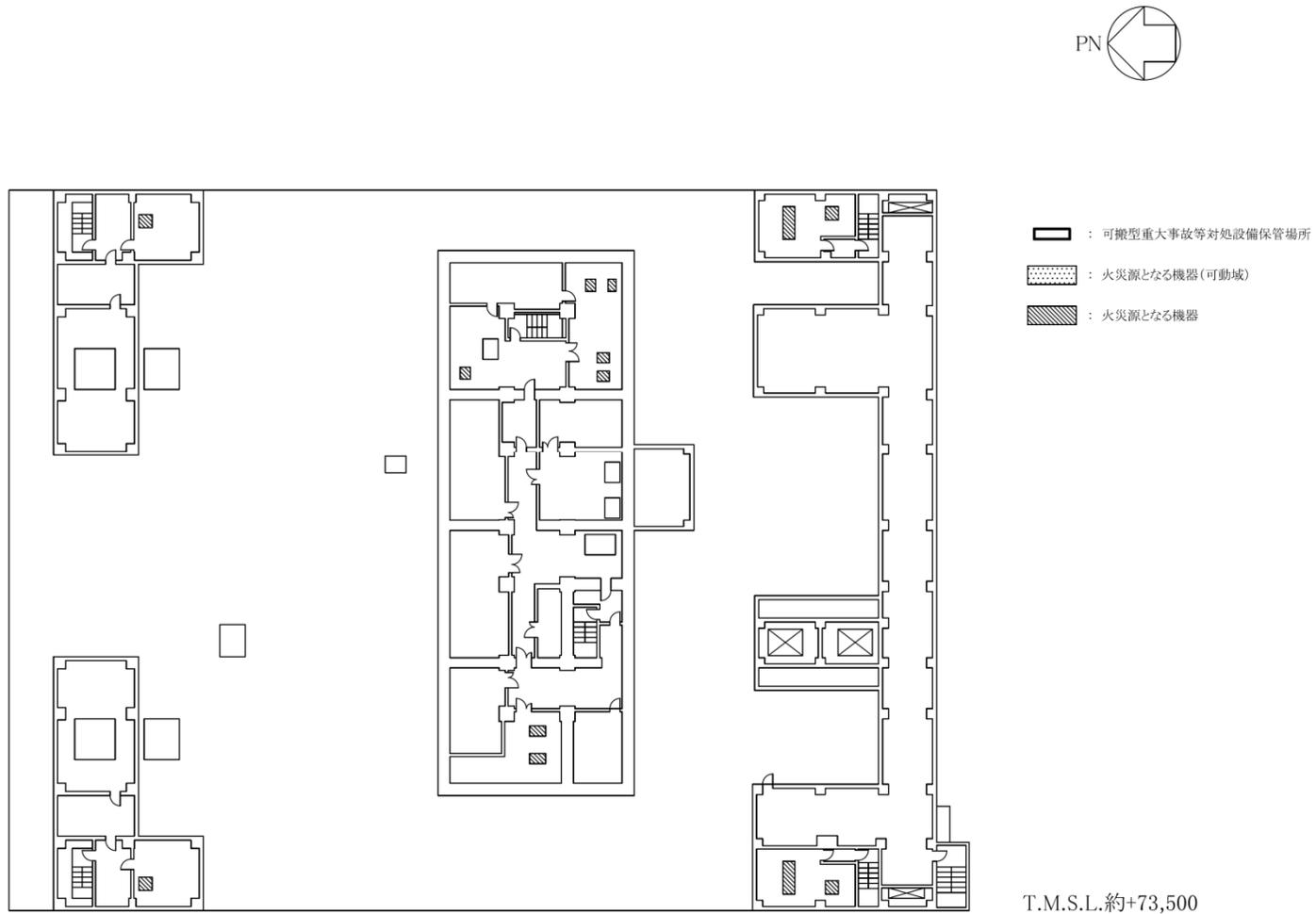
-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源となる機器(可動域)
-  : 火災源となる機器

T.M.S.L.約+64,000

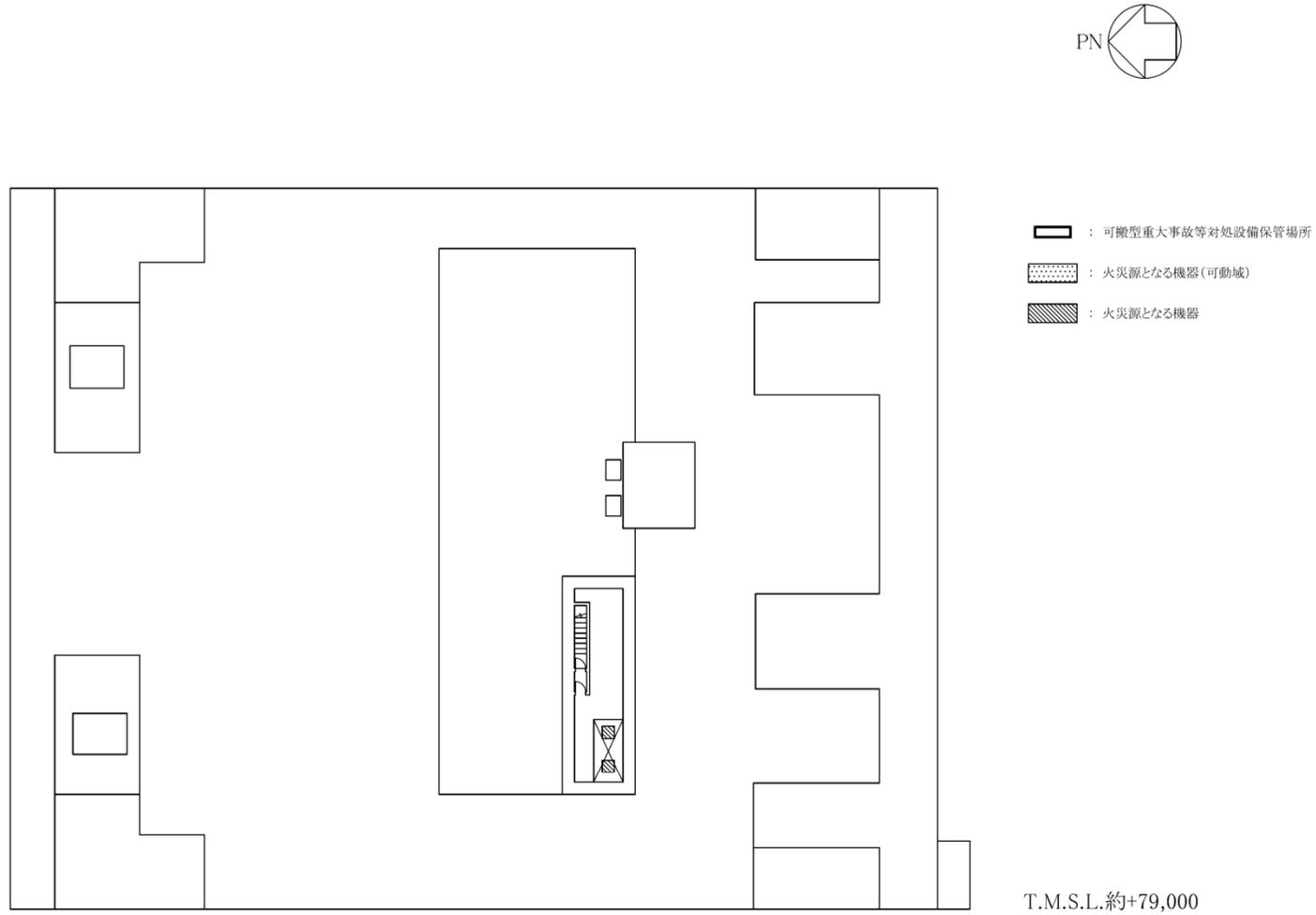
機器による火災ハザードマップ 精製建屋 (地上3階)



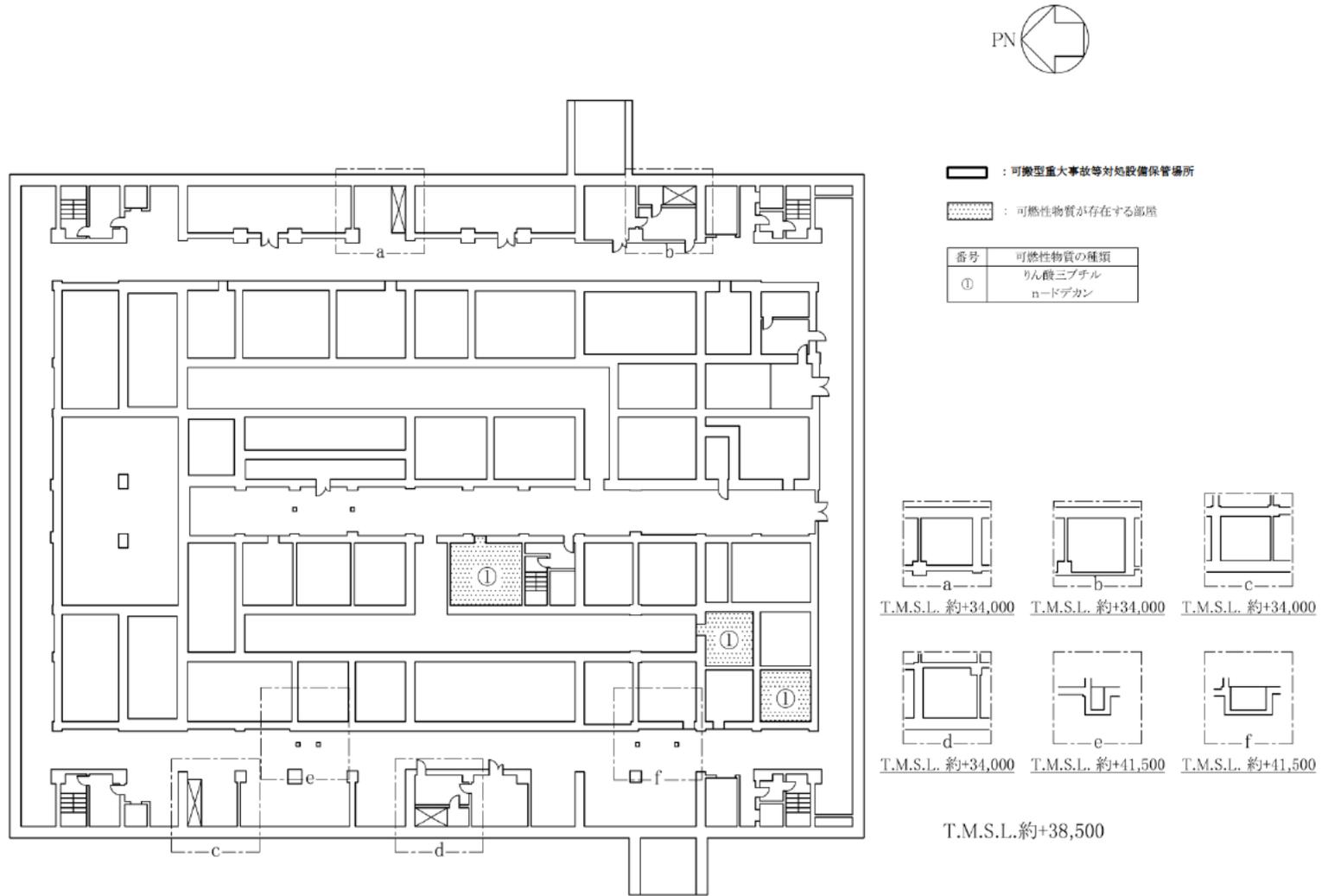
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地上4階）



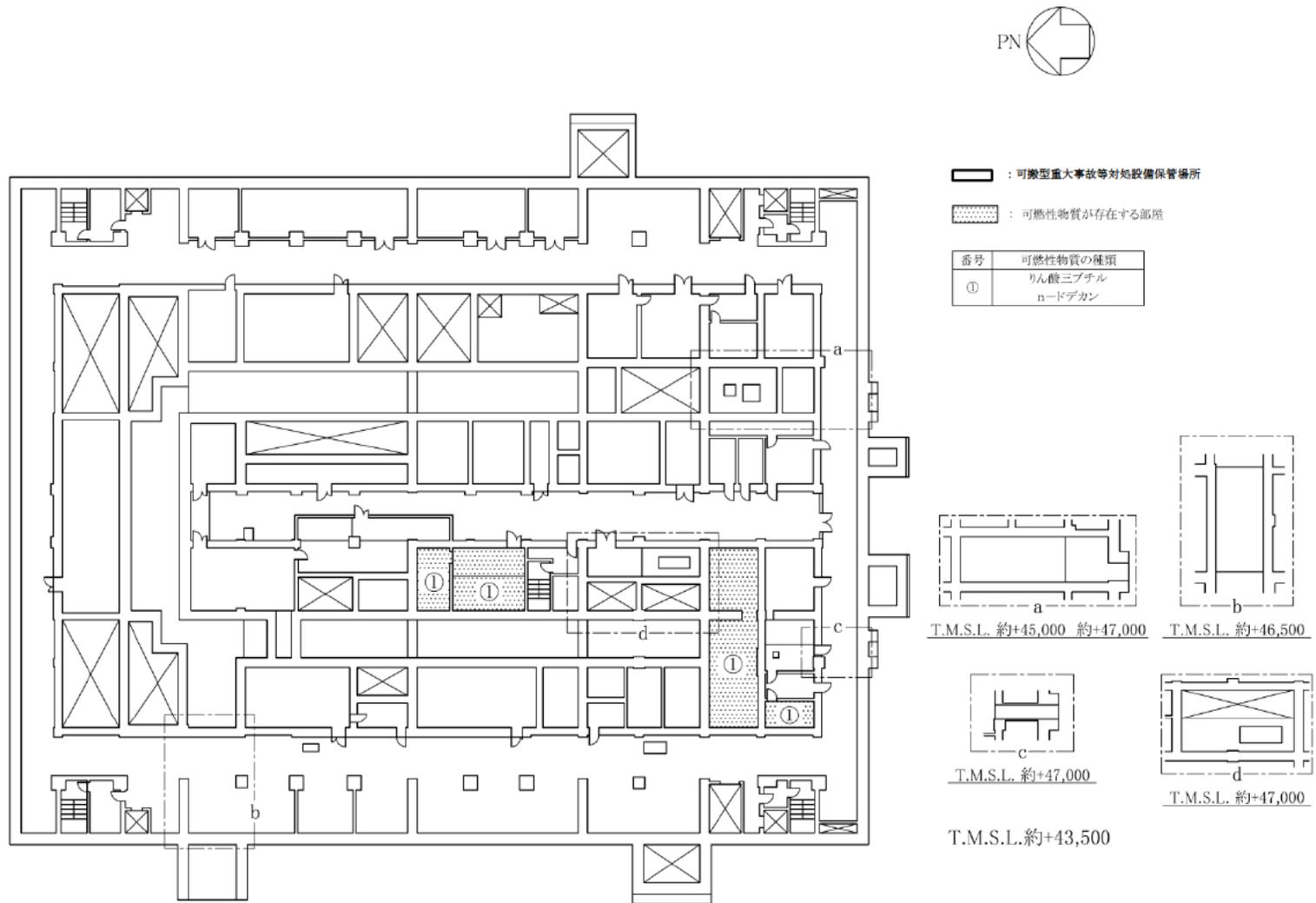
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（地上5階）



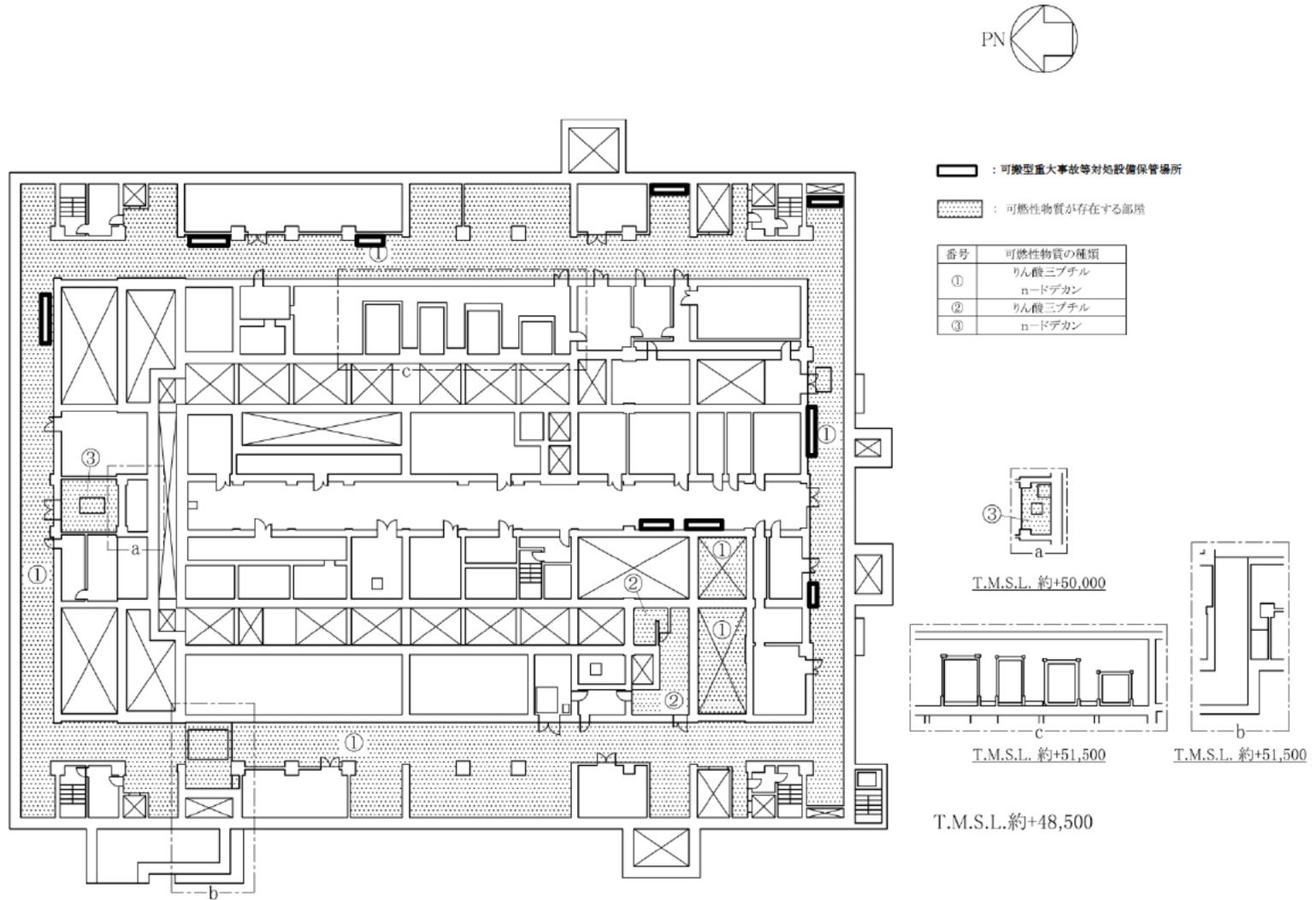
機器による火災ハザードマップ 精製建屋（屋上階）



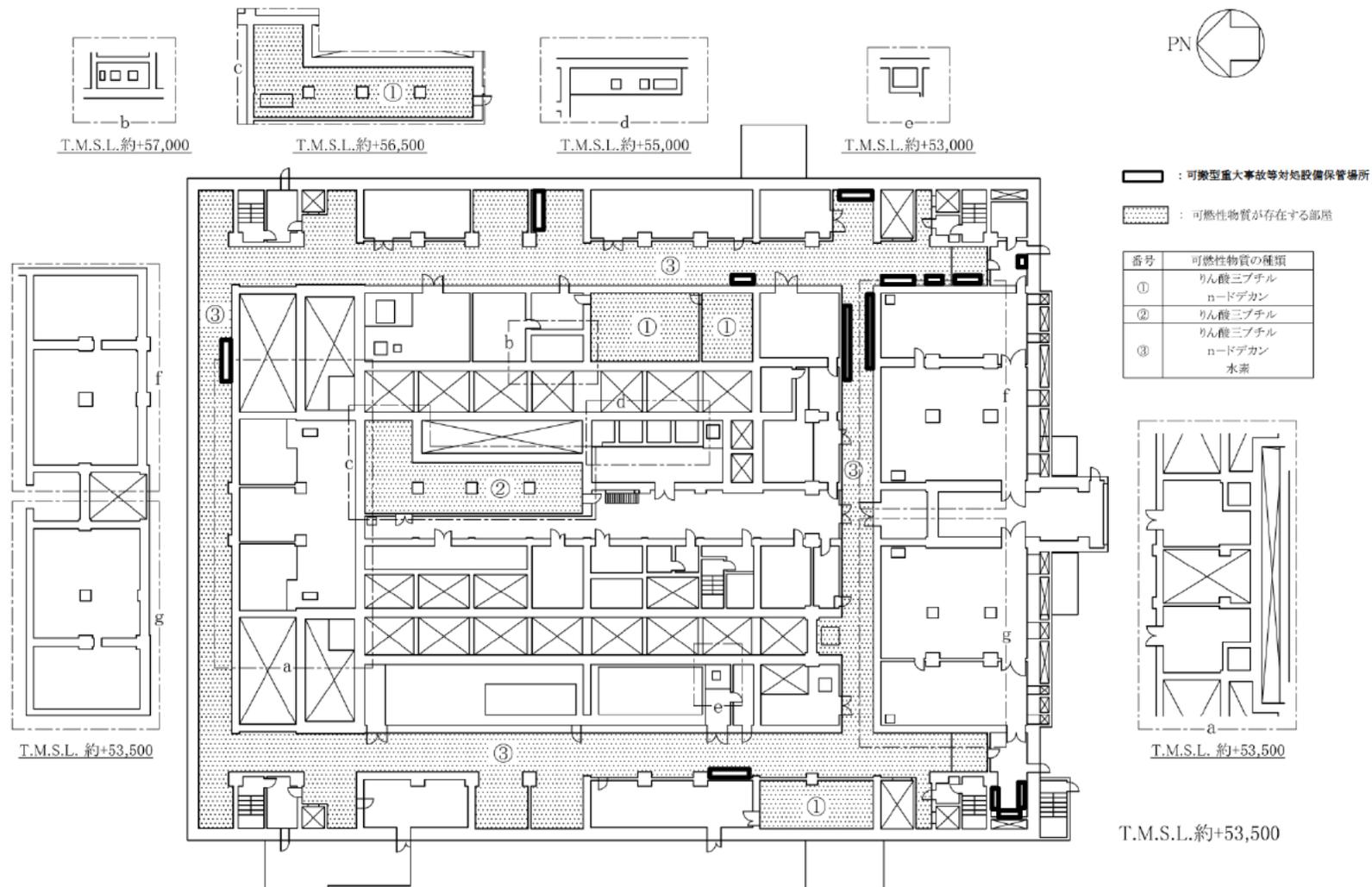
可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地下3階）



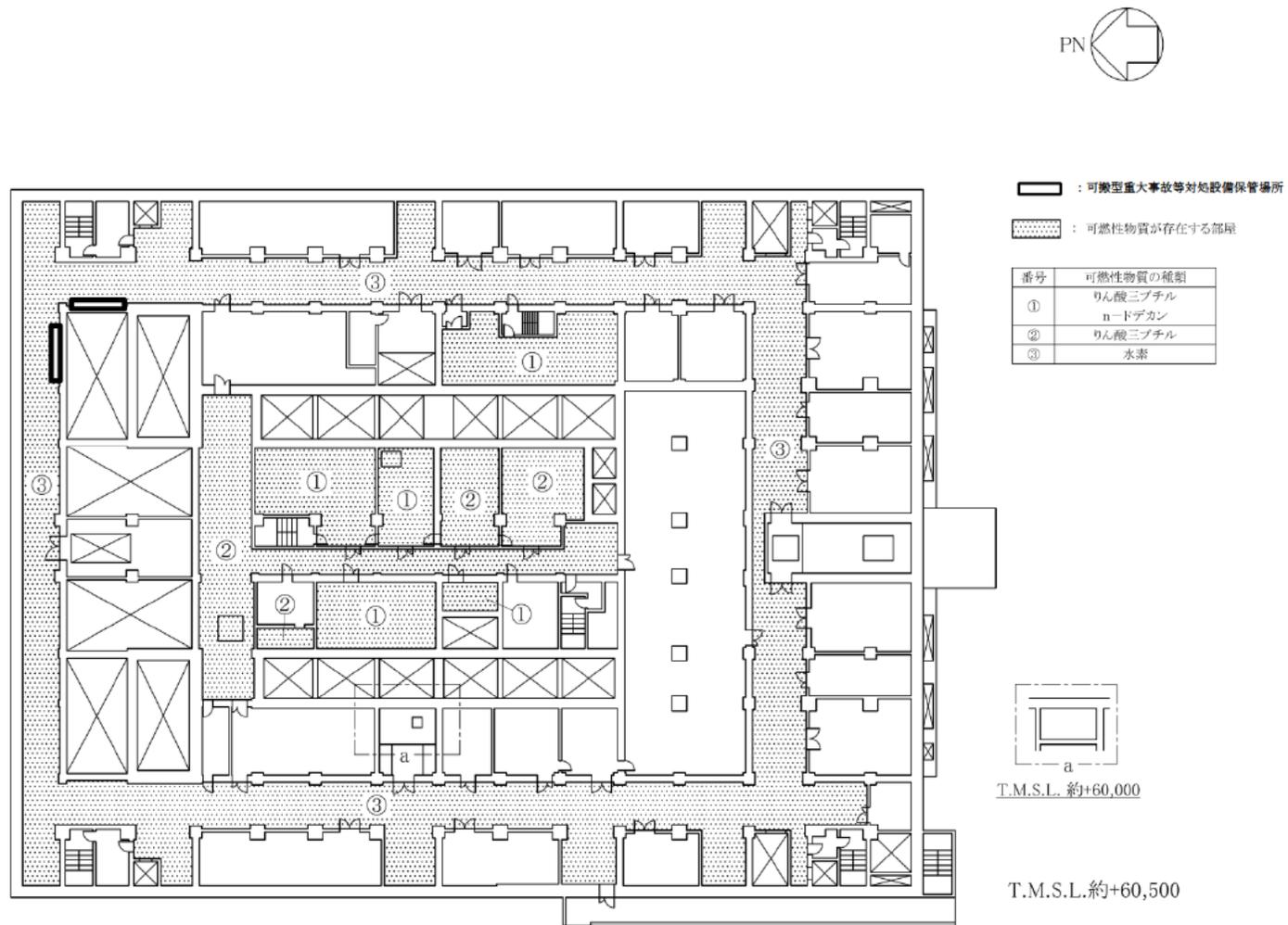
可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地下2階）



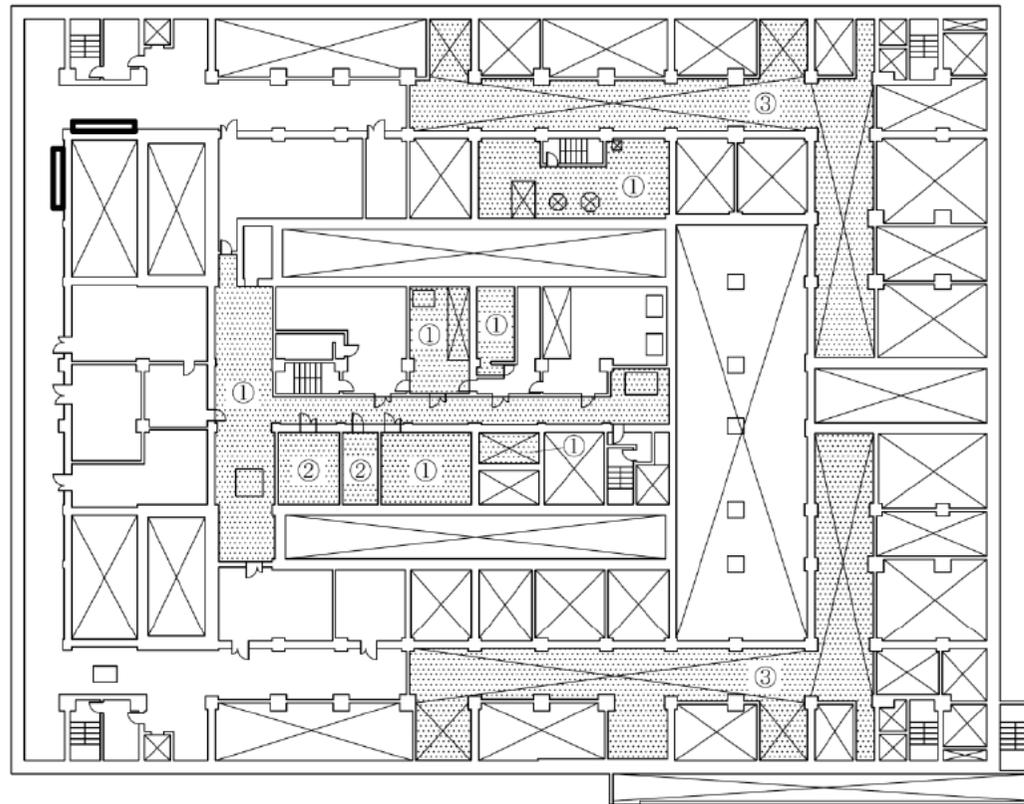
可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地下1階）



可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地上1階）



可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地上2階）



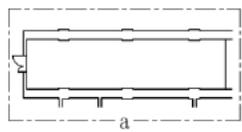
— : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

▨ : 可燃性物質が存在する部屋

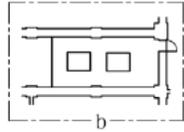
番号	可燃性物質の種類
①	りん酸三ブチル n-ドデカン
②	りん酸三ブチル
③	水素

T.M.S.L.約+64,000

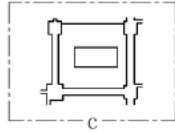
可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地上3階）



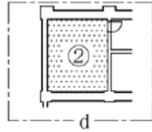
T.M.S.L. 約+67,500



T.M.S.L. 約+67,000



T.M.S.L. 約+68,000



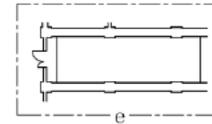
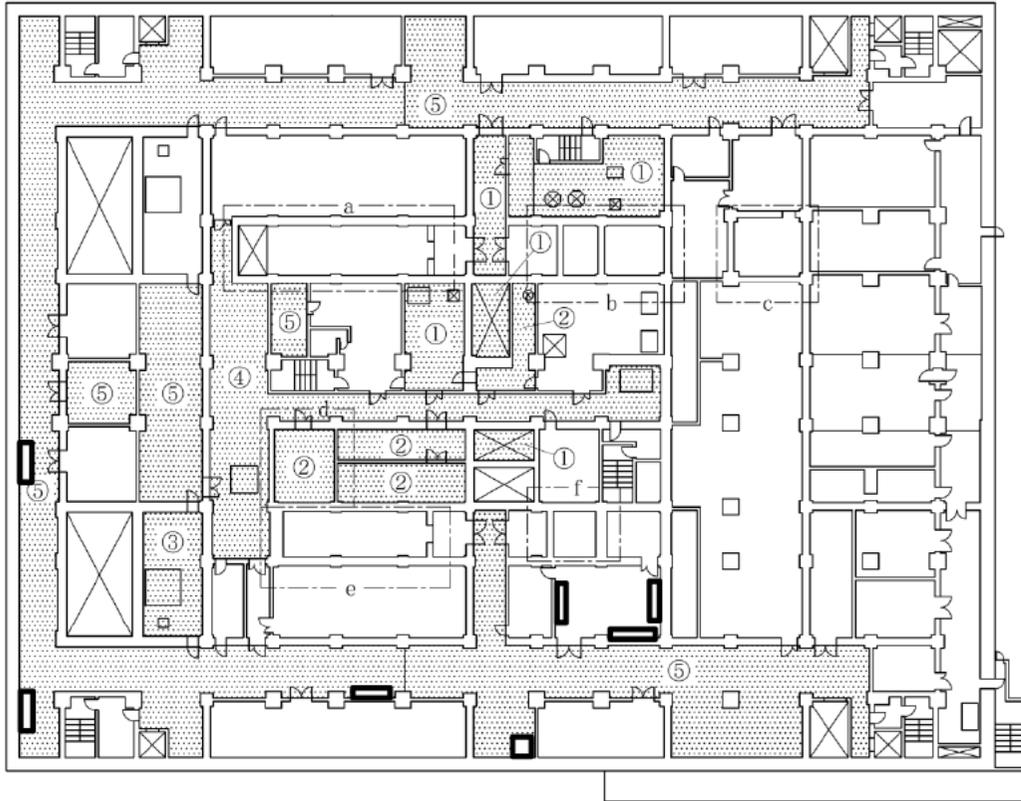
T.M.S.L. 約+69,500



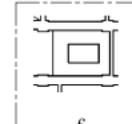
▭ : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

▨ : 可燃性物質が存在する部屋

番号	可燃性物質の種類
①	りん酸三ブチル n-ドデカン
②	りん酸三ブチル
③	n-ドデカン
④	りん酸三ブチル 水素
⑤	水素



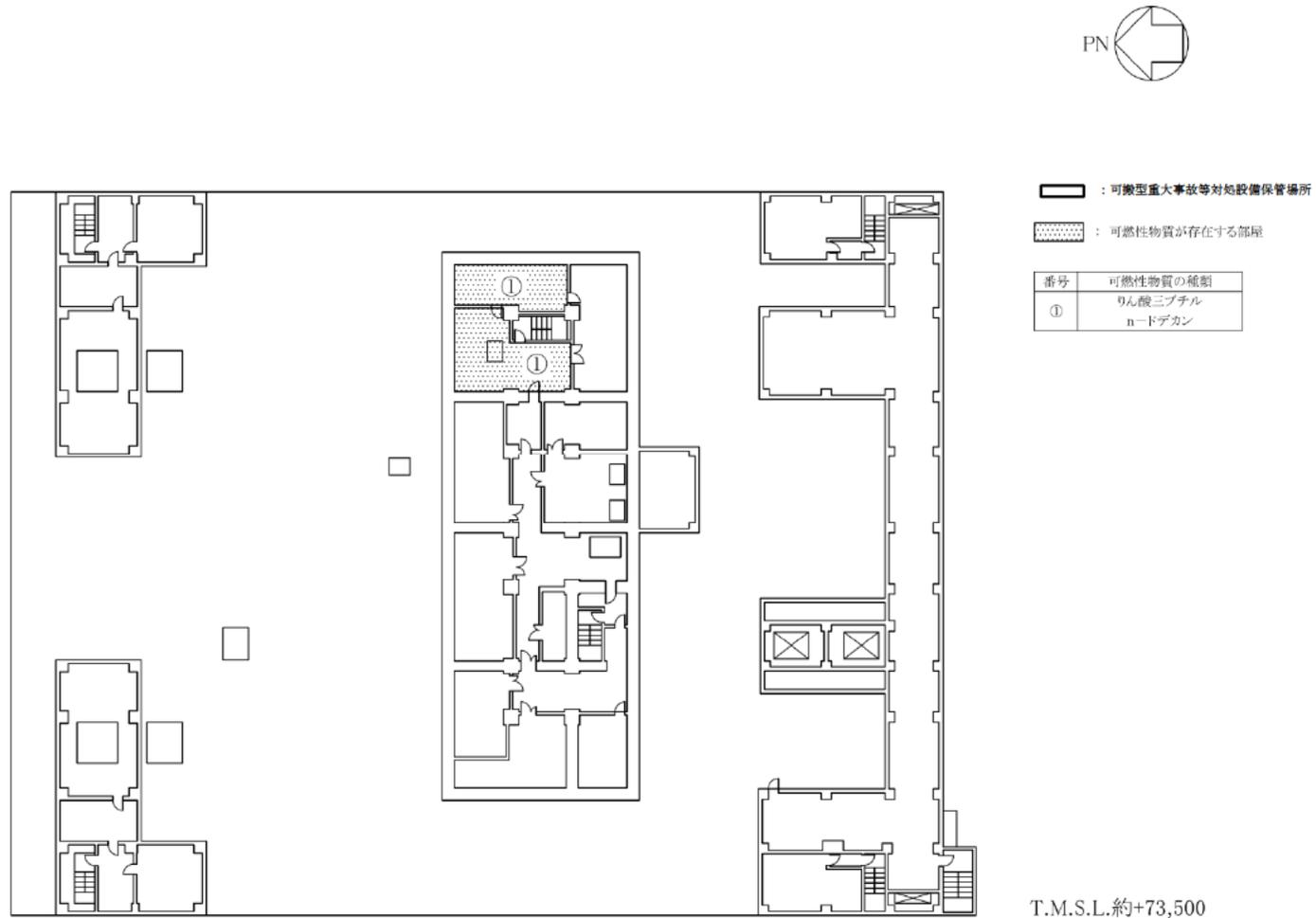
T.M.S.L. 約+67,500



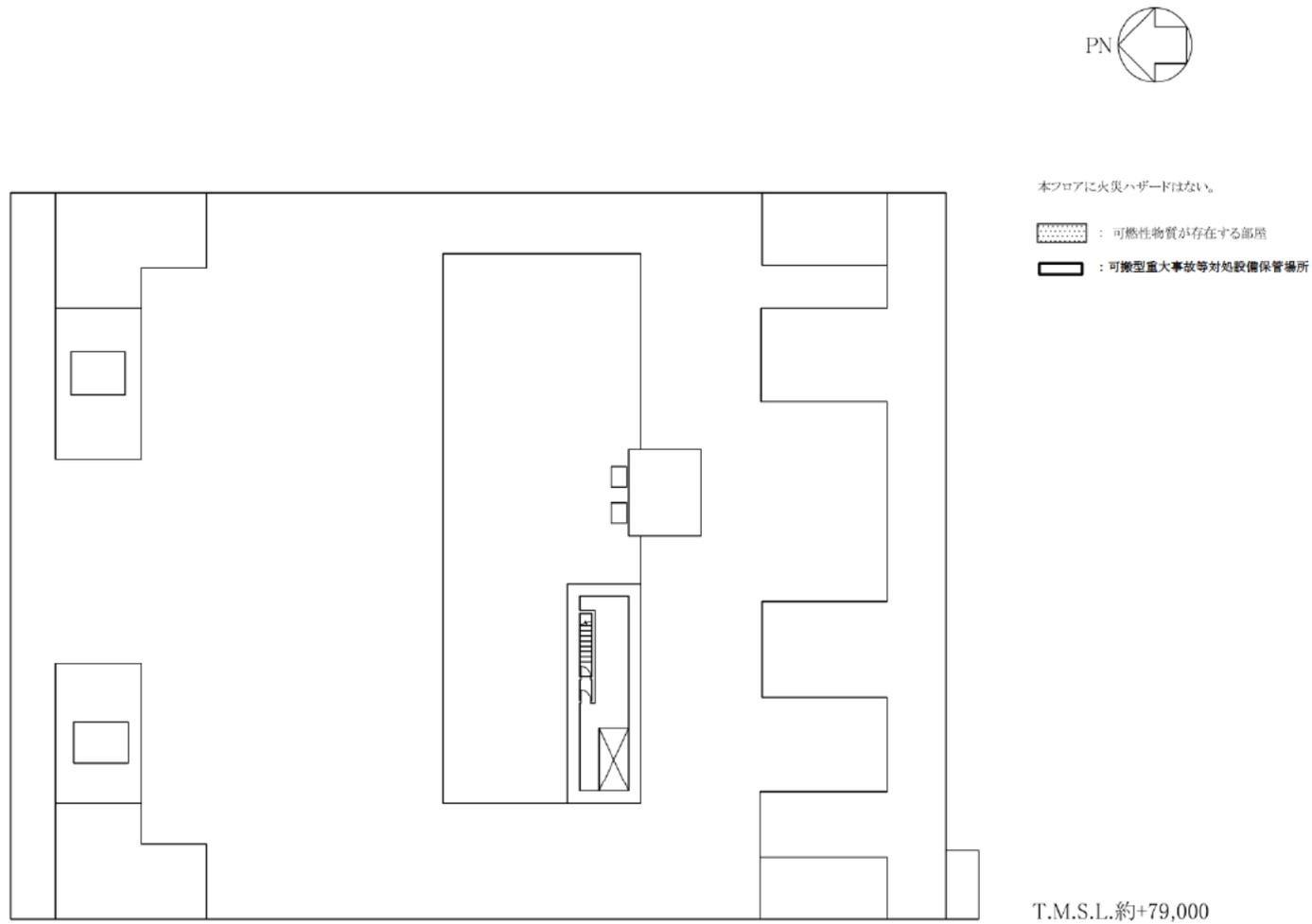
T.M.S.L. 約+67,000

T.M.S.L. 約+65,500

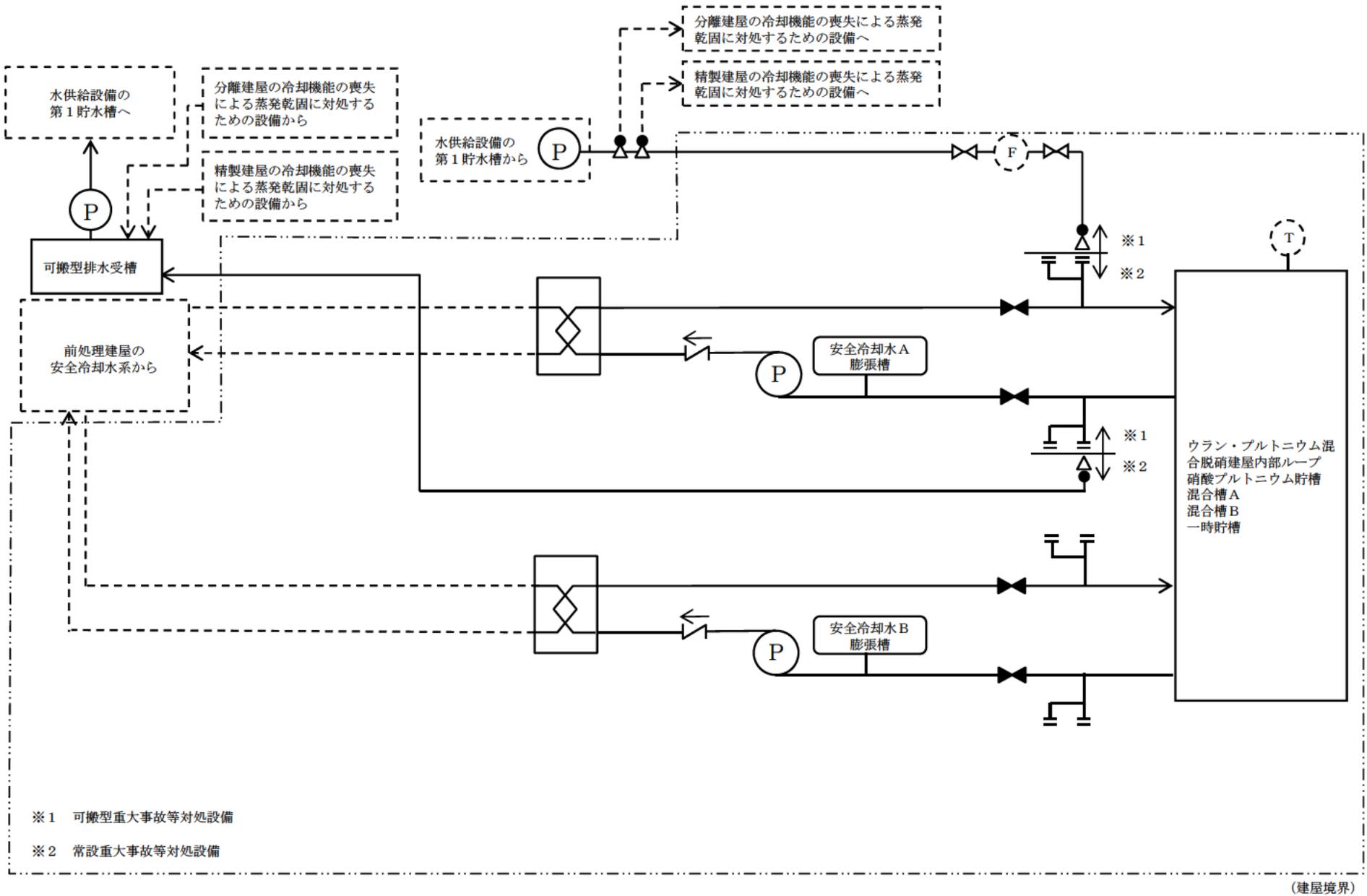
可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地上4階）



可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（地上5階）



可燃性物質による火災ハザードマップ 精製建屋（屋上階）



本図は、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内部ループの2系統のうち1系統の第1接続口の接続例である。ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内部ループの他の1系統並びに第2接続口に接続した場合も同様の系統である。ただし、接続金具等の個数及び位置は、ホース敷設ルートごとに異なる。

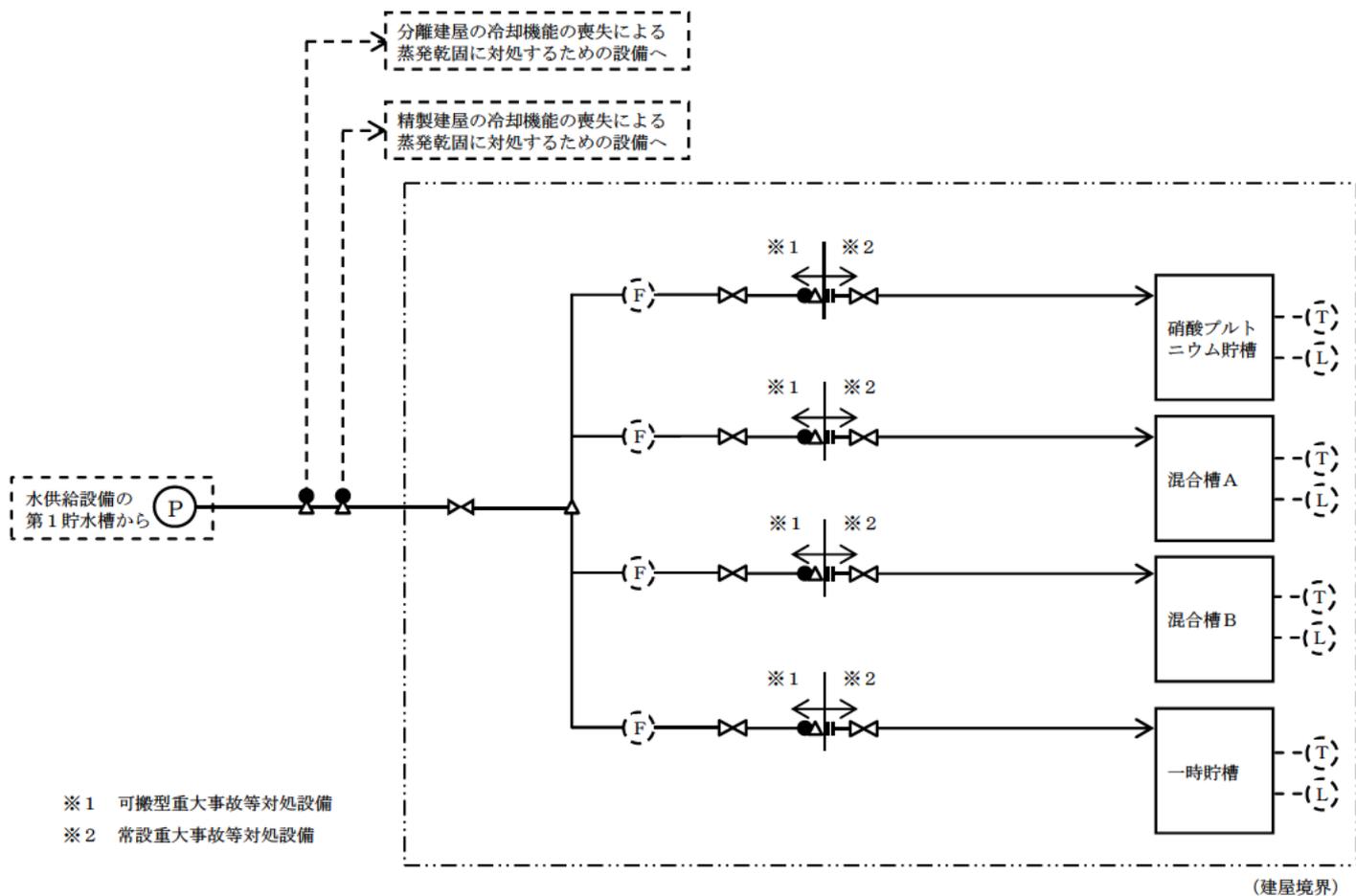
蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の系統概要図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋

については核不拡散の観点から公開できません。

		内部ループ通水 (安全冷却水A系)	内部ループ通水 (安全冷却水B系)	内部ループ通水 (安全冷却水A系)	内部ループ通水 (安全冷却水B系)
		第1接続口 (給水口及び排水口)	第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
ウラン・プルトニウム混合 脱硝建屋 内部ループ	硝酸プルトニウム貯槽	地下1階 ①	地下1階 ②	地下1階 ③	地下1階 ④
	混合槽A				
	混合槽B				
	一時貯槽				



代替安全冷却水系（内部ループへの通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下1階）



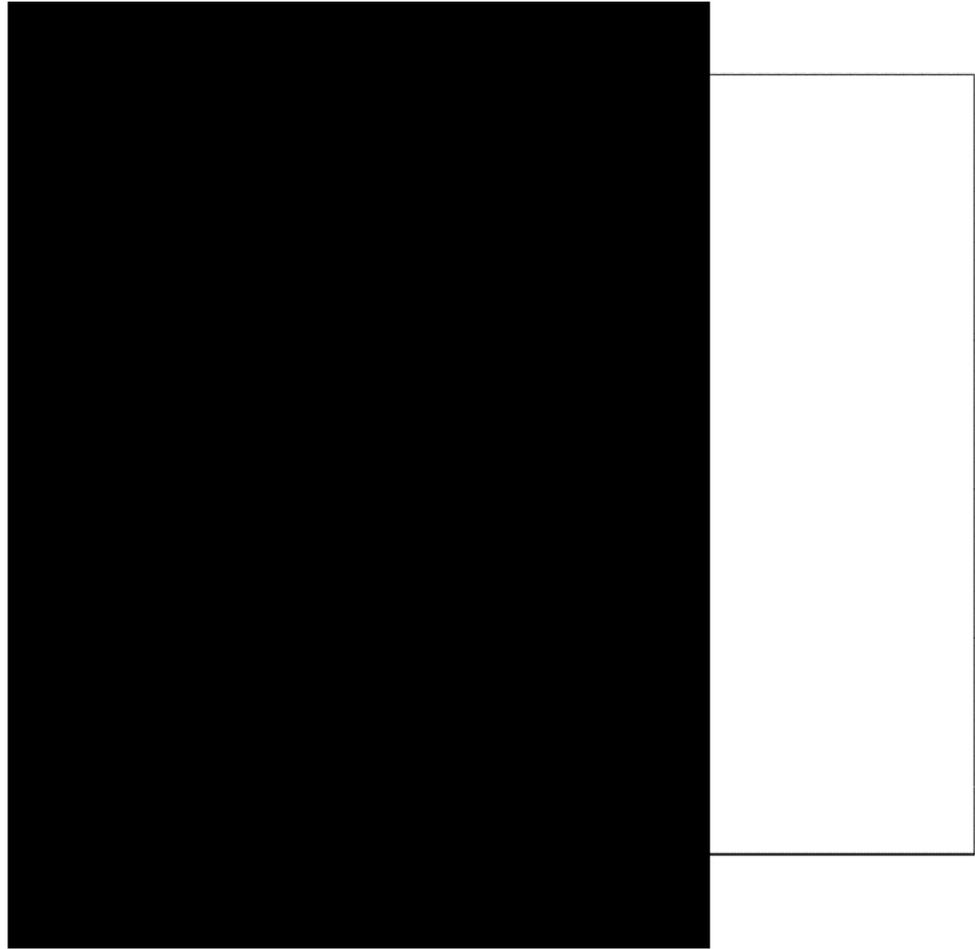
本図は、第1接続口に接続した場合の例である。接続口毎に機器注水配管が異なるため、第2接続口から第4接続口に接続する場合は系統構成が異なる。また、接続金具等の個数及び位置についても、ホース敷設ルートごとに異なる。

蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の系統概要図
 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋



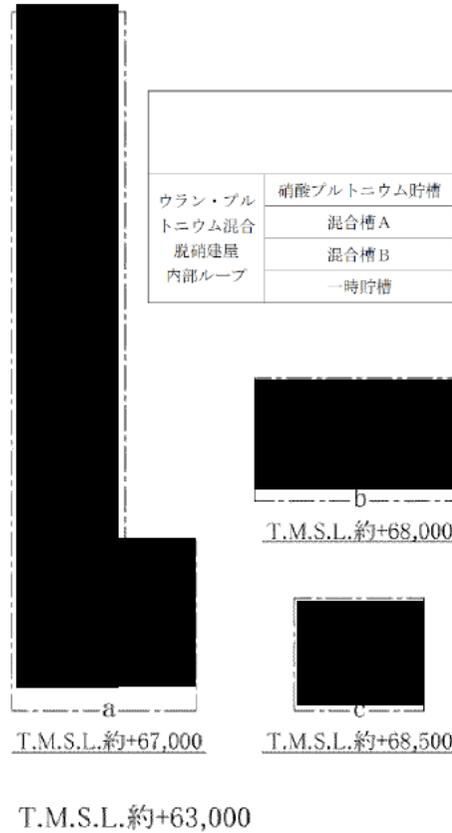
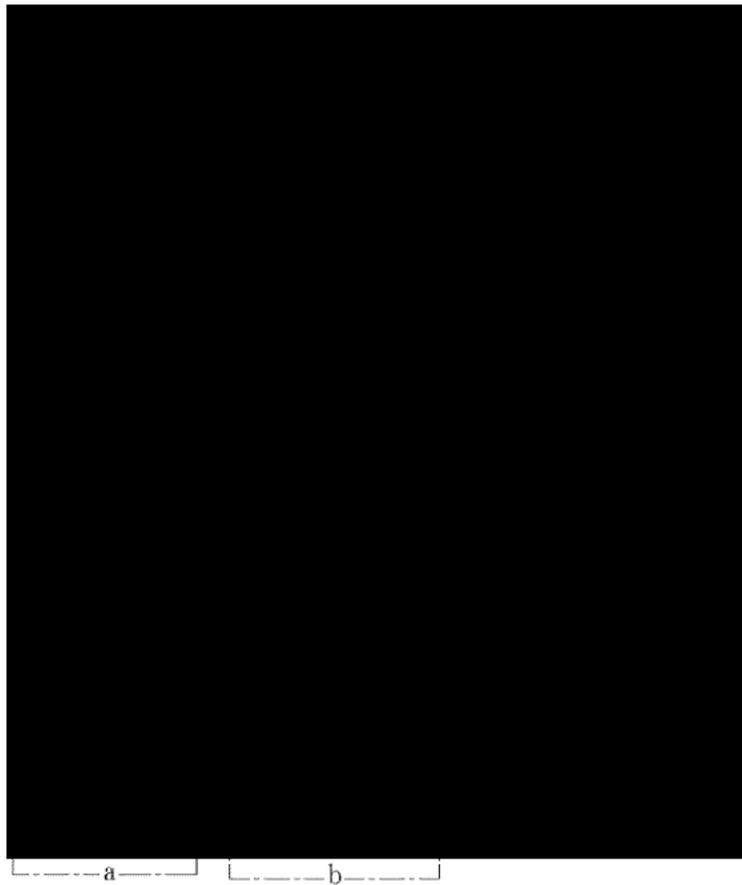
		貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口
ウラン・プルトニウム混合 脱硝建屋 内部ループ	硝酸プルトニウム貯槽				
	混合槽A	地上2階 ①	地上2階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	混合槽B				
一時貯槽					

T.M.S.L.約+55,500



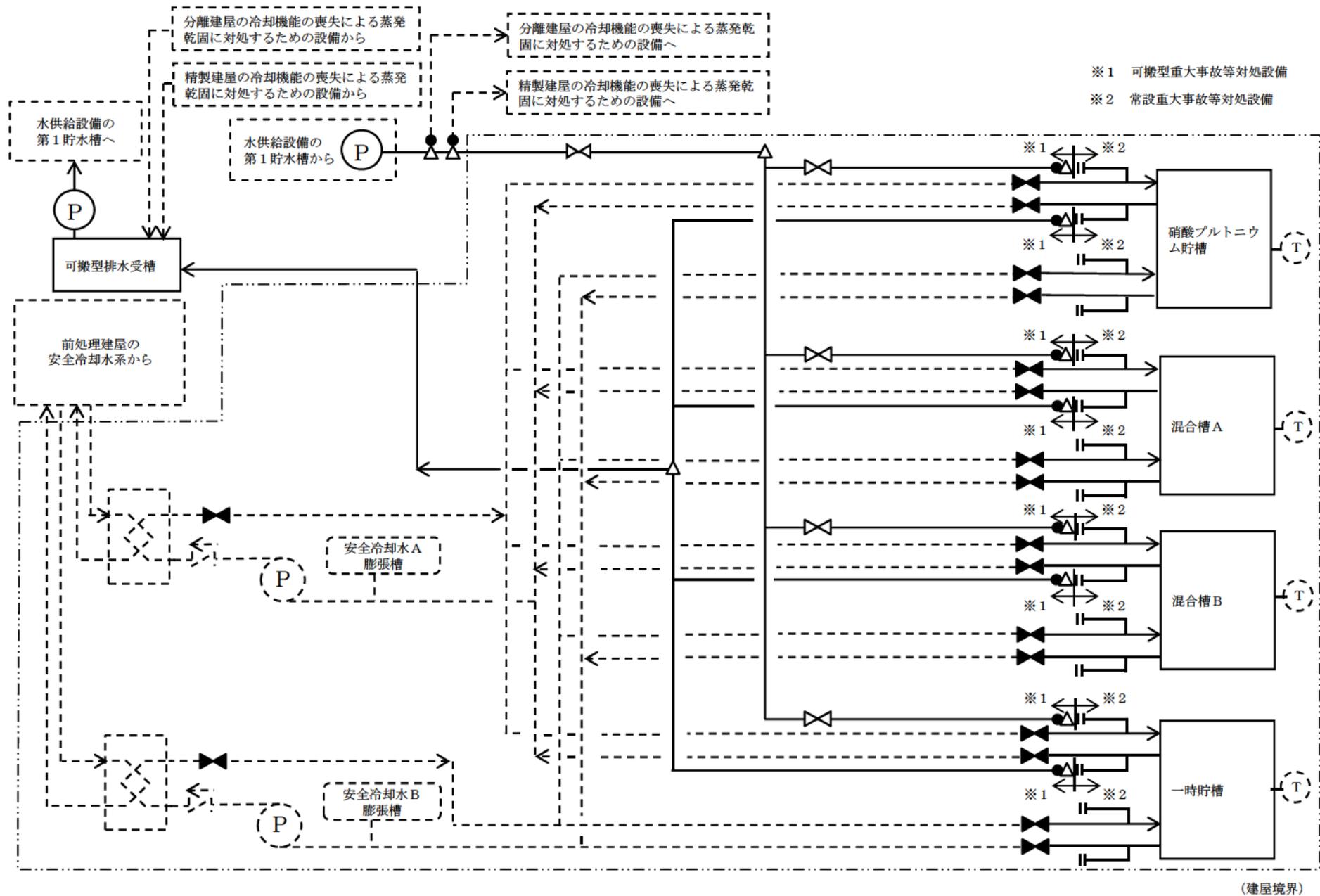
については核不拡散の観点から公開できません。

代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）



		貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内部ループ	硝酸プルトニウム貯槽	地上2階 ①	地上2階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	混合槽A				
	混合槽B				
	一時貯槽				

代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）



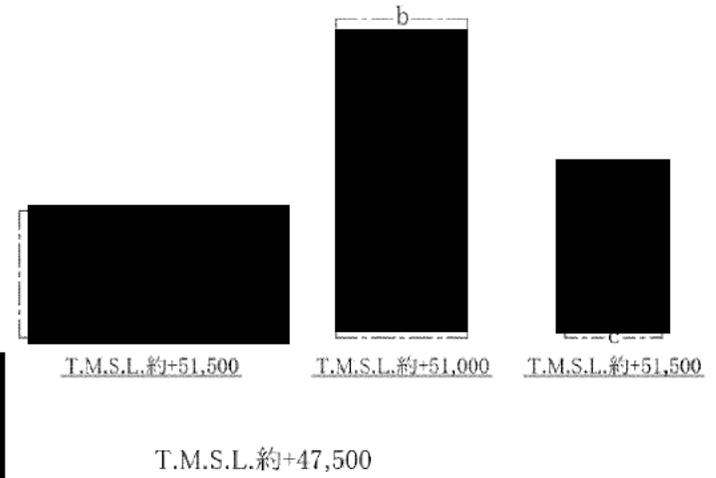
本図は、各貯槽の冷却コイル等の2系統のうち1系統の第1接続口の接続例である。第2接続口及び他の系統等に接続した場合も同様の系統である。ただし、接続金具等の個数及び位置は、ホース敷設ルートごとに異なる。

蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の系統概要図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋

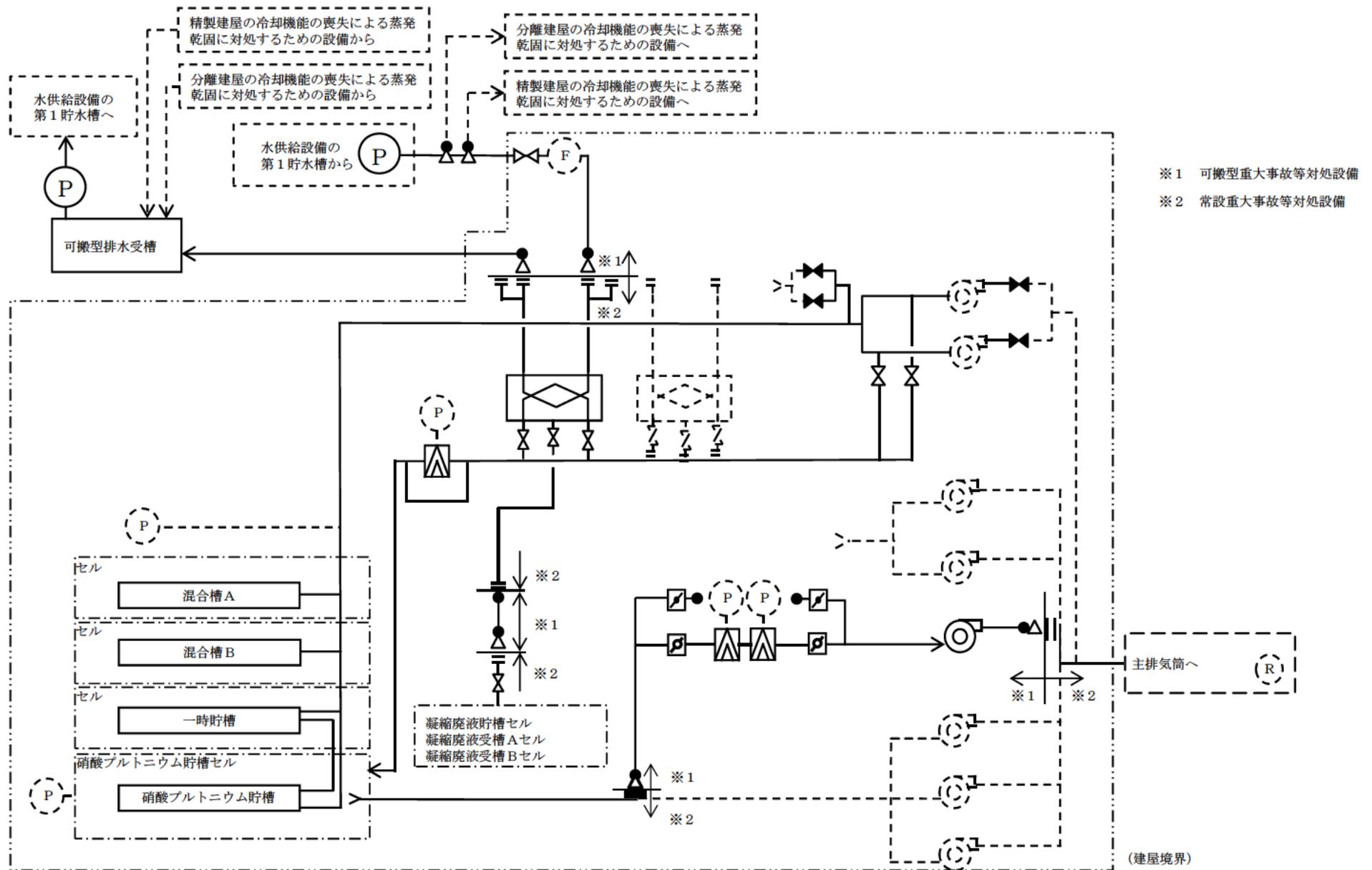
については核不拡散の観点から公開できません。



	冷却コイル等通水	冷却コイル等通水
	安全冷却水A系 (給水口及び排水口)	安全冷却水B系 (給水口及び排水口)
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 内部ループ	地下1階 ①	地下1階 ②



代替安全冷却水系（冷却コイル等への通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下1階）



本図は、セル導出設備の凝縮器の第1接続口の接続例である。セル導出設備の凝縮器の第2接続口及び予備凝縮器に接続した場合も同様の系統である。

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応）の系統概要図
 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋

については核不拡散の観点から公開できません。

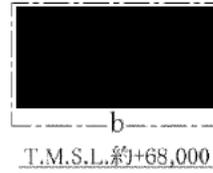


	凝縮器通水	凝縮器通水
	第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
凝縮器	地上1階 ①	地上1階 ②
予備凝縮器	地上2階 ③	地上2階 ④

T.M.S.L.約+55,500

代替安全冷却水系（凝縮器への通水）の通水接続口配置図及び接続口一覧
 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

について(は)核不拡散の観点から公開できません。



T.M.S.L.約+63,000



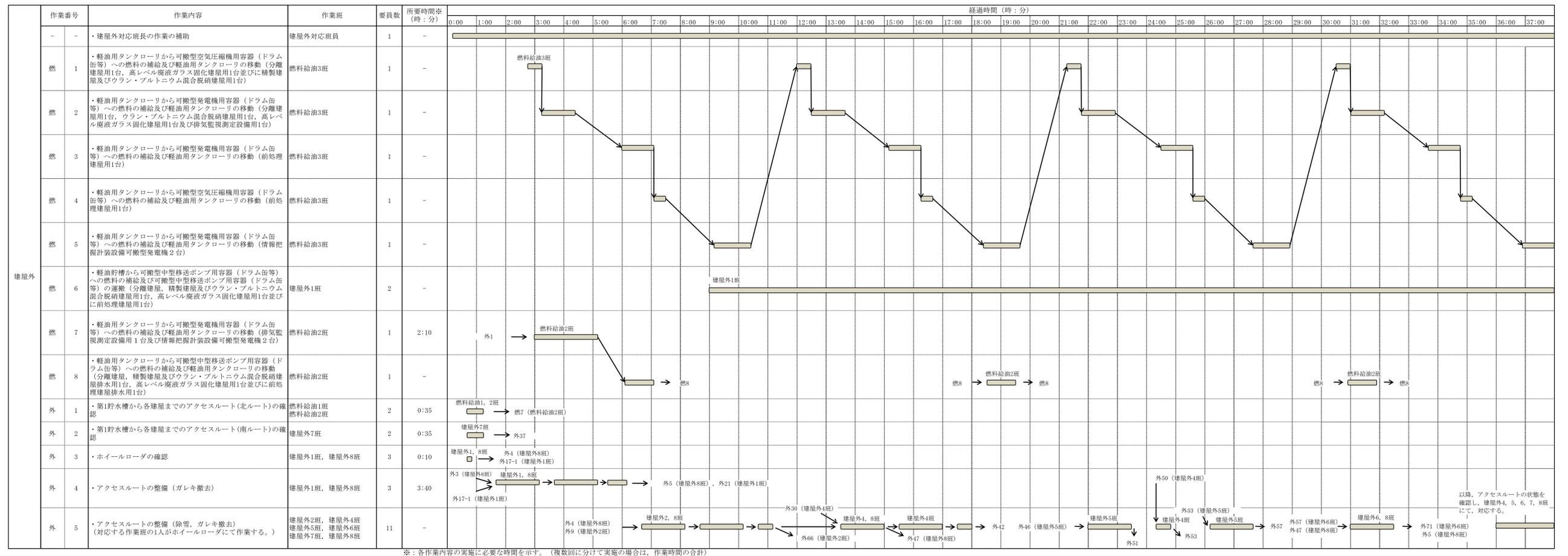
	凝縮器通水	
	第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
凝縮器	地上1階 ①	地上1階 ②
予備凝縮器	地上2階 ③	地上2階 ④

代替安全冷却水系（凝縮器への通水）の通水接続口配置図及び接続口一覧
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）

作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間 (時:分)																																
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00
-	-	建屋内19班, 建屋内22班 建屋内23班	6	1:20																																	
CA	20	膨張槽液位確認	2	1:00																																	
CA	21	可搬型貯槽温度計設置及び貯槽等温度計測	4	1:10																																	
CA	22	内部ループへの通水準備 (弁隔離, 可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作)	4	1:30																																	
CA	23	内部ループへの通水実施 (弁操作, 漏えい確認, 内部ループ通水流量確認)	2	0:10																																	
CA	受皿	可搬型漏えい液受血液位計設置 (漏えい液受血液位計測)	4	2:00																																	
CA	29	計器監視 (貯槽等温度, 内部ループ通水流量, 排水線量) 可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	4	-																																	

※: 各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における地震を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目 (その2)

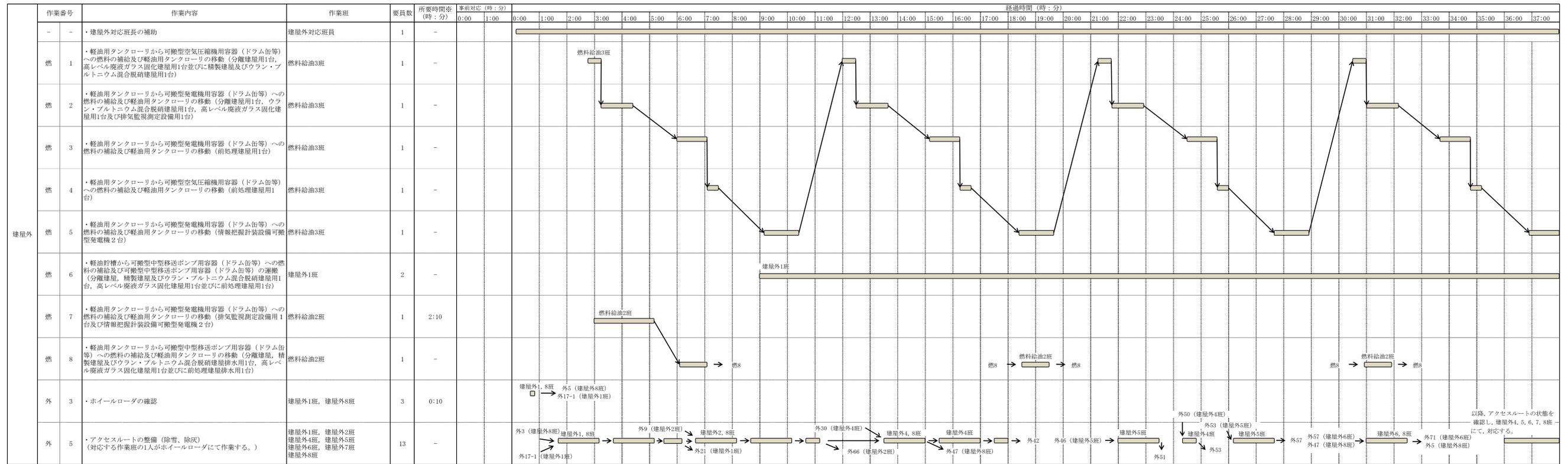


ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における地震を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目 (その3)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間 (時:分)																																
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00
外 6	・使用する資機材の確認	建屋外2班, 建屋外3班 建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班	10	0:20	建屋外2, 3, 4, 5, 6班																																
外 7	・第1貯水槽取水準備	建屋外2班, 建屋外3班 建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班	10	0:10	建屋外2班 外10 (建屋外3班) 外11 (建屋外4, 5班) 外25 (建屋外6班)																																
外 8	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外2班	2	0:30	建屋外2班																																
外 9	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外2班	2	3:30	建屋外2班 → 外5																																
外 10	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2	0:10	外7 → 建屋外3班																																
外 11	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置及び起動確認	建屋外3班, 建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外7 → 建屋外3, 4, 5班 外26 (建屋外4, 5班)																																
外 12	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外25 → 建屋外6班 → 外27																																
外 13	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班, 建屋外7班	8	1:10	外27 (建屋外6班) → 建屋外4, 5, 6, 7班 → 外14 (建屋外4班) 外38 (建屋外4, 5, 7班) → 外15 (建屋外5, 6, 7班)																																
外 14	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外4班	2	0:30	外13 → 建屋外4班 → 外18																																
外 15	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外13 → 建屋外5, 6, 7班																																
外 16	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型排水受槽の運搬車による運搬, 設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外64 (建屋外5班) 外65 (建屋外6, 7班)																																
外 18	・精製建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2	0:10	外14 → 建屋外4班 → 外21																																
外 19	・分離建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外17-2 → 建屋外3班 → 外22																																
外 20	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外22 → 建屋外3班 → 外40																																
外 21	・精製建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班, 建屋外4班	4	0:30	外4 (建屋外1班), 外18 (建屋外4班) → 建屋外1, 4班 → 外30 (建屋外4班), 外24 (建屋外1班)																																
外 22	・分離建屋への水の供給流量及び圧力の調整 (必要に応じ精製建屋側も調整)	建屋外1班, 建屋外3班	4	0:35	外19 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 3班 → 外20 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班)																																
外 23	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給流量及び圧力の調整 (必要に応じ分離建屋及び精製建屋側も実施)	建屋外1班, 建屋外2班	4	1:40	外68 (建屋外2班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 2班 → 外66 (建屋外2班), 外24 (建屋外1班)																																
外 24	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給及び状態監視 (流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへの燃料の補給	建屋外1班	2	-	建屋外1班																																
外 25	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2	0:10	外7 → 建屋外6班 → 外12																																
外 26	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置及び起動確認	建屋外3班, 建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外11 → 建屋外3, 4, 5班 → 外38 (建屋外4, 5班), 外39 (建屋外3班)																																
外 27	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外12 → 建屋外6班 → 外13																																
外 28	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの準備 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:00	外39 → 建屋外3班																																
外 29	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:30	外17-2																																
外 30	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班, 建屋外7班	8	2:00	外21 (建屋外4班), 外65 (建屋外5, 6, 7班) → 建屋外4, 5, 6, 7班 → 外5 (建屋外4班), 外32 (建屋外5, 6, 7班)																																
外 31	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2	0:30	外24 → 建屋外1班 → 外24																																
外 32	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外30 → 建屋外5, 6, 7班																																
外 33	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型排水受槽の運搬車による運搬, 設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外67 (建屋外6班) 外68 (建屋外5, 7班)																																
外 34	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外41 → 建屋外3班 → 外35																																
外 35	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班, 建屋外3班	4	0:30	外34 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 3班 → 外49 (建屋外3班) 外24, 36 (建屋外1班)																																
外 36	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給及び状態監視 (流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへの燃料の補給	建屋外1班	2	-	建屋外1班																																

※: 各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における地震を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目 (その4)



ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における火山を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目(その3)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間 (時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
CA	1	・可搬型貯槽液位計設置準備 (可搬型建屋外ホース敷設, 接続)	建屋内13班	2	0:40																							
CA	24	・可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作, 漏えい確認	建屋内11班, 建屋内12班	4	1:20																							
CA	25	・弁操作, 貯槽等への注水実施	建屋内48班	2	0:10																							
CA	26	・可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班, 建屋内14班	4	2:00																							
CA	27	・可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作, 漏えい確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内23班	8	3:50																							
CA	28	・弁操作, 凝縮器への通水実施	建屋内11班	2	0:10																							
CA	10	・隔離弁の操作, 可搬型セル導出ユニット流量計設置, 可搬型セル導出ユニットフィルタ差圧計設置	建屋内16班	2	1:30																							
CA	11	・ダンパ閉止	建屋内17班, 建屋内18班	4	0:30																							
CA	12	・可搬型導出先セル圧力計設置	建屋内17班, 建屋内18班	4	0:10																							
CA	14	・可搬型ダクト設置	建屋内14班, 建屋内15班 建屋内16班, 建屋内17班 建屋内18班, 建屋内19班	12	2:30																							
CA	15	・可搬型排風機, 可搬型フィルタ設置	建屋内14班, 建屋内19班	4	0:50																							
CA	16	・可搬型電源ケーブル敷設	建屋内22班, 建屋内23班 建屋内27班	6	1:50																							
CA	17	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機起動	建屋内27班	2	0:20																							
CA	18	・可搬型排風機起動準備	建屋内14班, 建屋内19班	4	0:10																							
CA	19	・導出先セル圧力確認, 可搬型排風機起動	建屋内21班	2	1:00																							
CA=1	1	・可搬型建屋内ホース等運搬	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8	1:00																							
CA=1	2	・冷却コイル等への通水準備 (可搬型建屋内ホース敷設, 可搬型冷却コイル圧力計設置)	建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班	6	0:30																							
CA=1	3	・冷却コイル等の健全性確認 (弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル圧力確認)	建屋内15班, 建屋内24班 建屋内25班	6	0:50																							
CA=1	4	・冷却コイル等への通水実施 (弁操作, 漏えい確認)	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:50																							
CA	29	・計器監視 (貯槽等温度, 貯槽等液位, 貯槽等注水流量, 冷却コイル通水流量, 凝縮器出口排気風速, 凝縮器通水流量, 凝縮器回収セル液位, 代替セル排気系フィルタ差圧) ・可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内18班, 建屋内19班	4	-																							

※: 各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における地震又は火山を想定した場合の貯槽等への注水, 冷却コイル等への通水, セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応に必要な要員及び作業項目 (その2)

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	貯槽等温度（硝酸プルトニウム貯槽）
	貯槽等温度（一時貯槽）
②	貯槽等温度（混合槽A）
	貯槽等温度（混合槽B）
③	内部ループ通水流量



操作場所

- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備保管場所



については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	膨張槽液位



操作場所

- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）のアクセスルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	漏えい液受皿液位



T.M.S.L.約+67,000

T.M.S.L.約+63,000



T.M.S.L.約+68,000



T.M.S.L.約+68,500



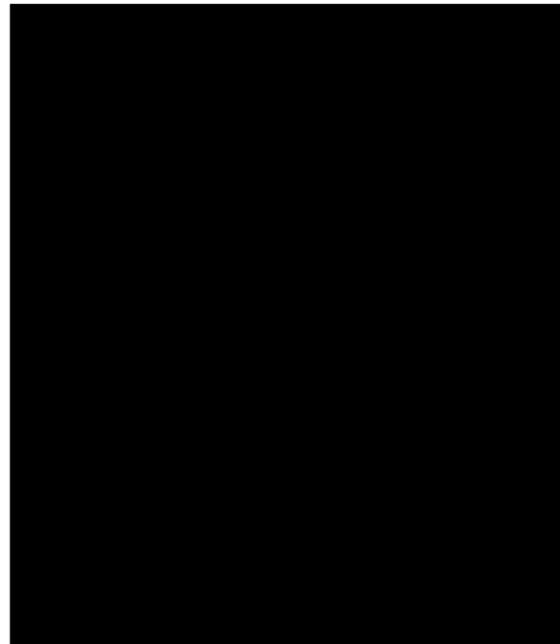
- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

対象なし

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）のアクセスルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）

については核不拡散の観点から公開できません。

ウラン・プルトニウム
混合脱硝建屋地下1階へ



- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

対象なし



T.M.S.L.約+49,500

T.M.S.L.約+47,000

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地下2階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。



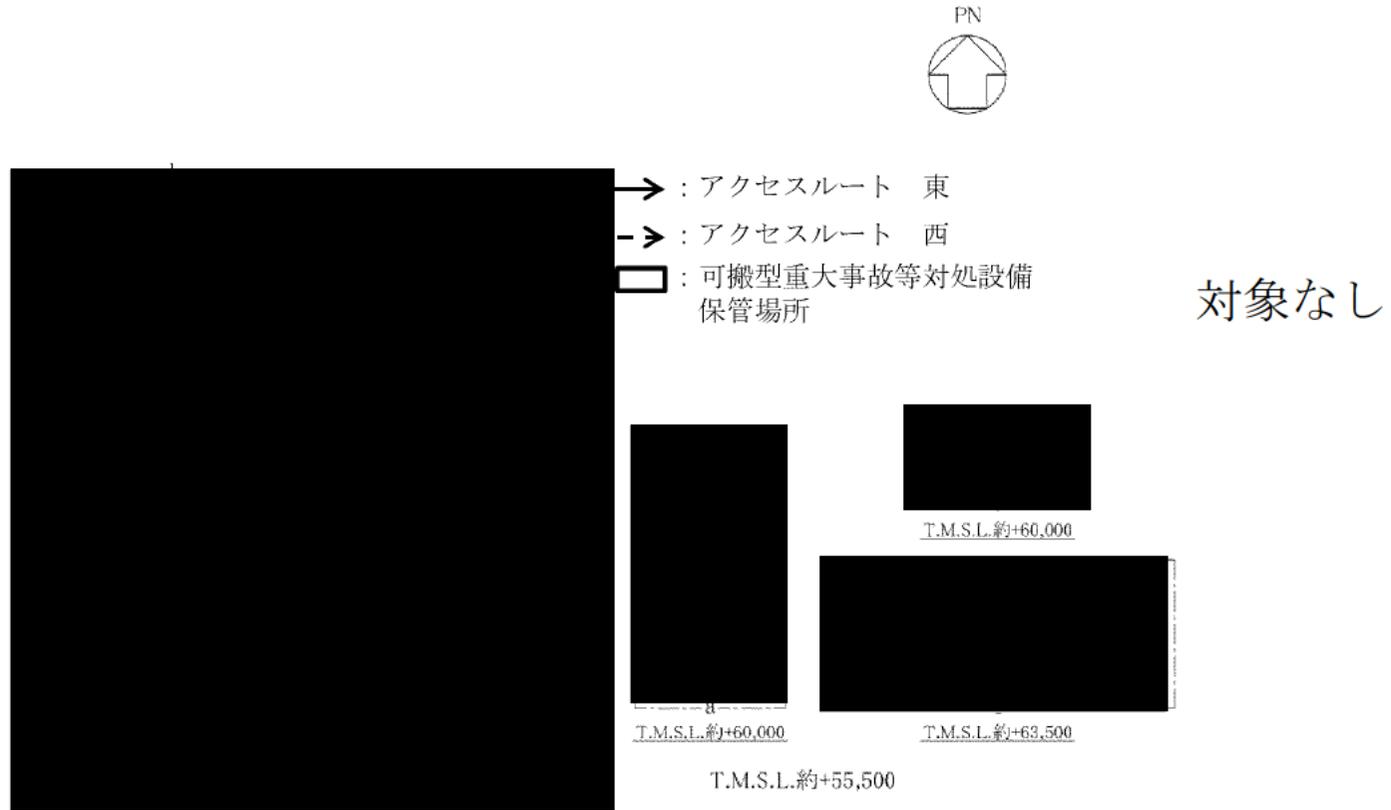
- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

対象なし

T.M.S.L.約+50,500

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地下1階）

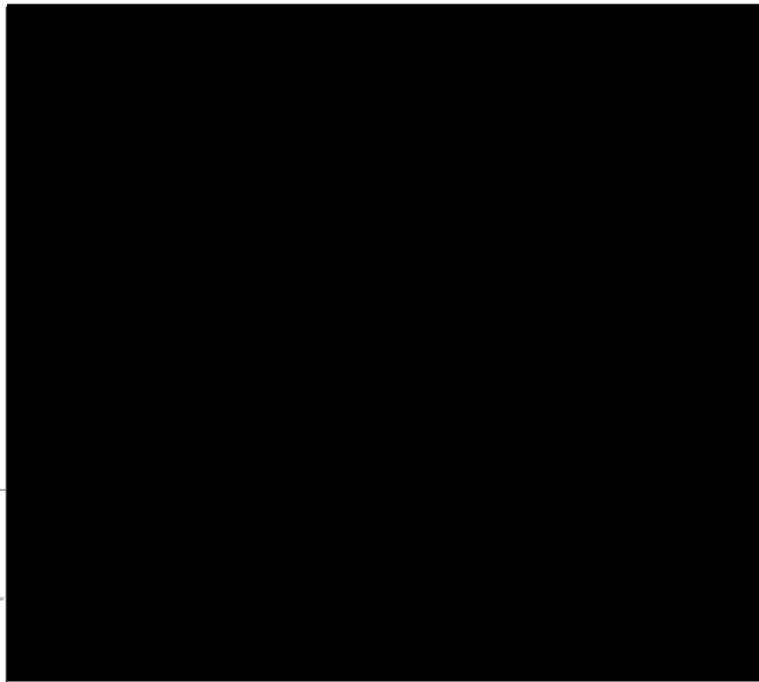
■ については核不拡散の観点から公開できません。



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地上1階）

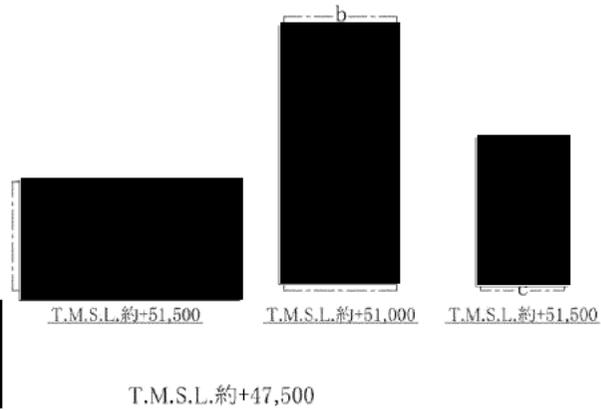
については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	貯槽等温度（硝酸プルトニウム貯槽）
	貯槽等温度（一時貯槽）
②	貯槽等温度（混合槽A）
	貯槽等温度（混合槽B）



- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

対象なし



蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）のアクセスルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	貯槽等注水流量（硝酸プルトニウム貯槽）
	貯槽等注水流量（混合槽A）
	貯槽等注水流量（混合槽B）
	貯槽等注水流量（一時貯槽）



操作場所

- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

操作場所

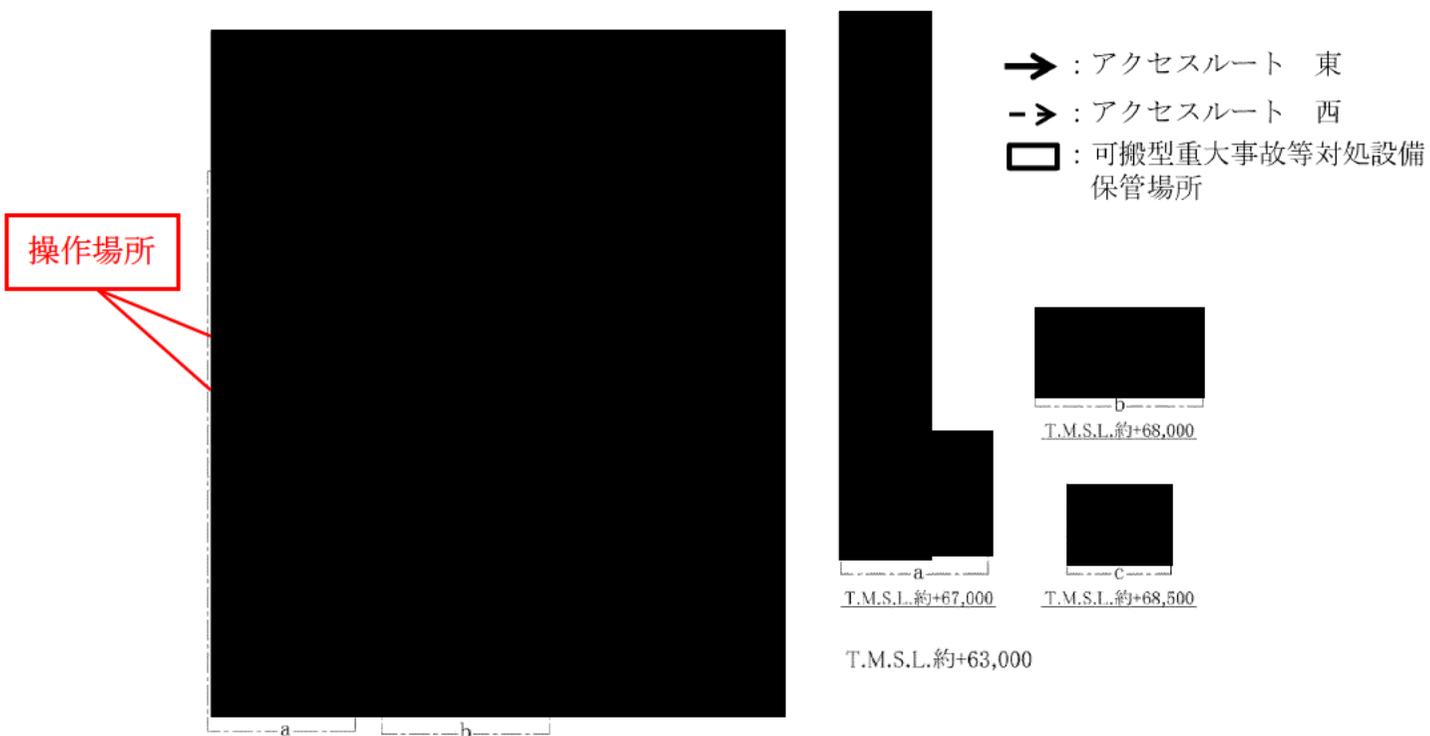
T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）のアクセスルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	貯槽等液位 (硝酸プルトニウム貯槽)
	貯槽等液位 (混合槽A)
	貯槽等液位 (混合槽B)
	貯槽等液位 (一時貯槽)

計測場所	監視項目
②	貯槽等注水流量 (硝酸プルトニウム貯槽)
	貯槽等注水流量 (混合槽A)
	貯槽等注水流量 (混合槽B)
	貯槽等注水流量 (一時貯槽)



蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）のアクセスルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	貯槽等温度（硝酸プルトニウム貯槽）
	貯槽等温度（一時貯槽）
②	貯槽等温度（混合槽A）
	貯槽等温度（混合槽B）

計測場所	監視項目
③	冷却コイル圧力（硝酸プルトニウム貯槽）
	冷却コイル圧力（混合槽A）
	冷却コイル圧力（混合槽B）
	冷却コイル圧力（一時貯槽）

計測場所	監視項目
④	冷却コイル通水流量（硝酸プルトニウム貯槽）
	冷却コイル通水流量（混合槽A）
	冷却コイル通水流量（混合槽B）
	冷却コイル通水流量（一時貯槽）



蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）のアクセスルート
 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下1階）



については核不拡散の観点から公開できません。



- ➔ : アクセスルート 東
- ➔ : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

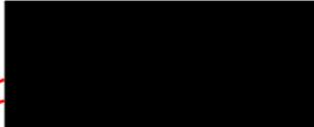
対象なし

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

操作場所



T.M.S.L.約+43,000

計測場所	監視項目
①	代替セル排気系フィルタ差圧

操作場所



- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



T.M.S.L.約+43,000

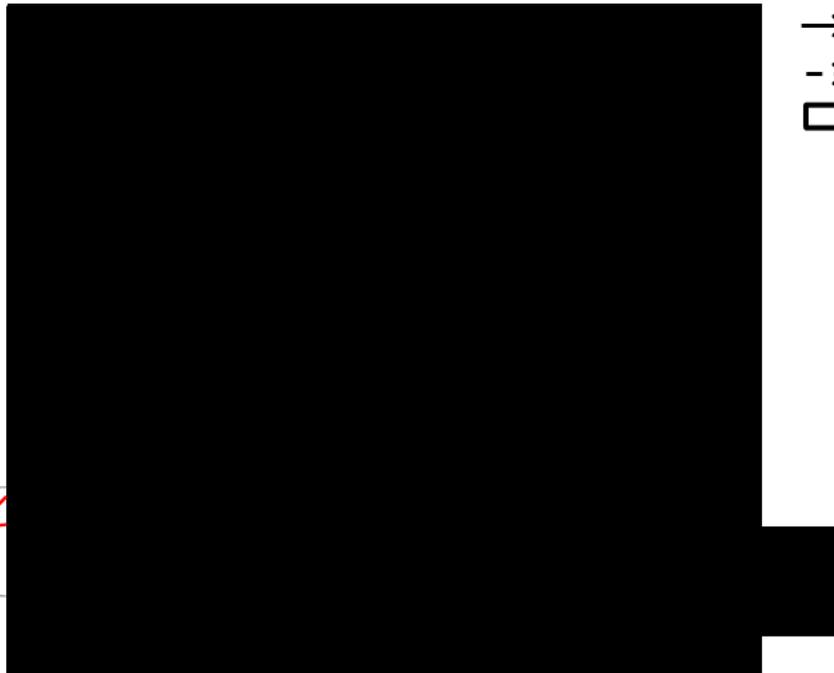
T.M.S.L.約+40,000

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下2階）



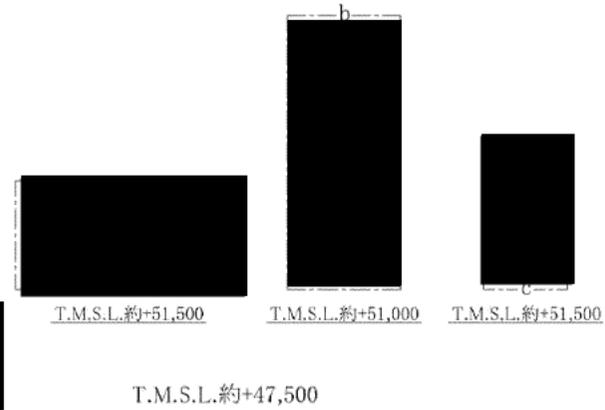
については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	導出先セル圧力



操作場所

- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	凝縮器通水流量
②	凝縮器出口排気温度
③	セル導出ユニットフィルタ差圧



- : アクセスルート 東
- > : アクセスルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

操作場所

T.M.S.L.約+55,500

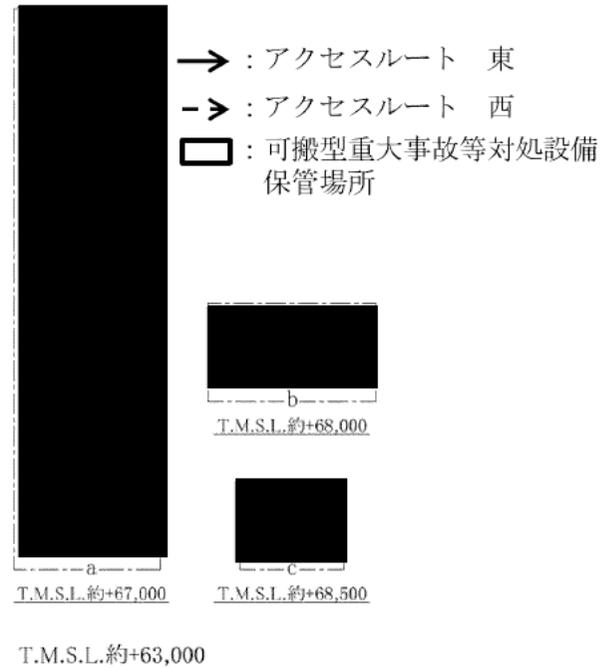
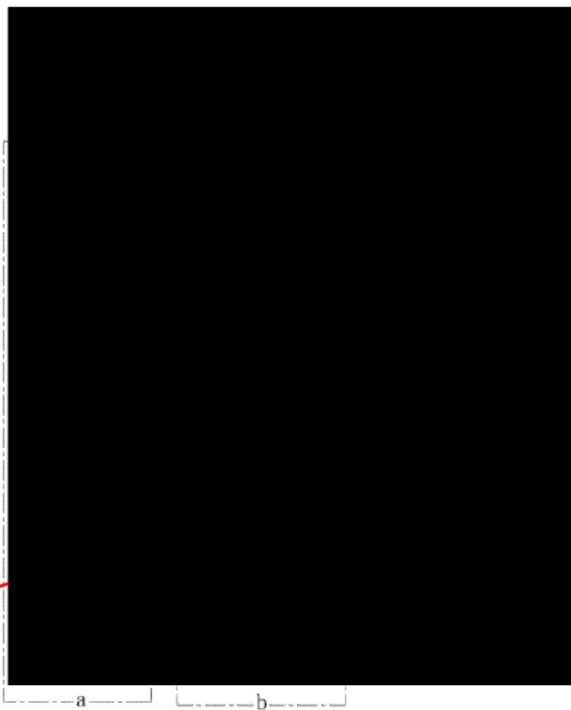
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のアクセスルート
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上1階）

■
 については核不拡散の観点から公開できません。

計測場所	監視項目
①	セル導出経路圧力
②	凝縮水回収セル液位



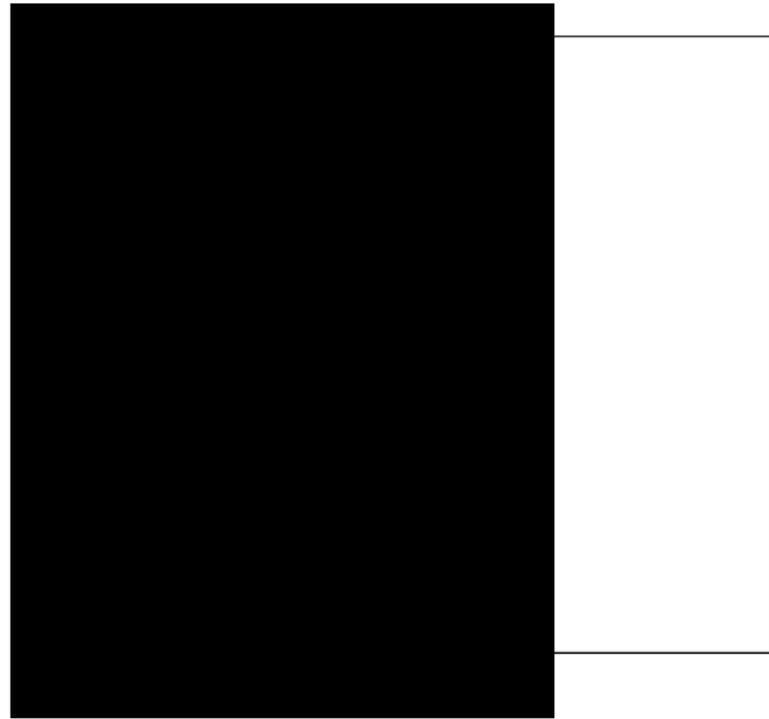
操作場所



蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のアクセスルート
 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）



については核不拡散の観点から公開できません。



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝
建屋（A系列 第1接続口）（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	

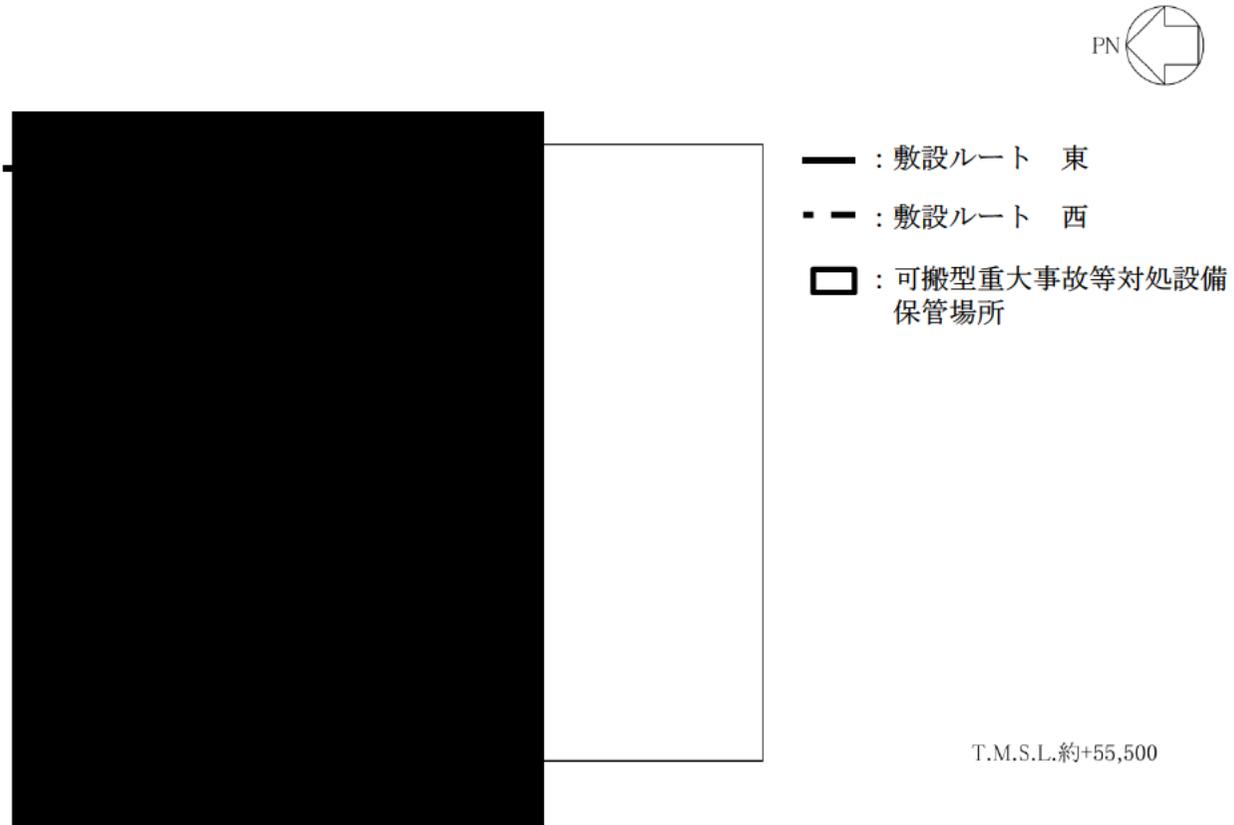


- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（A系列 第1接続口）（地下1階）

については核不拡散の観点から公開できません。



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝
建屋（A系列）（第2接続口）（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備保管場所



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（A系列 第1接続口）（地下1階）



については核不拡散の観点から公開できません。



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝
建屋（B系列 第1接続口）（地上1階）

■■■■
 については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝
 建屋（B系列 第1接続口）（地下1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝
建屋（B系列 第2接続口）（地上1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（B系列 第2接続口）（地下1階）



については核不拡散の観点から公開できません。



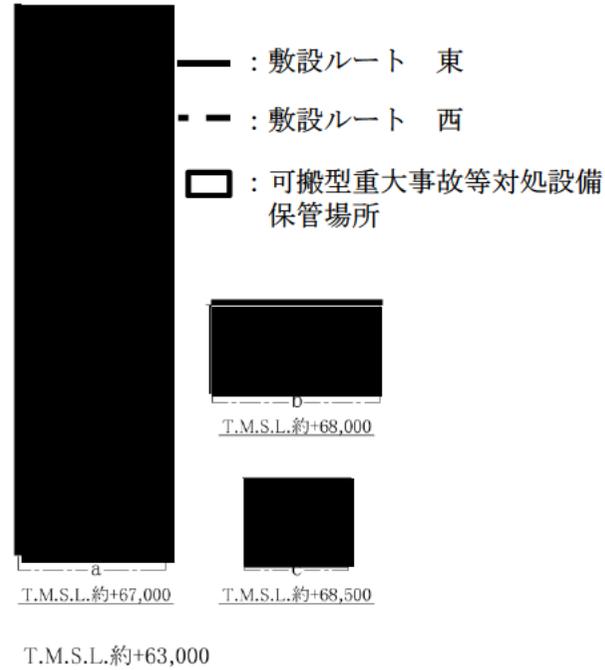
- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第1接続口）（地上1階）

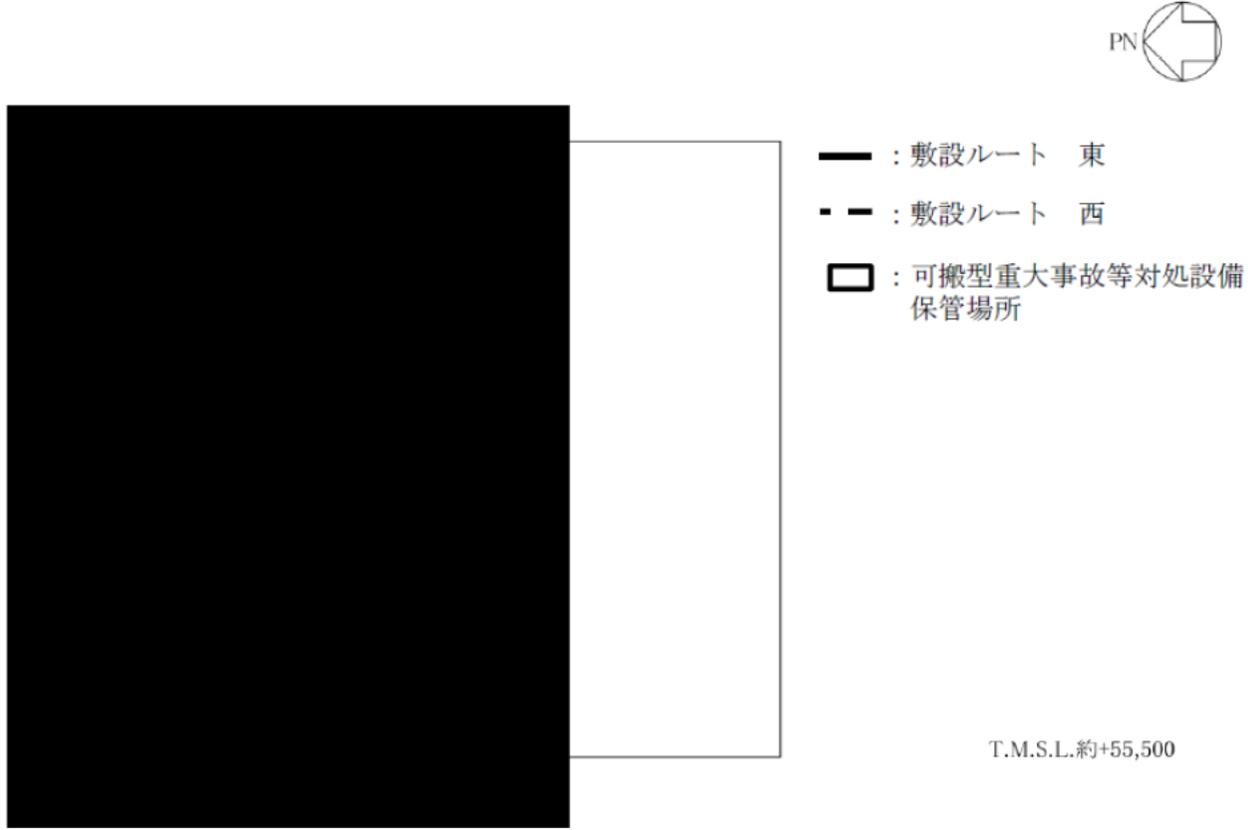
■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第1接続口）（地上2階）

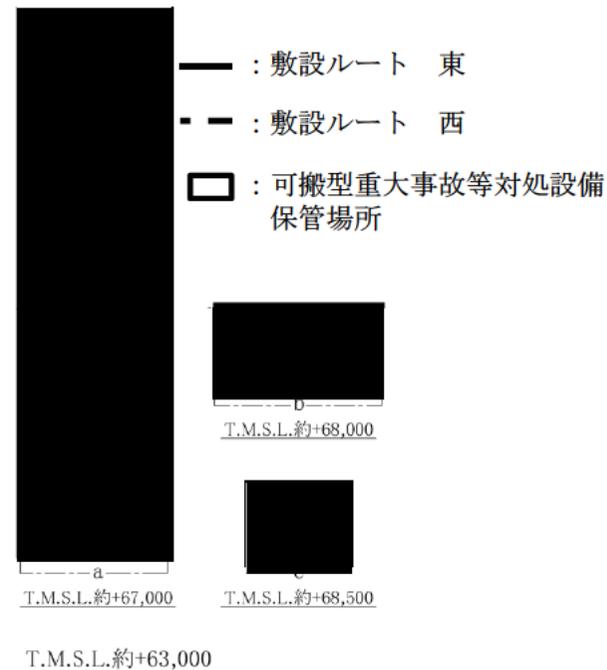
■ については核不拡散の観点から公開できません。



蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート（地上1階） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第2接続口）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第2接続口）（地上2階）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①※1
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

※1 水素爆発の発生防止対策を共用する設備

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート（地上1階） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第3接続口）

■■■■■
については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①※1
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

※1 水素爆発の拡大防止対策を共用する設備

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の建屋内ホース敷設ルート（地上1階） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第4接続口）



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

■
については核不拡散の観点から公開できません。

蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱
硝建屋（A系列）（地上1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（A系列）（地下1階）

■
については核不拡散の観点から公開できません。



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱
硝建屋（B系列）（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象貯槽	接続口
硝酸プルトニウム貯槽	①
混合槽A	
混合槽B	
一時貯槽	



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の建屋内ホース敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（A系列）（地下1階）

■■■■■■■■■■
 については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続箇所
予備凝縮器	①及び②（凝縮液）



蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（凝縮液の回収） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）

については核不拡散の観点から公開できません。

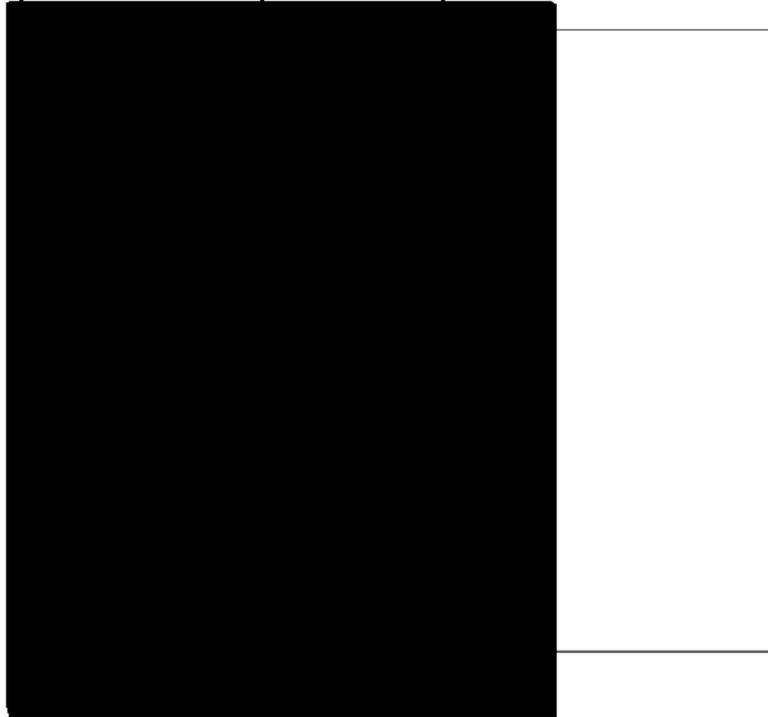


蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（凝縮液回収） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下2階）



については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
凝縮器	①



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第1接続口）（地上1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
凝縮器	①



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第2接続口）（地上1階）



については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続箇所
予備凝縮器	① (廃ガス)



蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（予備凝縮器の接続） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。



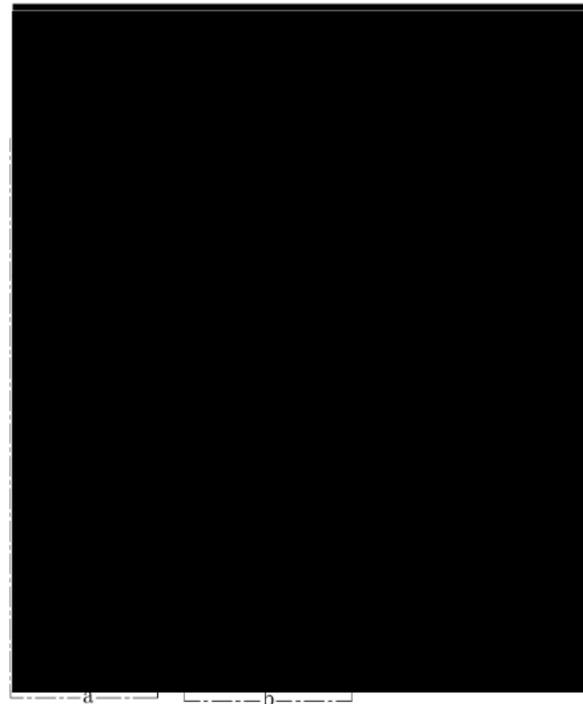
- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

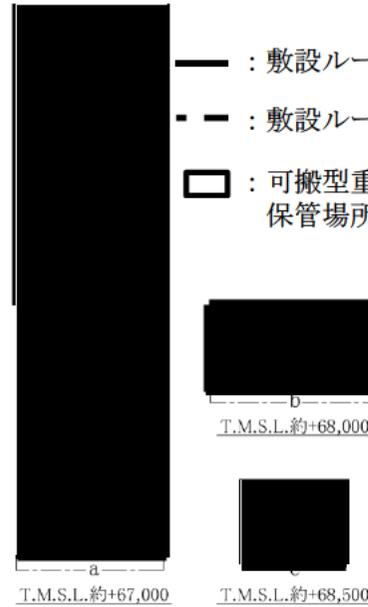
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（予備凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第1接続口）（地上1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
予備凝縮器	①



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



T.M.S.L.約+63,000

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（予備凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第1接続口）（地上2階）

については核不拡散の観点から公開できません。



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

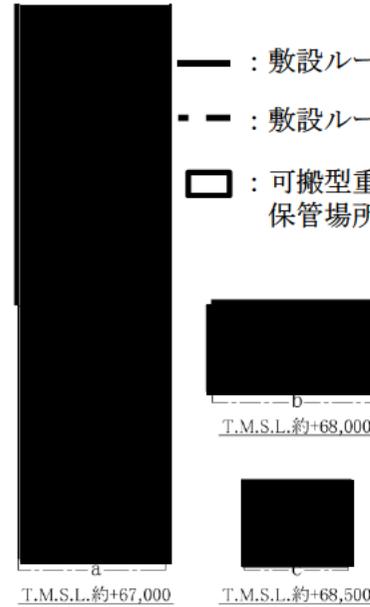
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（予備凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第2接続口）（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
予備凝縮器	①



- : 敷設ルート 東
- - : 敷設ルート 西
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所



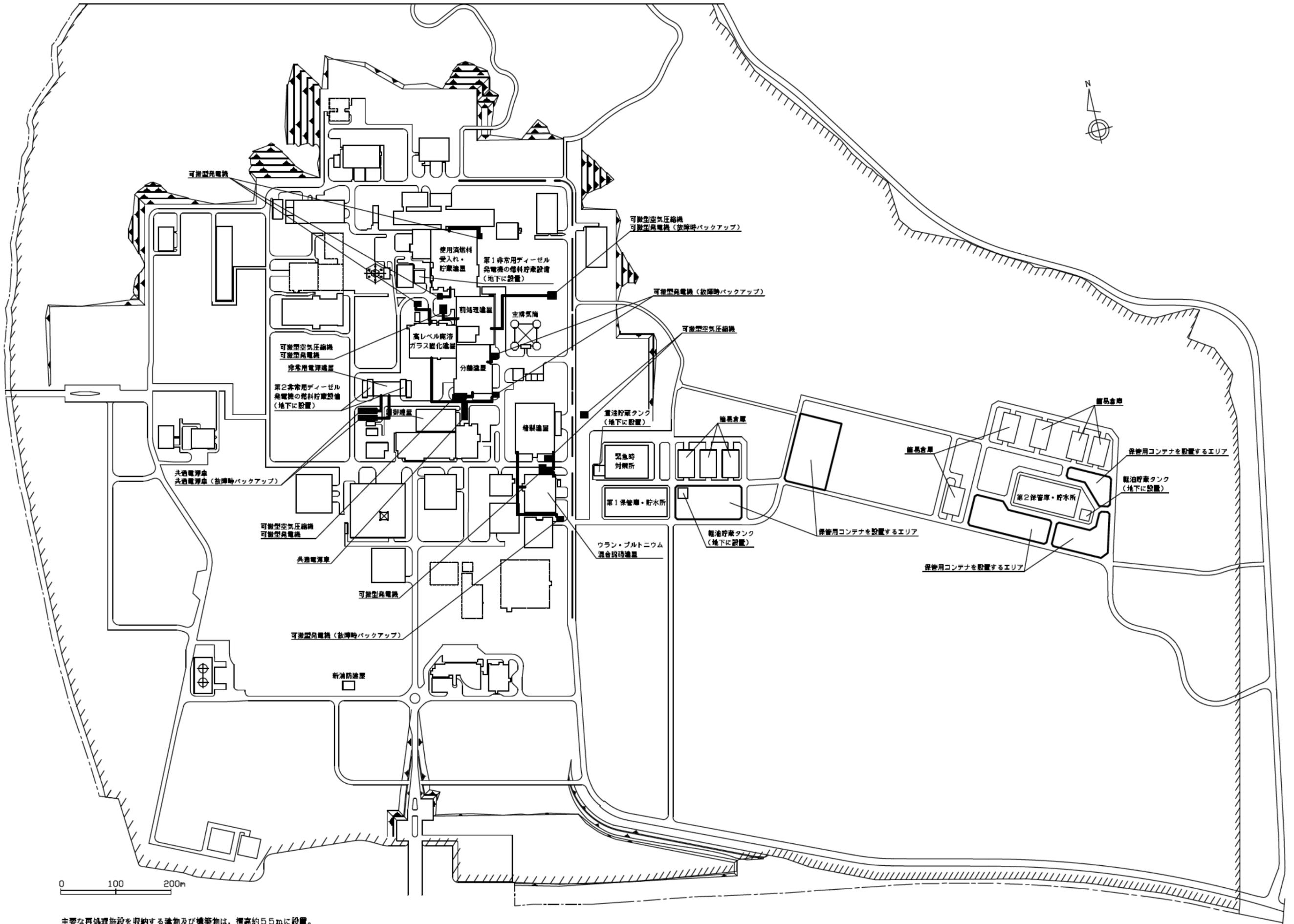
T.M.S.L.約+63,000

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の建屋内ホース敷設ルート（予備凝縮器への通水） ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（第2接続口）（地上2階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。



蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）の可搬型ダクト敷設ルート ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下2階）



主要な再処理施設を収容する建物及び構築物は、標高約55mに設置。

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における可搬型電源ケーブル敷設ルート（屋外）（第1接続口及び第2接続口）



については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
—	①



- : 敷設ルート
- : 可搬型重大事故等対処設備
保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機からの給電に係るウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内可搬型電源ケーブル敷設ルート（第1接続口）（地上1階）

■ については核不拡散の観点から公開できません。

対象機器	接続口
—	①



- : 敷設ルート
- : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

T.M.S.L.約+55,500

蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及びセル排気系を代替する排気系による対応）のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機からの給電に係るウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内可搬型電源ケーブル敷設ルート（第2接続口）（地上1階）

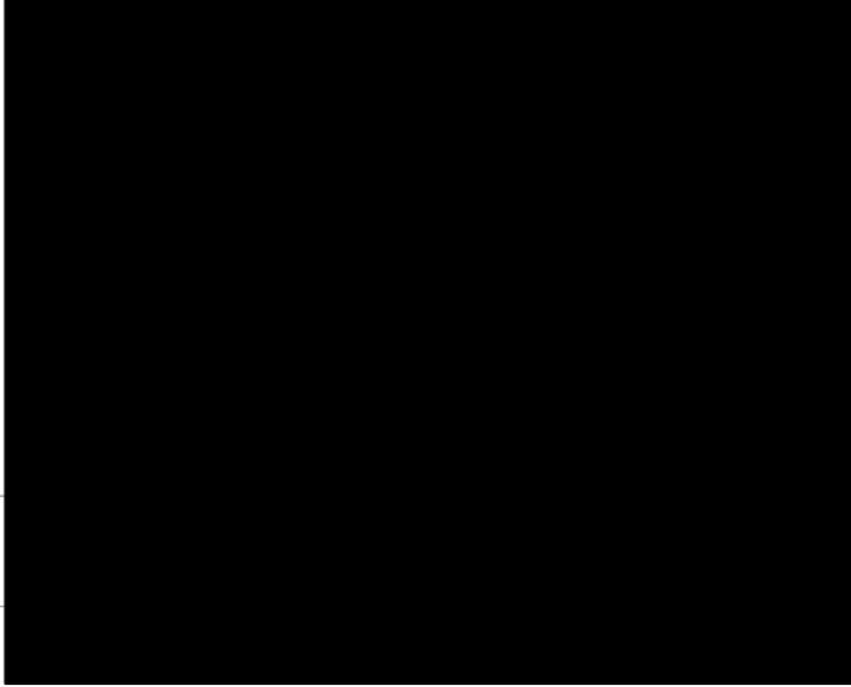
については核不拡散の観点から公開できません。



溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地下2階）

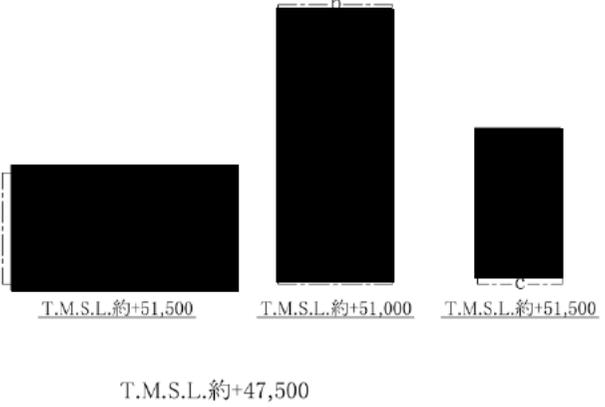


については核不拡散の観点から公開できません。



- : 可搬型重大事故等
対処設備保管場所
- : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m)
- : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m~0.5m)
- : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0.5m~1.5m)
- : 溢水滞留エリア
(溢水高さ1.5m~)
- : 堰
- : 防水区
- : 排水区

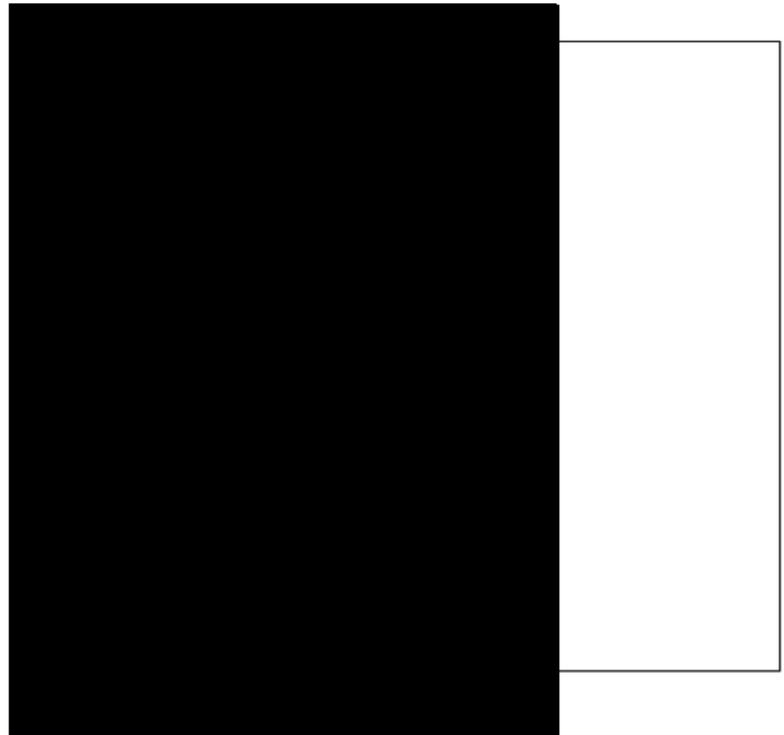
アクセス路の溢水高さは50cm以下である。



溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 (地下1階)



については核不拡散の観点から公開できません。



PN 

	: 可搬型重大事故等 対処設備保管場所		: 堰
	: 溢水滞留エリア (溢水高さ0m)		: 防水扉
	: 溢水滞留エリア (溢水高さ0m~0.5m)		: 排水扉
	: 溢水滞留エリア (溢水高さ0.5m~1.5m)		
	: 溢水滞留エリア (溢水高さ1.5m~)		

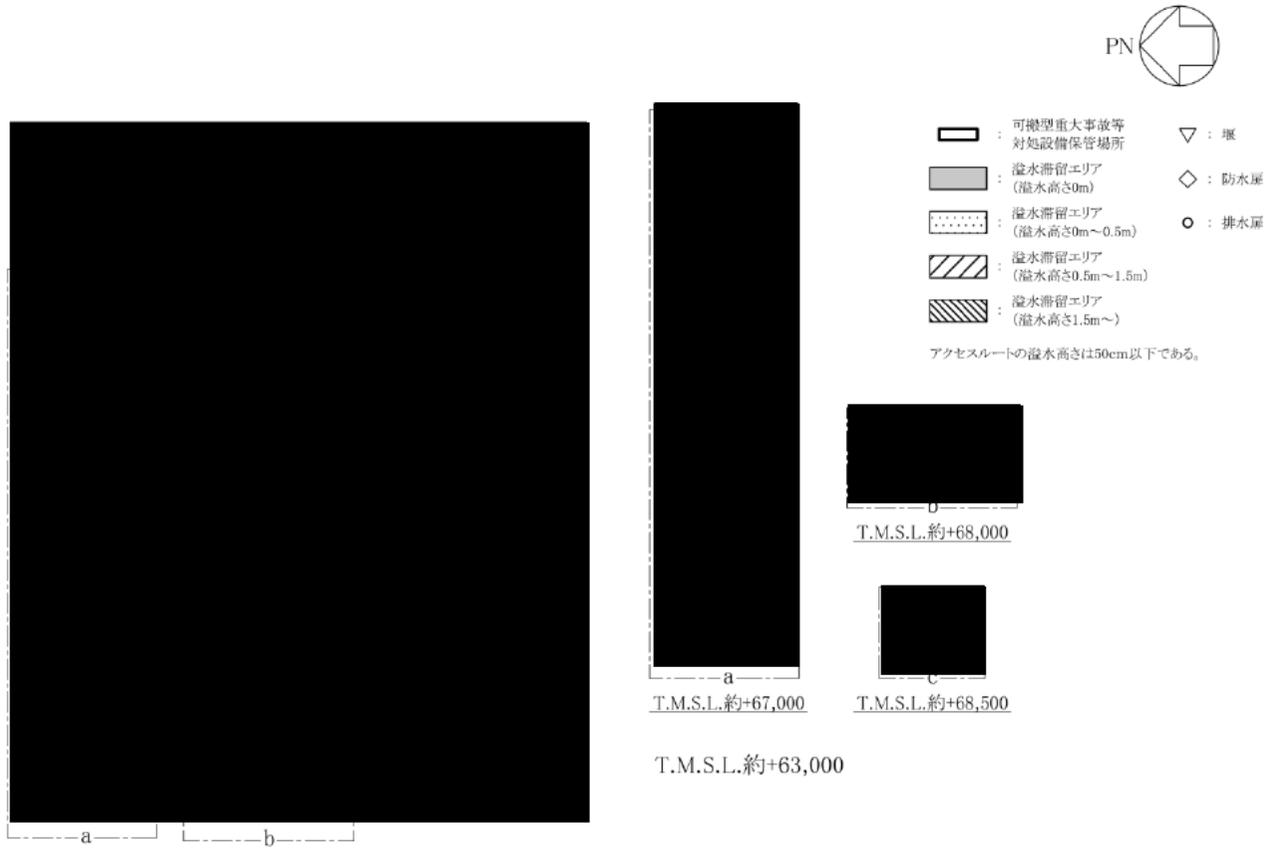
アクセスルートの溢水高さは50cm以下である。

T.M.S.L.約+55,500

溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 (地上1階)



については核不拡散の観点から公開できません。



溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋（地上2階）



については核不拡散の観点から公開できません。



-  : 可搬型重大事故等
対処設備保管場所
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m~0.5m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0.5m~1.5m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ1.5m~)
-  : 堰
-  : 防水扉
-  : 排水扉

アクセスルートの溢水高さは50cm以下である。



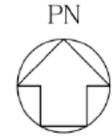
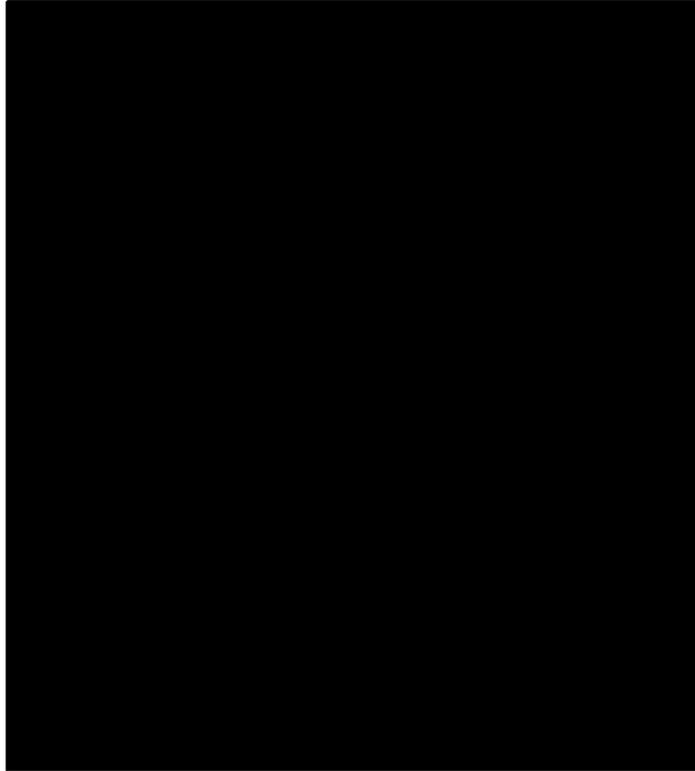
T.M.S.L.約+49,500

T.M.S.L.約+47,000

溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地下2階）



については核不拡散の観点から公開できません。



-  : 可搬型重大事故等
対処設備保管場所
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m~0.5m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0.5m~1.5m)
-  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ1.5m~)
-  : 堰
-  : 防水扉
-  : 排水扉

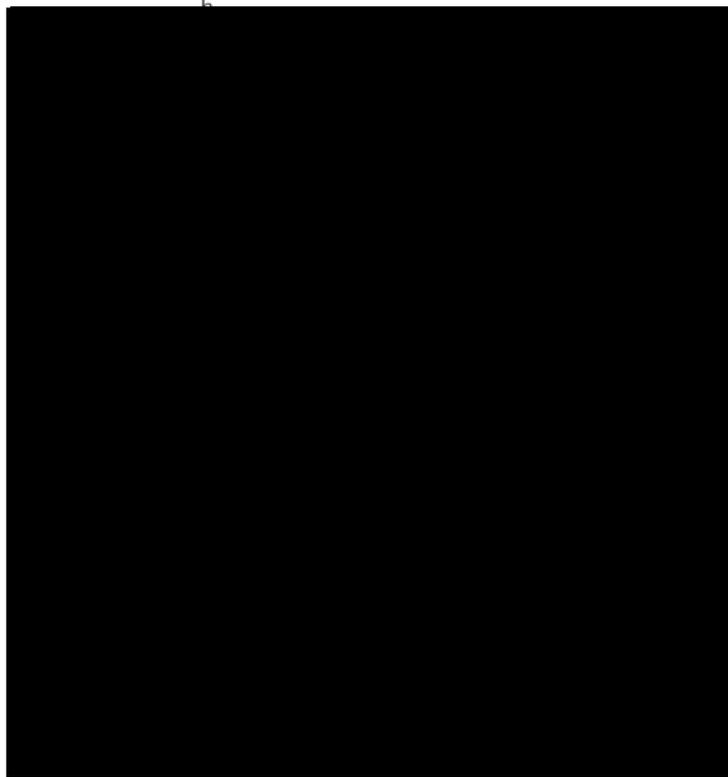
アクセスルートの溢水高さは50cm以下である。

T.M.S.L.約+50,500

溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地下1階）



については核不拡散の観点から公開できません。

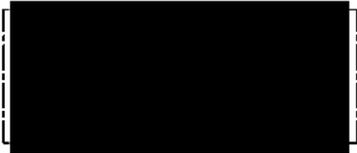


-  : 可搬型重大事故等
対処設備保管場所
 -  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m)
 -  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0m~0.5m)
 -  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ0.5m~1.5m)
 -  : 溢水滞留エリア
(溢水高さ1.5m~)
 -  : 堰
 -  : 防水扉
 -  : 排水扉
- アクセスルートの溢水高さは
50cm以下である。

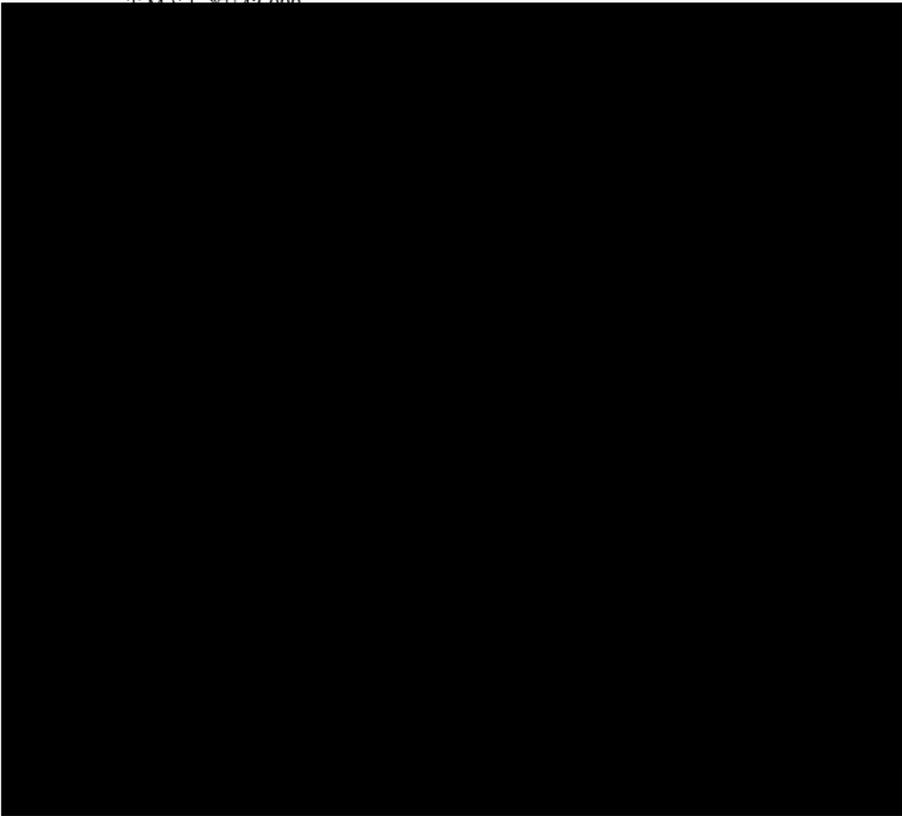


溢水ハザードマップ ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋（地上1階）

については核不拡散の観点から公開できません。



T.M.S.L. 約+43,000



 : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

 : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸

アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

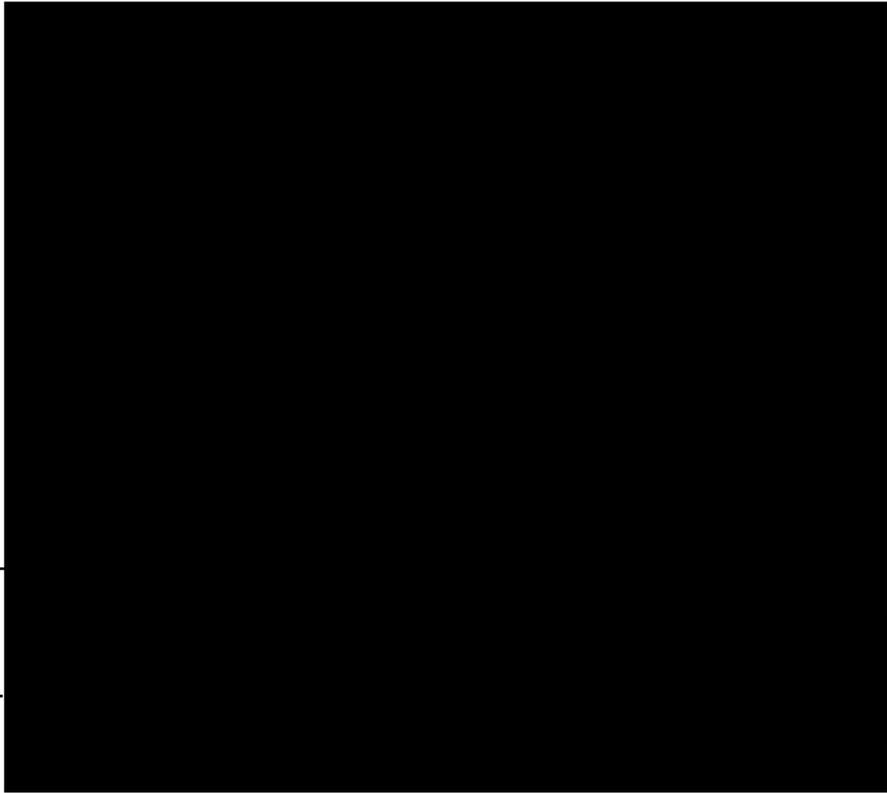


T.M.S.L. 約+43,000

T.M.S.L. 約+40,000



については核不拡散の観点から公開できません。

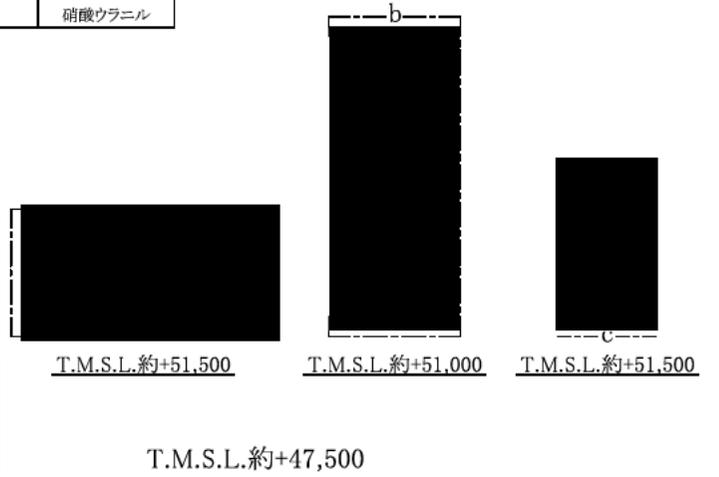


 : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

 : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸
②	硝酸 硝酸ウラン
③	硝酸 硝酸プルトニウム 硝酸ウラン

アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。



については核不拡散の観点から公開できません。



 : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

 : 常時化学薬品を内包する機器
及び配管が存在する部屋

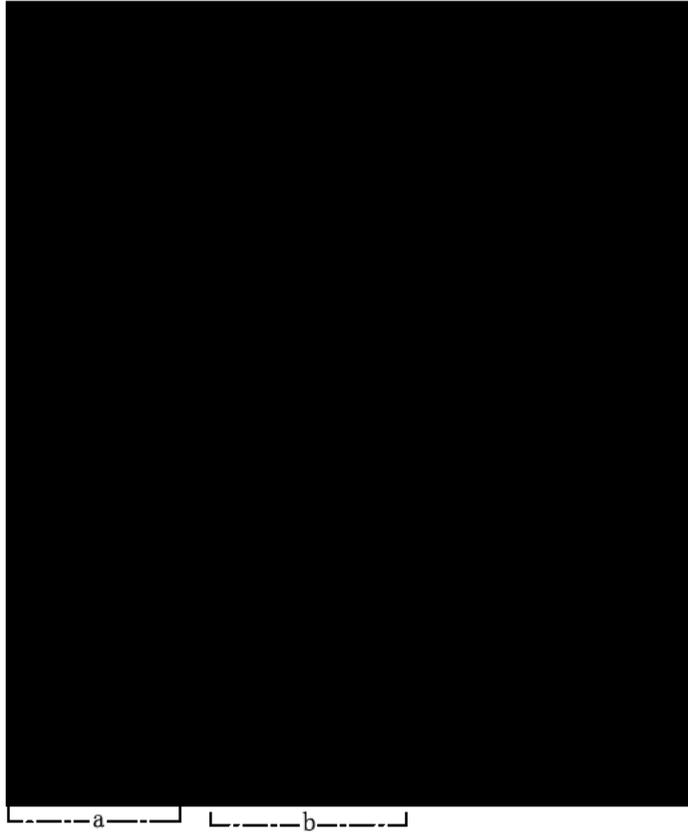
番号	化学薬品の種類
①	硝酸
②	硝酸ウラン 硝酸プルトニウム

アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。

T.M.S.L.約+55,500



については核不拡散の観点から公開できません。



 : 可搬型重大事故等対処設備保管場所

 : 常時化学薬品を内包する機器及び配管が存在する部屋

番号	化学薬品の種類
①	硝酸

アクセスルート上にある化学薬品漏えい源は、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する。



T.M.S.L.約+68,000



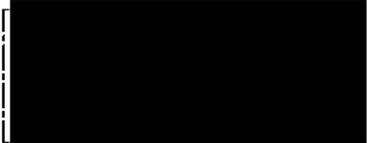
T.M.S.L.約+68,500



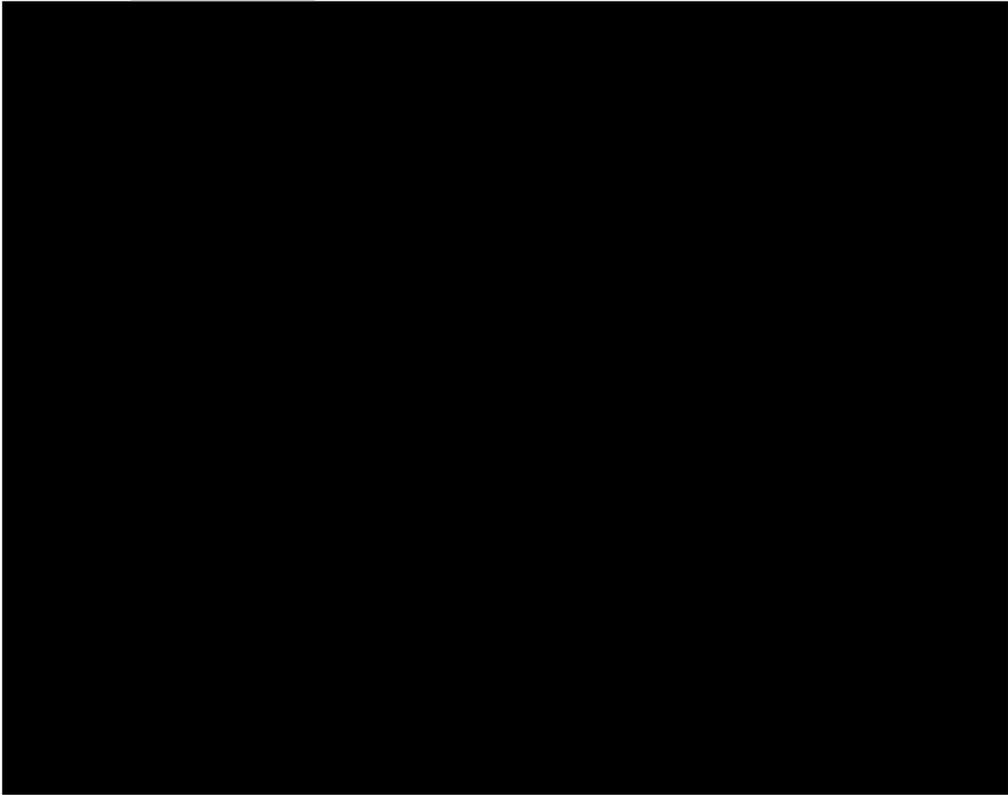
T.M.S.L.約+67,000

T.M.S.L.約+63,000

については核不拡散の観点から公開できません。



T.M.S.L.約+43,000



-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源

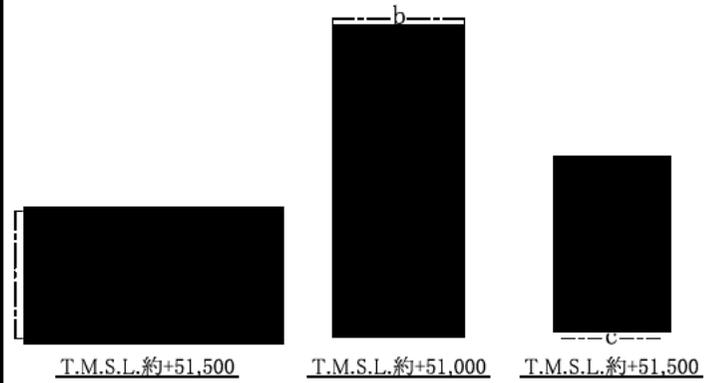


T.M.S.L.約+43,000

T.M.S.L.約+40,000



-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源



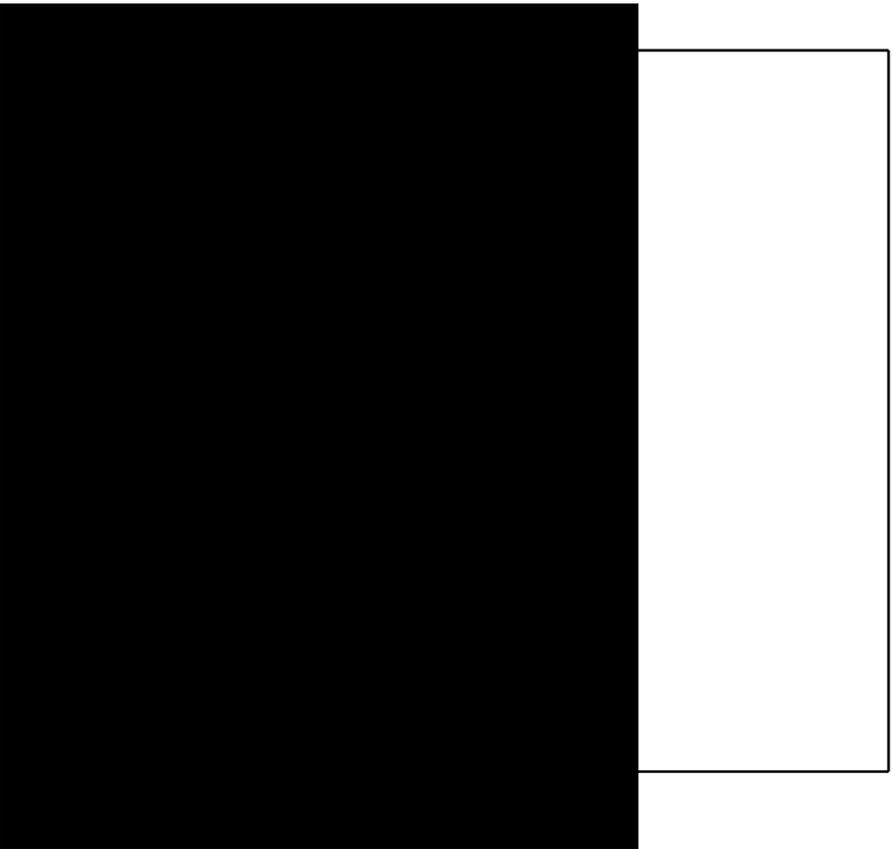
T.M.S.L.約+47,500

については核不拡散の観点から公開できません。



-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源

T.M.S.L.約+55,500



については核不拡散の観点から公開できません。

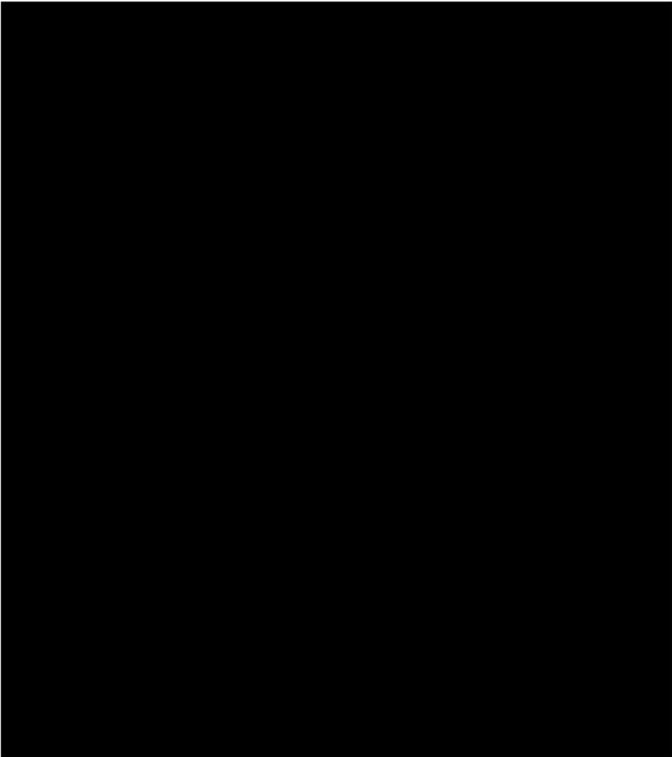


-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源



T.M.S.L.約+49,500

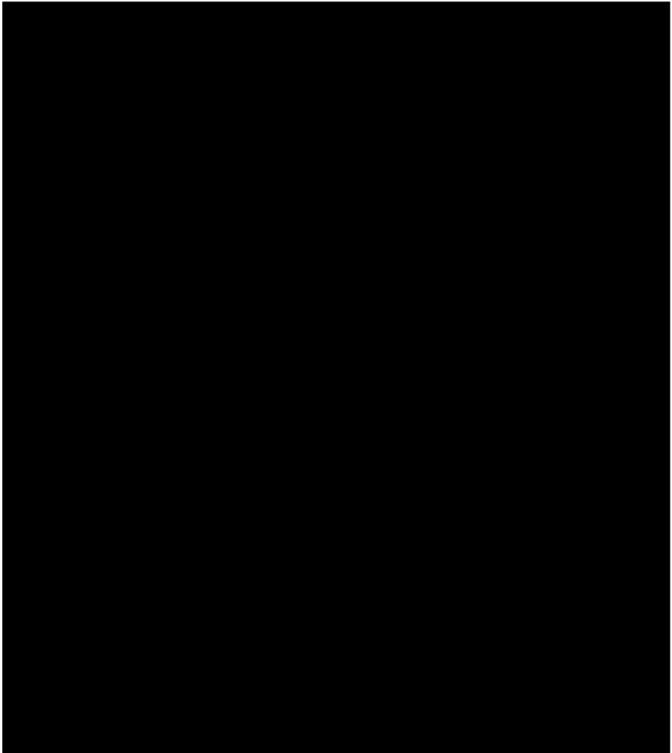
T.M.S.L.約+47,000



については核不拡散の観点から公開できません。



-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源

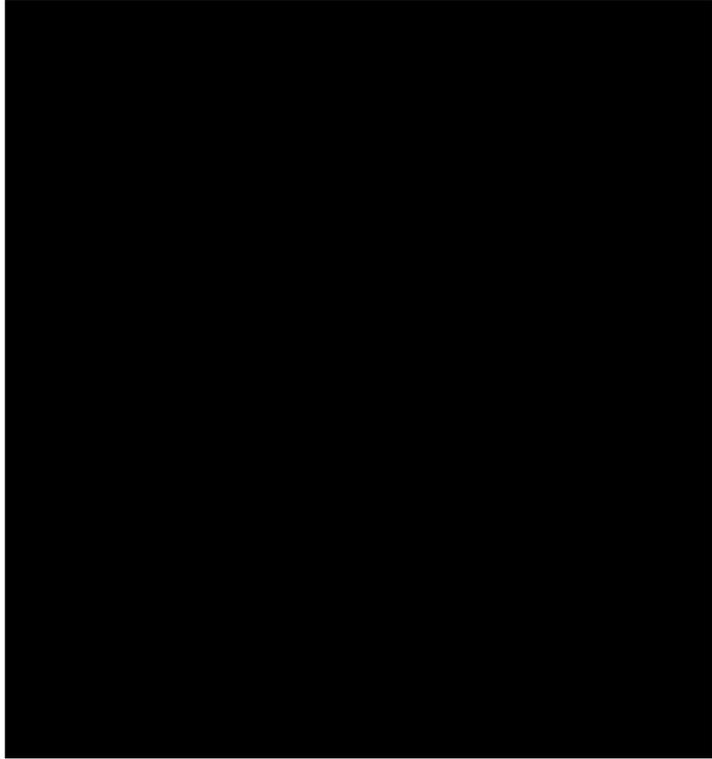


については核不拡散の観点から公開できません。

T.M.S.L.約+50,500



については核不拡散の観点から公開できません。



-  : 可搬型重大事故等対処設備保管場所
-  : 火災源(可動域)
-  : 火災源



T.M.S.L.約+60,000

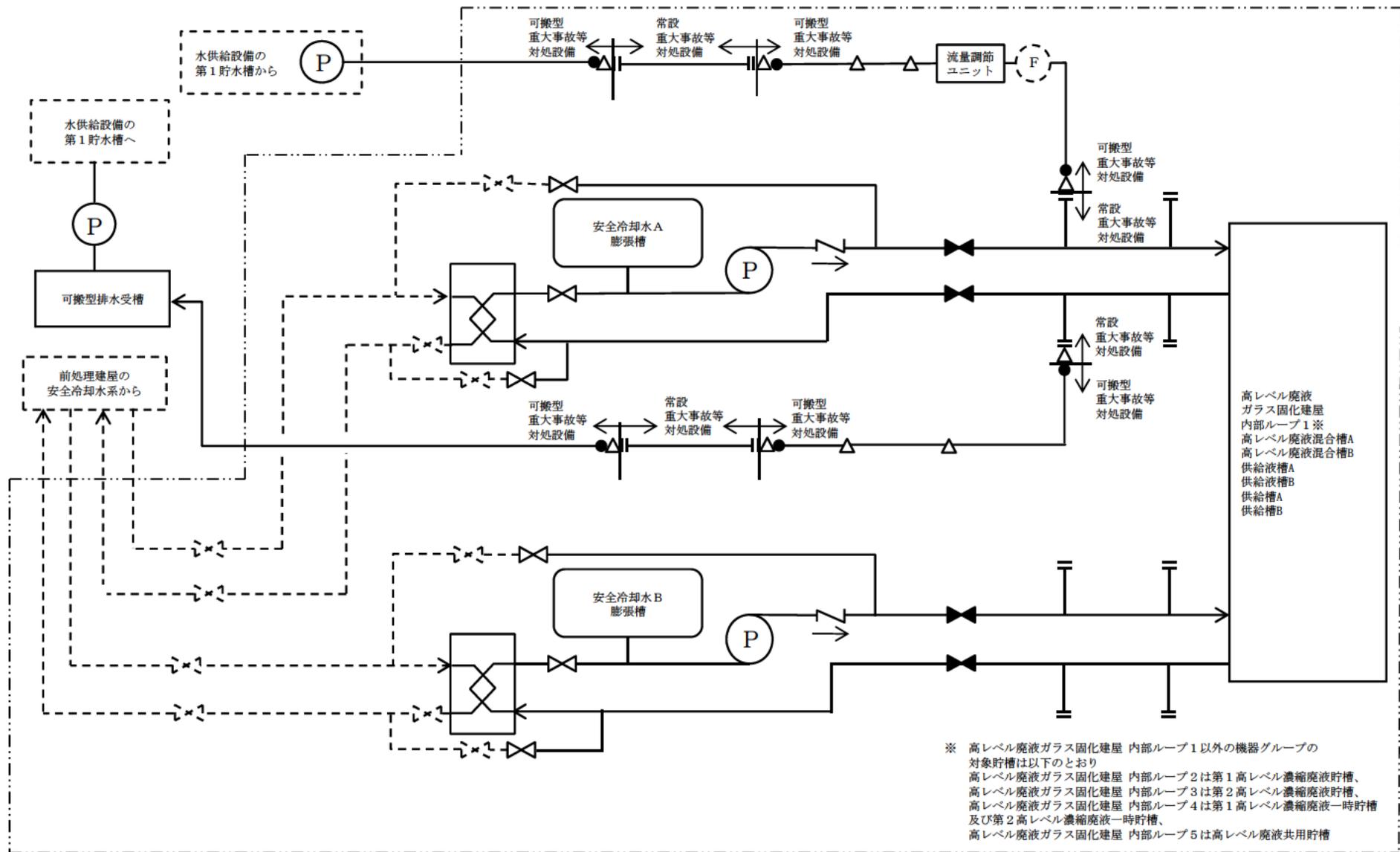


T.M.S.L.約+60,000



T.M.S.L.約+63,500

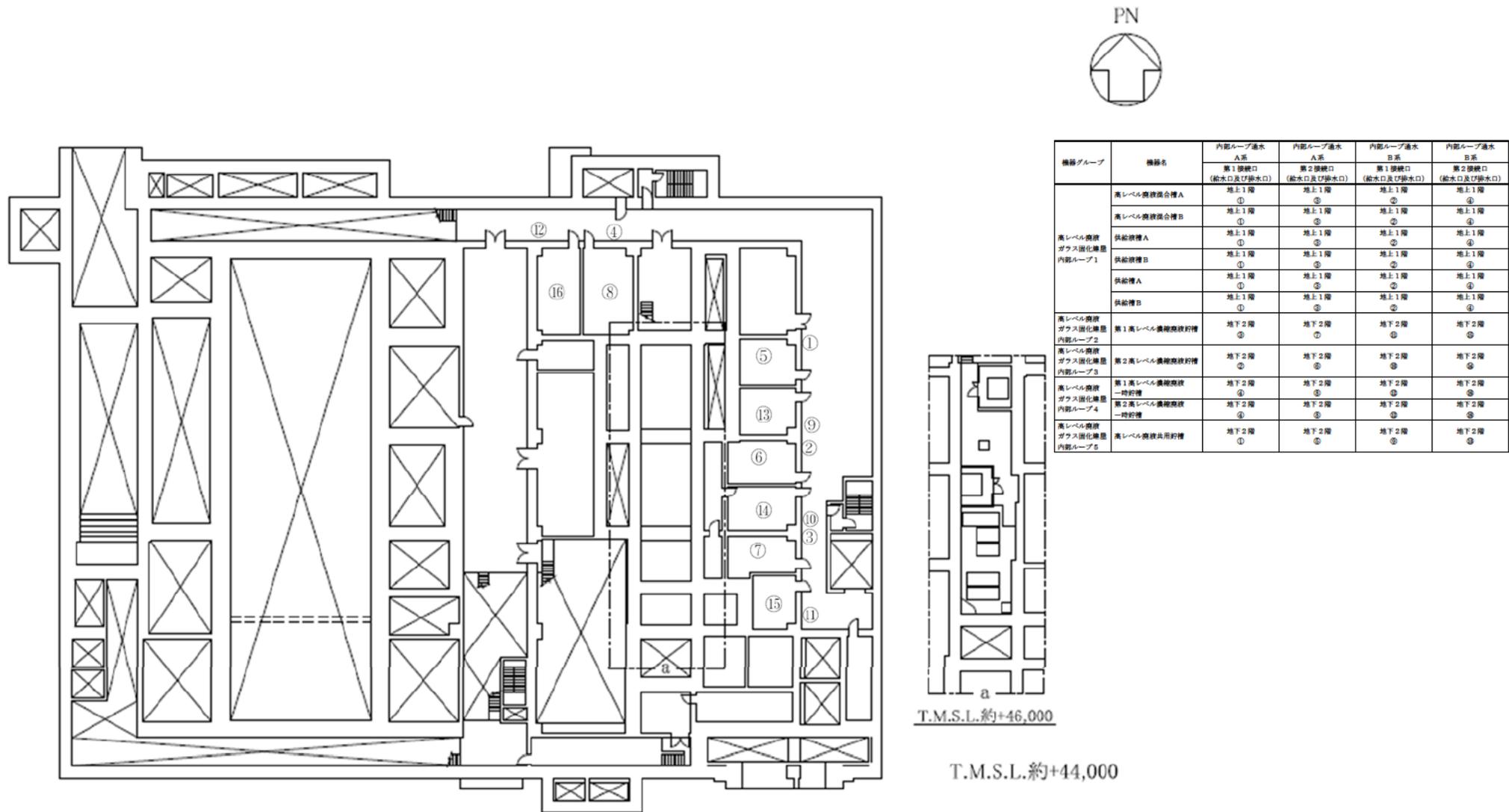
T.M.S.L.約+55,500



(建屋境界)

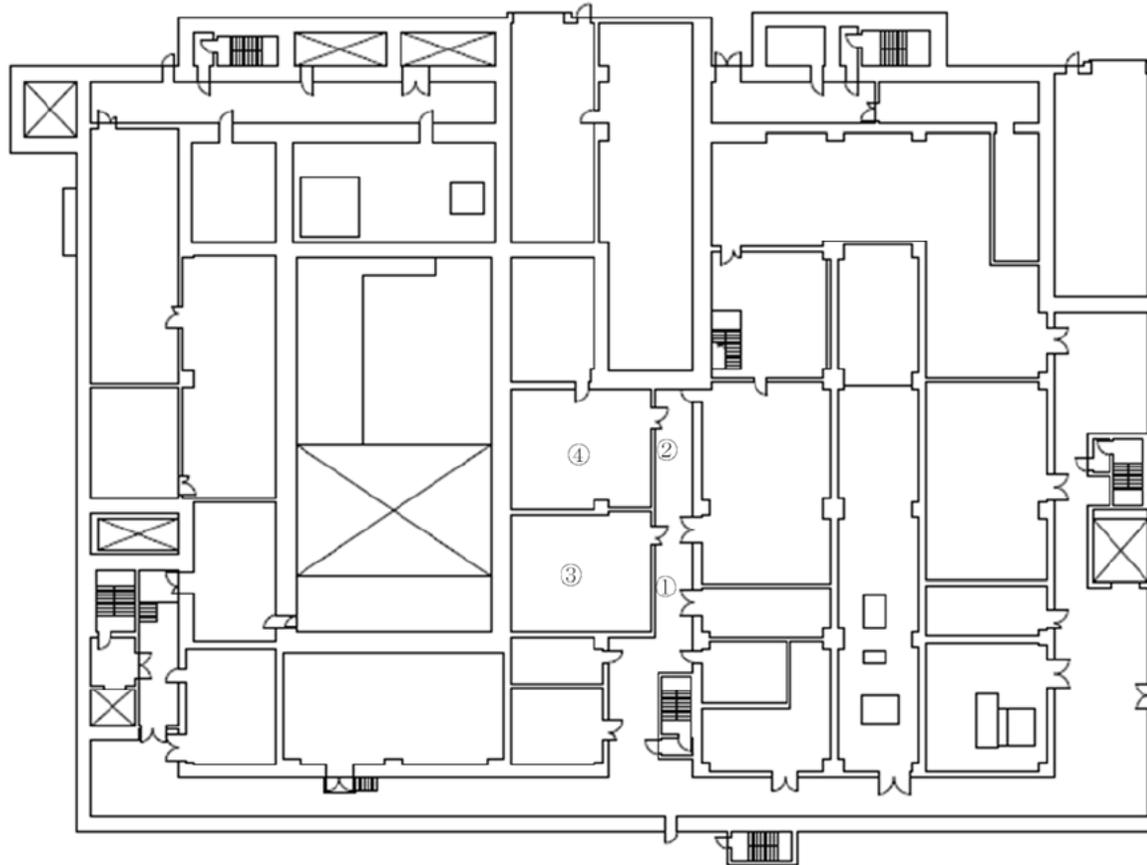
本図は、高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ1の2系統のうちの第1接続口の接続例である。高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ1の他の1系統の第2接続口及び高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ2～5※の接続口に接続した場合も同様の系統である。ただし、接続金具等の個数及び位置は、ホース敷設ルートごとに異なる。

蒸発乾固の発生防止対策（内部ループへの通水による冷却）の系統概要図
高レベル廃液ガラス固化建屋



機器グループ	機器名	内部ループ通水	内部ループ通水	内部ループ通水	内部ループ通水
		A系 第1接続口 (給水口及び排水口)	A系 第2接続口 (給水口及び排水口)	B系 第1接続口 (給水口及び排水口)	B系 第2接続口 (給水口及び排水口)
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
	第2高レベル濃縮廃液貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル廃液共用貯槽	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ③	地下2階 ④

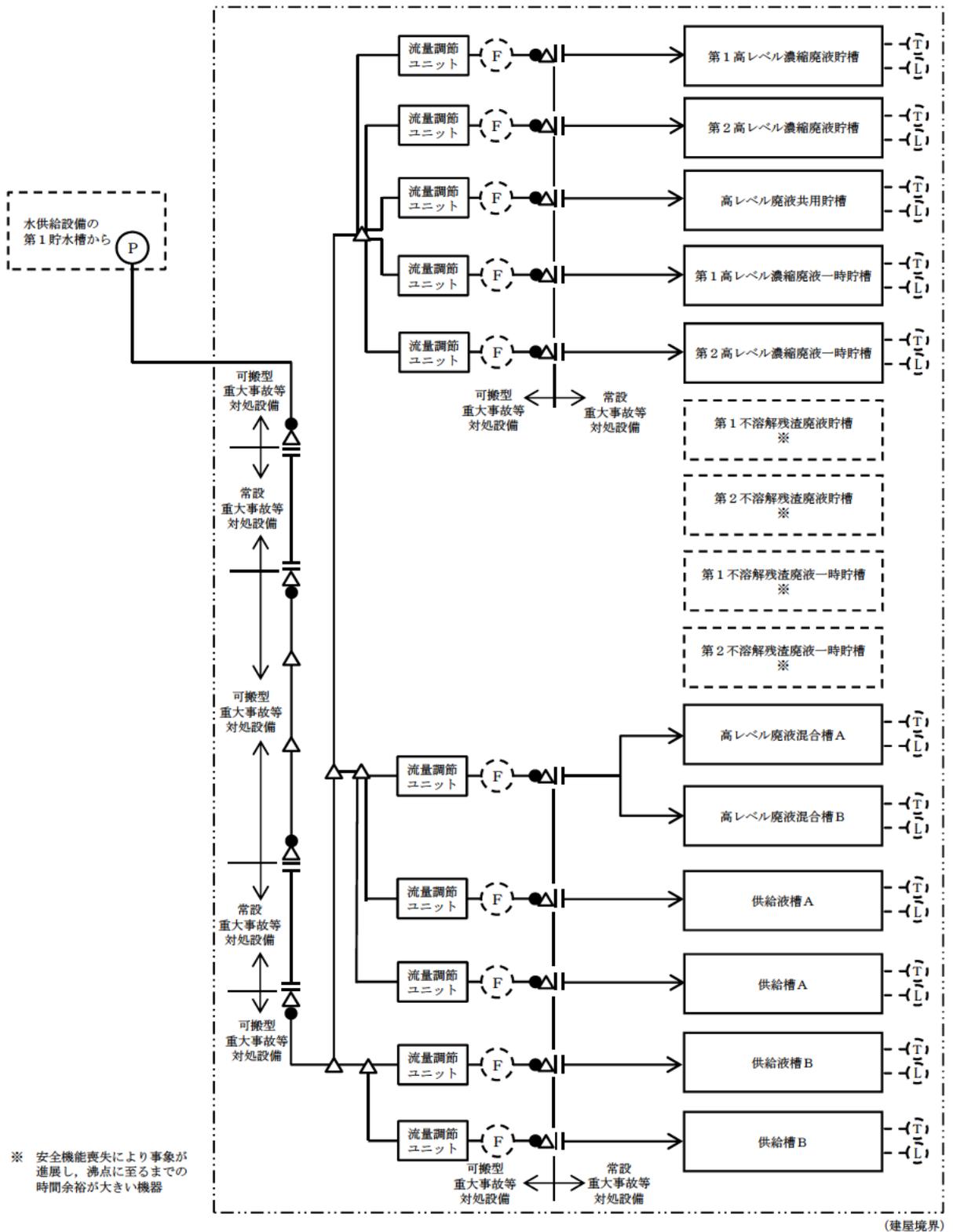
代替安全冷却水系（内部ループへの通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下2階）



機器グループ	機器名	内部ループ通水 A系	内部ループ通水 A系	内部ループ通水 B系	内部ループ通水 B系
		第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)	第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽A	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
	供給槽B	地上1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル濃縮機貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
	第2高レベル濃縮機貯槽	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第1高レベル濃縮機貯槽 一時貯槽	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
	第2高レベル濃縮機貯槽 一時貯槽	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル濃縮機貯槽 一時貯槽	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
	第2高レベル濃縮機貯槽 一時貯槽	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル廃液共用貯槽	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ③	地下2階 ④
		地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ③	地下2階 ④

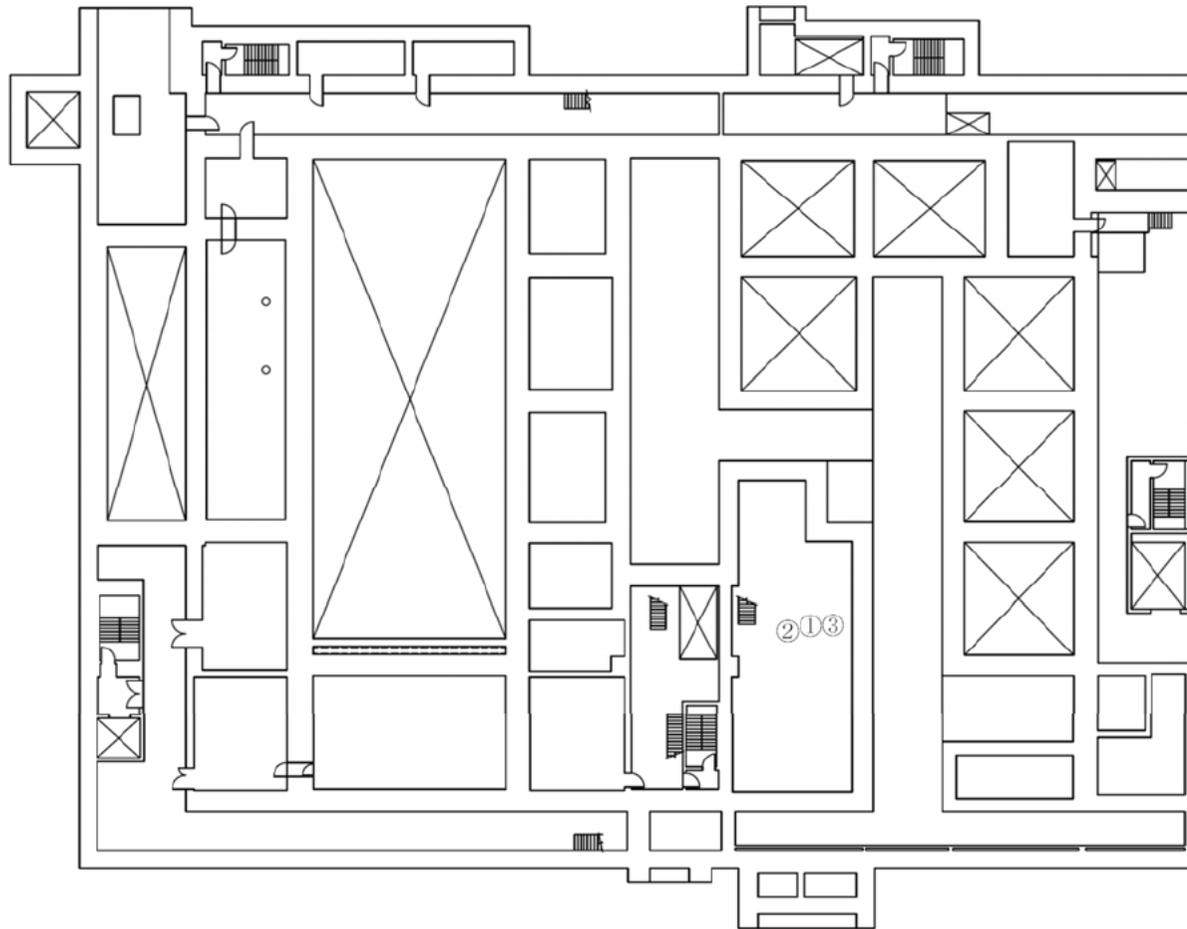
T.M.S.L.約+55,500

代替安全冷却水系（内部ループへの通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地上1階）



本図は、第1接続口に接続した場合の例である。接続口ごとに機器注水配管が異なるため、第2接続口から第6接続口に接続する場合は系統構成が異なる。また接続金具等の個数及び位置についても、ホース敷設ルートごとに異なる。

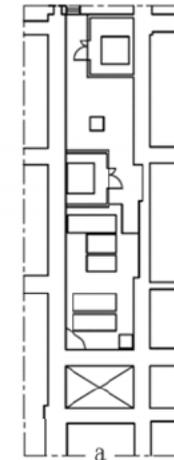
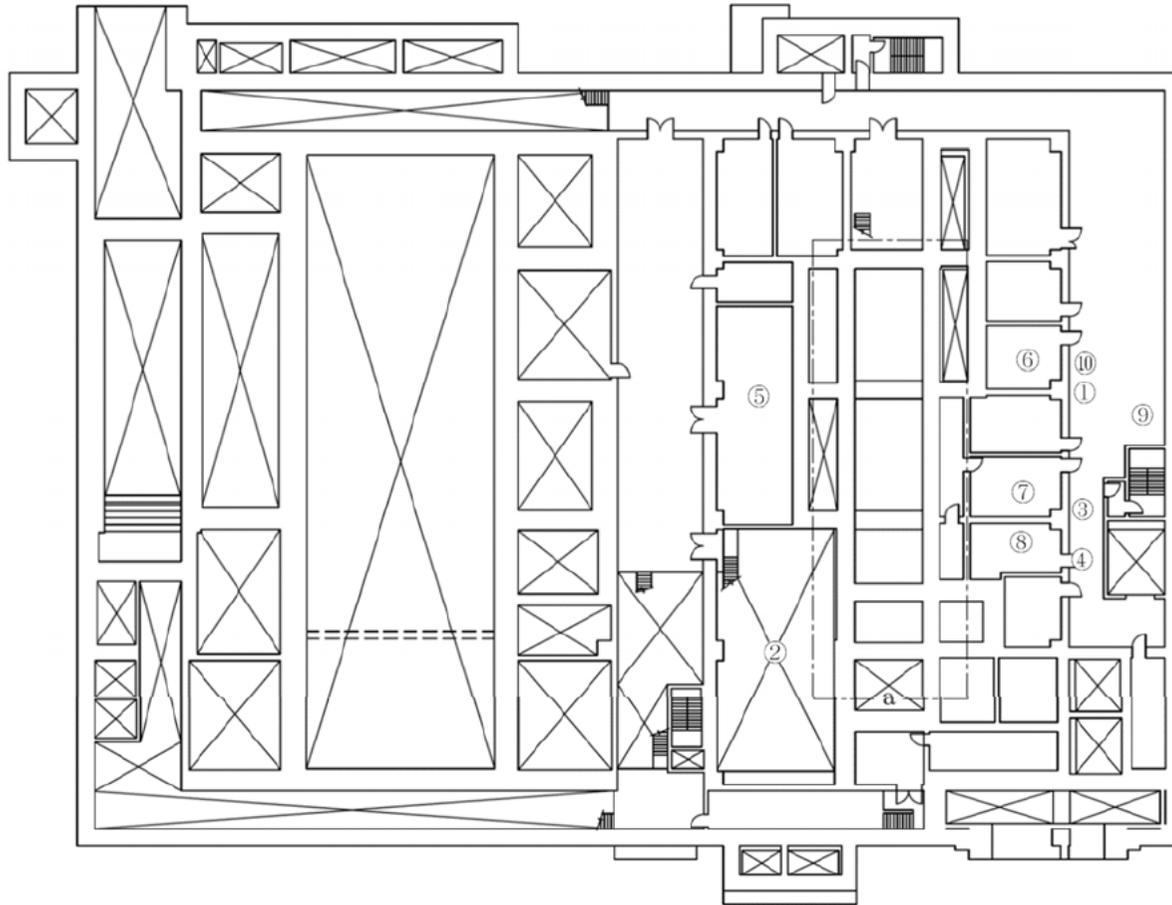
蒸発乾固の拡大防止対策（貯槽等への注水）の系統概要図 高レベル廃液ガラス固化建屋



機器グループ	機器名	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	貯槽等注水	
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口	第5接続口	第6接続口	
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ②	—	
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ②	—	
	供給液槽A	地上1階 ①	地下1階 ①	地上1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ②	地上1階 ②	
	供給液槽B	地上1階 ①	地下1階 ①	地上1階 ②	地下1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ②	
	供給槽A	地上1階 ②	地下1階 ①	地上1階 ②	地下1階 ②	地下1階 ②	—	
	供給槽B	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ②	地下1階 ②	地下1階 ②	—	
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑥
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第2高レベル濃縮廃液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル濃縮廃液 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ②	地下1階 ④	地下2階 ⑤	—	—	
	第2高レベル濃縮廃液 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ①	地下1階 ④	地下2階 ⑤	—	—	
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル廃液共用貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ⑧	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑥	

T.M.S.L.約+41,000

代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下3階）

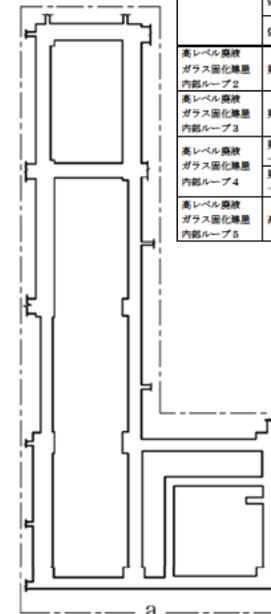
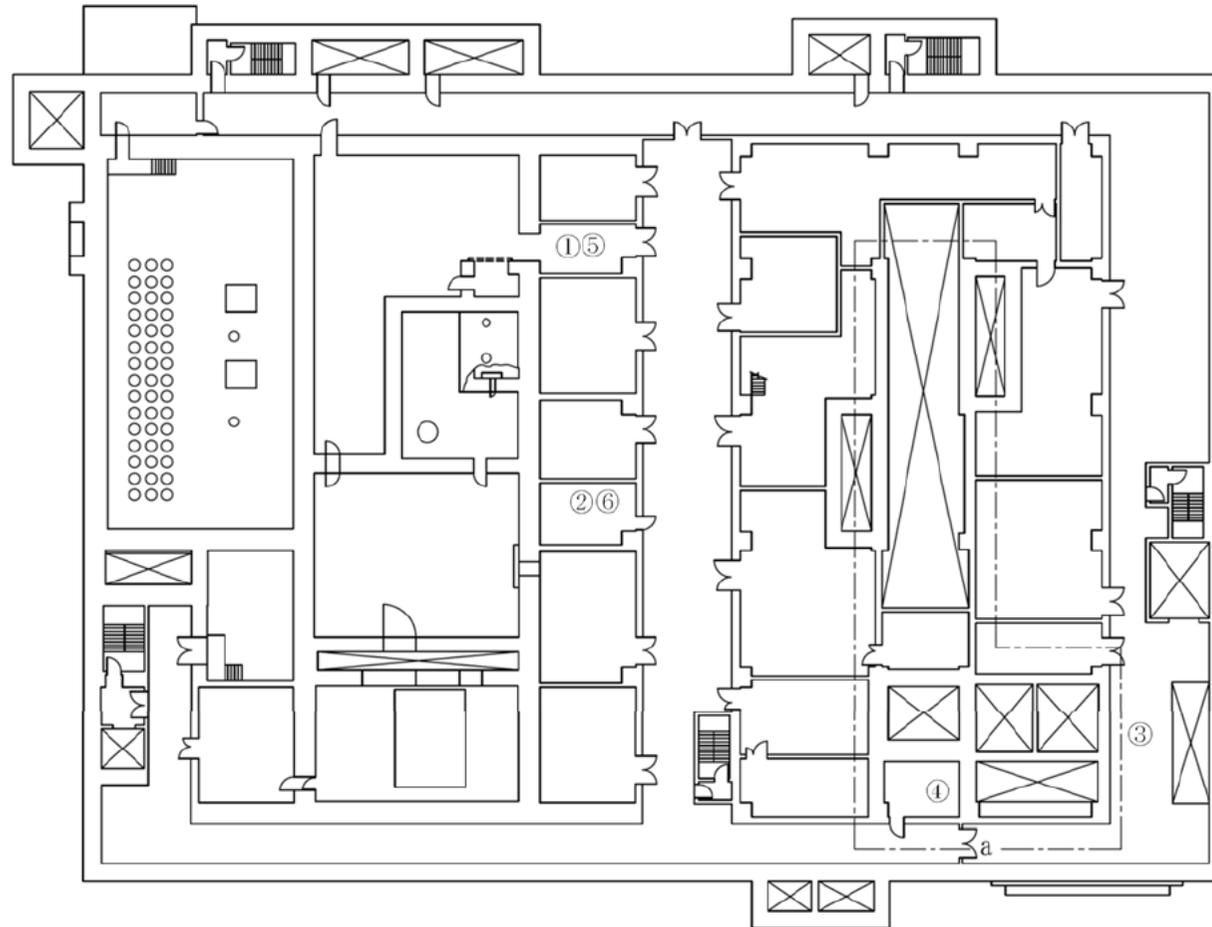


T.M.S.L.約+46,000

T.M.S.L.約+44,000

機器グループ	機器名	貯槽等注水					
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口	第5接続口	第6接続口
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ③	-
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ③	-
	供給槽A	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④	地下1階 ⑤	地上1階 ⑥
	供給槽B	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④	地下1階 ⑤	地上1階 ⑥
	供給槽A	地上1階 ②	地下1階 ①	地上1階 ③	地上1階 ④	地下1階 ⑤	-
	供給槽B	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ④	地下1階 ⑤	-
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル濃縮液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第2高レベル濃縮液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル濃縮液貯槽 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ②	地下1階 ④	地下2階 ⑤	-	-
	第2高レベル濃縮液貯槽 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ②	地下1階 ④	地下2階 ⑤	-	-
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル濃縮液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦

代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下2階）

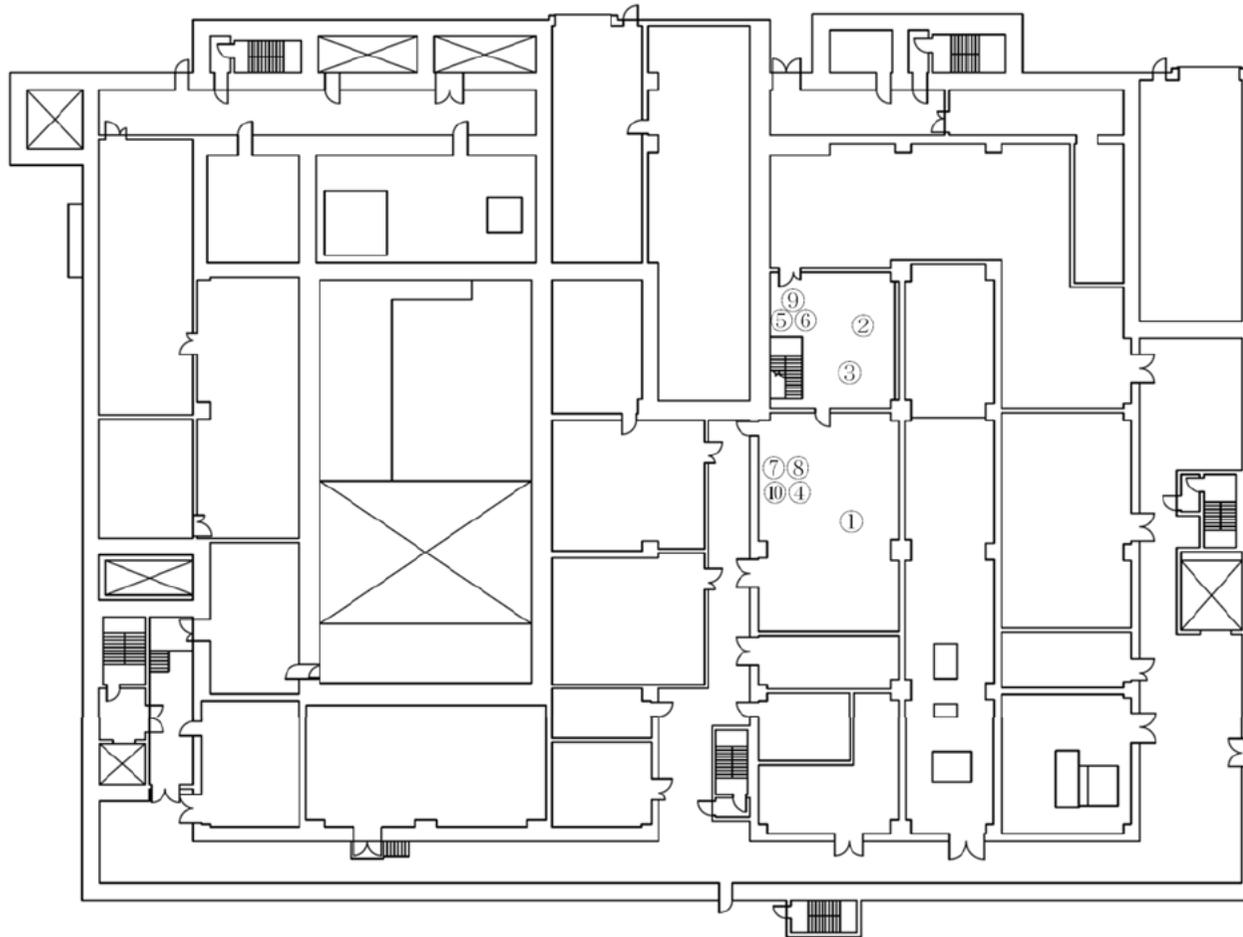


T.M.S.L.約+53,500

T.M.S.L.約+49,000

機器グループ	機器名	貯槽等注水		貯槽等注水		貯槽等注水		貯槽等注水	
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口	第5接続口	第6接続口		
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ③	地下3階 ③	地下3階 ④	地下3階 ④
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ③	地下3階 ③	地下3階 ④	地下3階 ④
	供給液槽A	地上1階 ①	地下1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ⑤	地下1階 ⑤	地下1階 ⑥	地上1階 ⑥	地上1階 ⑦
	供給液槽B	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ④	地上1階 ⑦	地下1階 ⑦	地下1階 ⑧	地上1階 ⑧	地上1階 ⑨
	供給槽A	地上1階 ②	地下1階 ①	地上1階 ③	地上1階 ⑥	地下1階 ⑥	地下1階 ⑦	地上1階 ⑦	地上1階 ⑧
	供給槽B	地上1階 ①	地下1階 ②	地上1階 ④	地上1階 ⑤	地下1階 ⑤	地下1階 ⑥	地上1階 ⑥	地上1階 ⑦
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル廃液供給貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第2高レベル廃液供給貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル廃液供給一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ②	地下1階 ④	地下2階 ⑤	—	—	—	—
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	第2高レベル廃液供給一時貯槽	地上1階 ①	地下2階 ②	地下1階 ④	地下2階 ⑤	—	—	—	—
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル廃液共用貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ④	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥	地下2階 ⑦	地下2階 ⑧	地下2階 ⑨

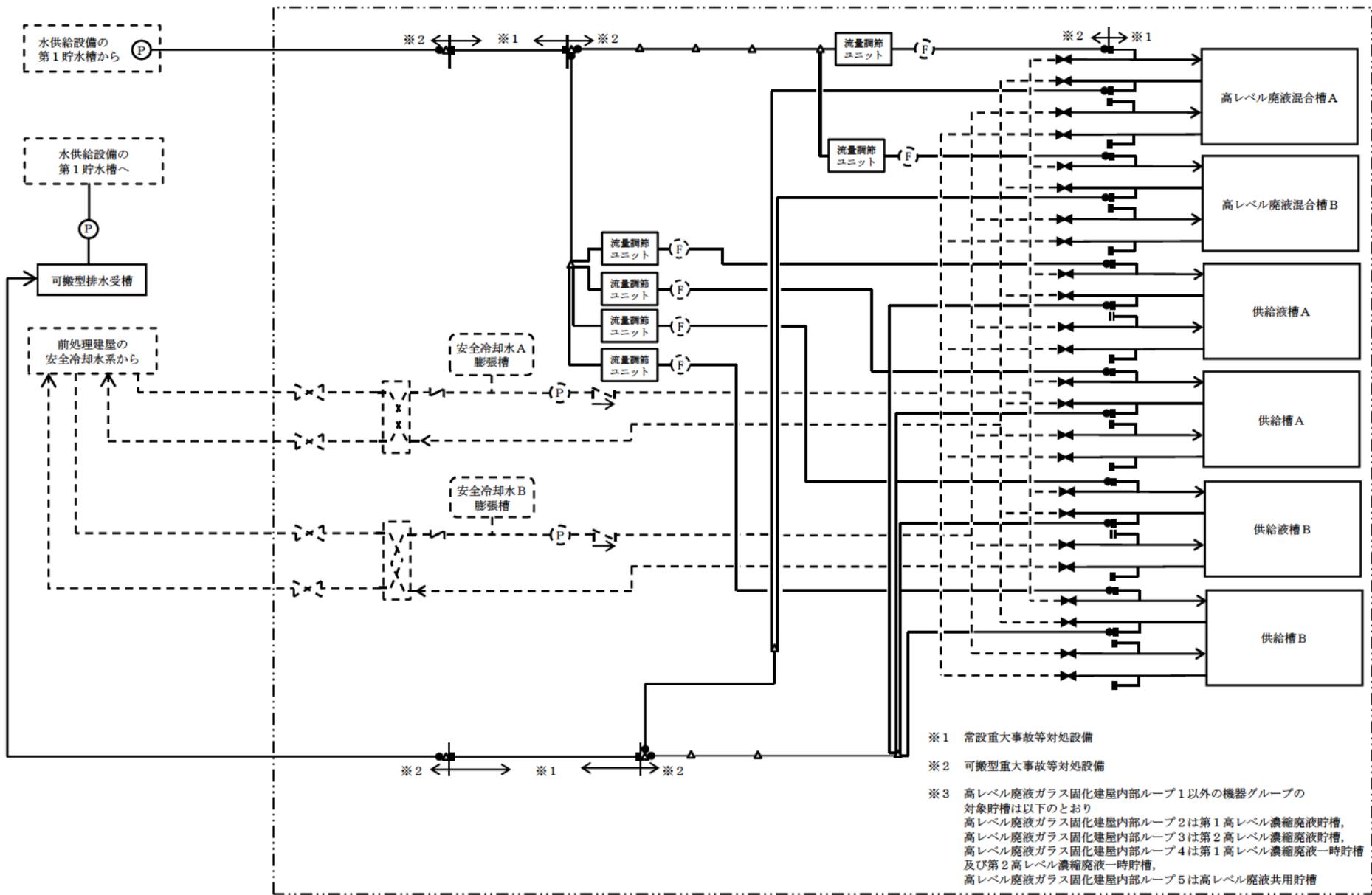
代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下1階）



機器グループ	機器名	貯槽等注水					
		第1接続口	第2接続口	第3接続口	第4接続口	第5接続口	第6接続口
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ1	高レベル廃液混合槽A	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ②	-
	高レベル廃液混合槽B	地上1階 ①	地下3階 ①	地下2階 ②	地下3階 ②	地下3階 ②	-
	供給槽A	地上1階 ①	地下1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ③
	供給槽B	地上1階 ①	地下1階 ①	地上1階 ②	地上1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ③
	供給槽A	地上1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ③	地下1階 ③	-
	供給槽B	地上1階 ②	地下1階 ②	地上1階 ③	地上1階 ③	地下1階 ③	-
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ2	第1高レベル濃縮液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ③
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ3	第2高レベル濃縮液貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ③
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ4	第1高レベル濃縮液 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ①	地下1階 ②	地下2階 ②	-	-
	第2高レベル濃縮液 一時貯槽	地上1階 ①	地下1階 ①	地下1階 ②	地下2階 ②	-	-
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ5	高レベル廃液共用貯槽	地上1階 ①	地下2階 ①	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ②	地下2階 ③

T.M.S.L.約+55,500

代替安全冷却水系（貯槽等への注水）の注水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地上1階）

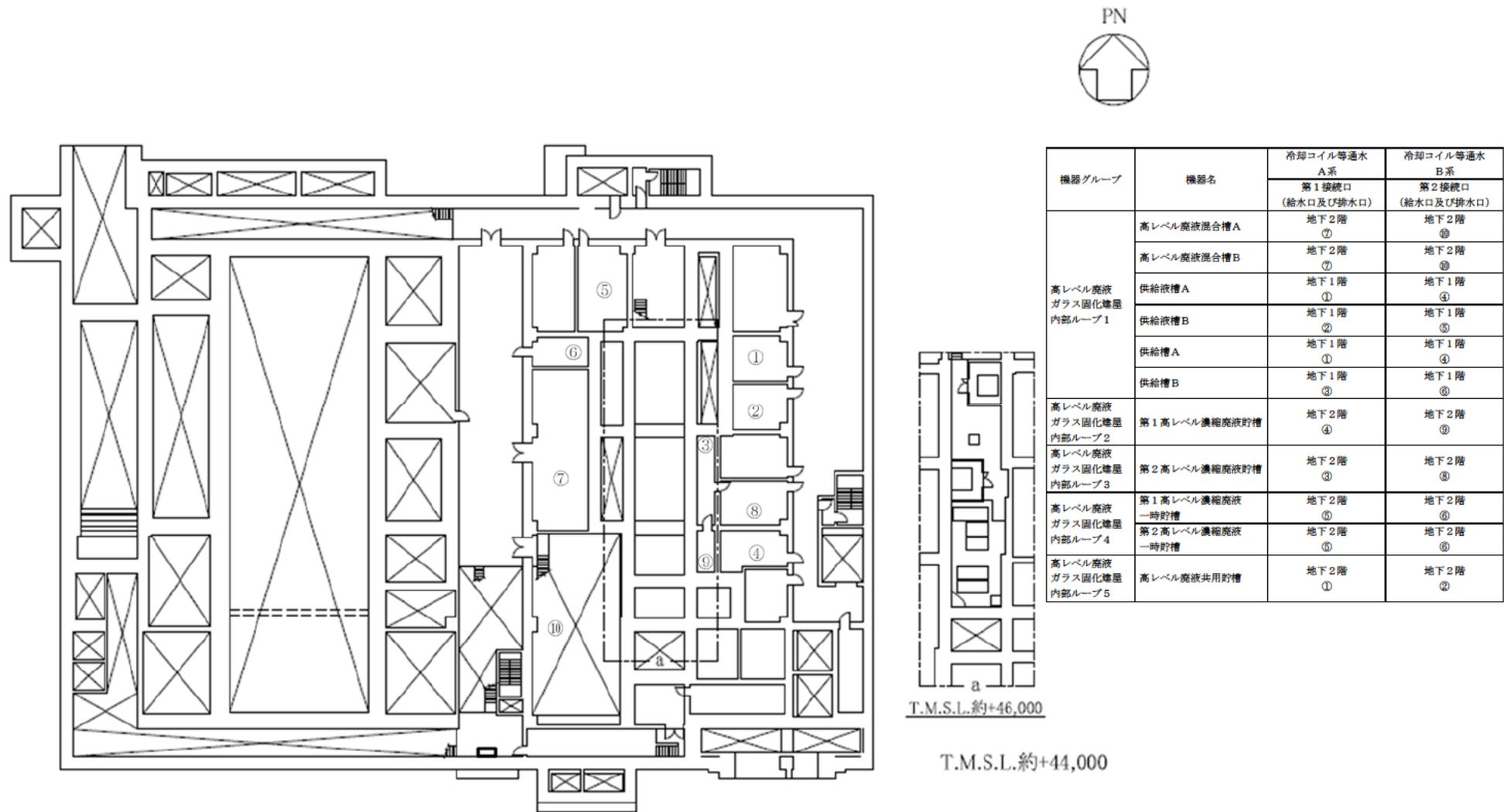


- ※1 常設重大事故等対処設備
- ※2 可搬型重大事故等対処設備
- ※3 高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ1以外の機器グループの
対象貯槽は以下のとおり
高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ2は第1高レベル濃縮廃液貯槽、
高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ3は第2高レベル濃縮廃液貯槽、
高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ4は第1高レベル濃縮廃液一時貯槽
及び第2高レベル濃縮廃液一時貯槽、
高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ5は高レベル廃液共用貯槽

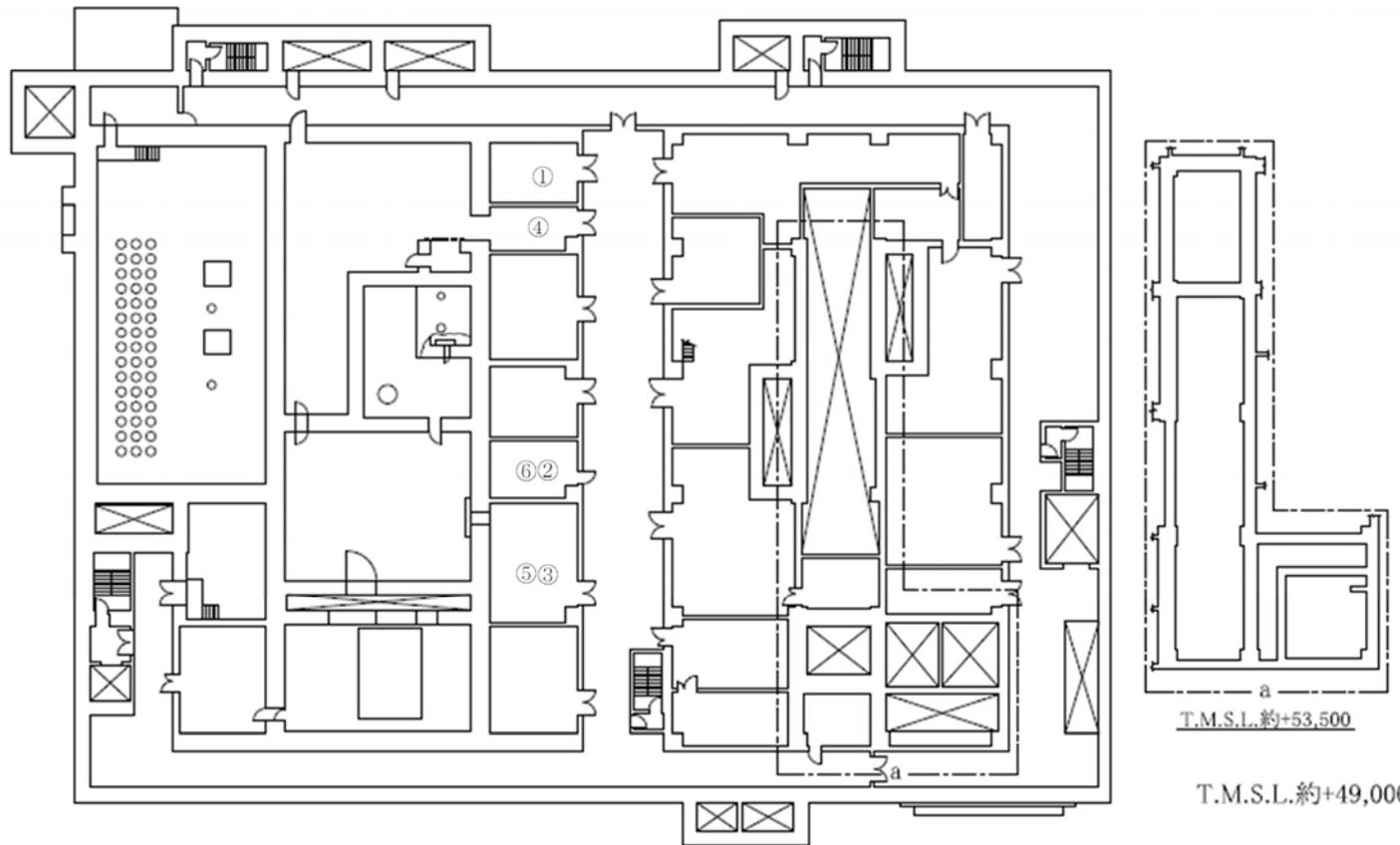
本図は、高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ1の冷却コイル等の第1接続口の接続例である。高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ1の冷却コイル等の第2接続口及び高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ2～5※3の冷却コイル等の接続口に接続した場合も同様の系統である。ただし、接続金具等の個数及び位置は、ホース敷設ルートごとに異なる。

(建屋境界)

蒸発乾固の拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）の系統概要図 高レベル廃液ガラス固化建屋

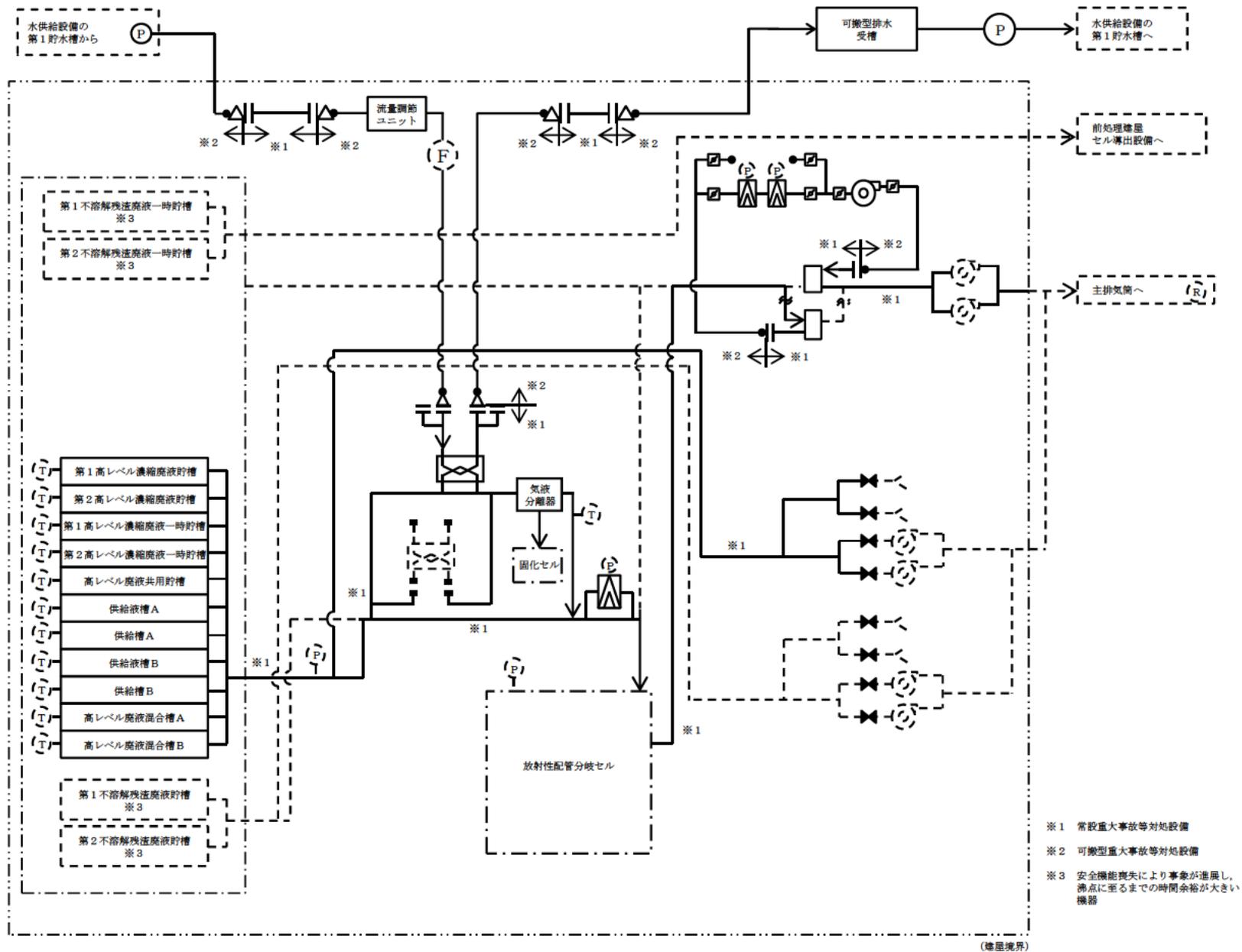


代替安全冷却水系（冷却コイル等への通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下2階）



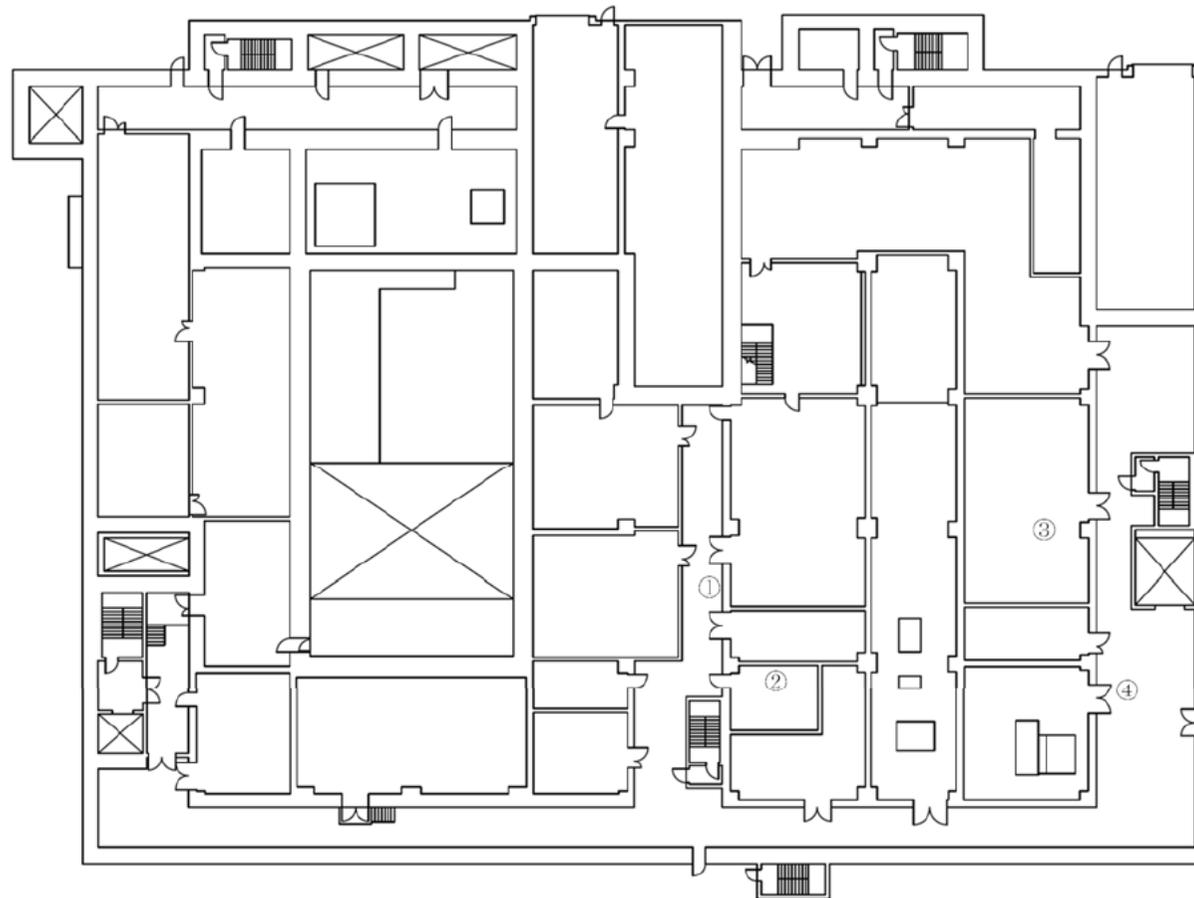
機器グループ	機器名	冷却コイル等通水 A系	冷却コイル等通水 B系
		第1接続口 (給水口及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ 1	高レベル廃液混合槽 A	地下2階 ⑦	地下2階 ⑩
	高レベル廃液混合槽 B	地下2階 ⑦	地下2階 ⑩
	供給液槽 A	地下1階 ①	地下1階 ④
	供給液槽 B	地下1階 ②	地下1階 ⑤
	供給槽 A	地下1階 ①	地下1階 ④
	供給槽 B	地下1階 ③	地下1階 ⑥
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ 2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	地下2階 ④	地下2階 ⑨
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ 3	第2高レベル濃縮廃液貯槽	地下2階 ③	地下2階 ⑧
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ 4	第1高レベル濃縮廃液 一時貯槽	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥
	第2高レベル濃縮廃液 一時貯槽	地下2階 ⑤	地下2階 ⑥
高レベル廃液 ガラス固化建屋 内部ループ 5	高レベル廃液共用貯槽	地下2階 ①	地下2階 ②

代替安全冷却水系（冷却コイル等への通水による冷却）の通水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地下1階）



本図は、セル導出設備の凝縮器の第1接続口の接続例である。セル導出設備の凝縮器の第2接続口及び予備凝縮器に接続した場合も同様の系統である。ただし、第1貯水タンクから凝縮器間の常設重大事故等対処設備、接続金具等の個数及び位置は、ホース敷設ルートごとに異なる。

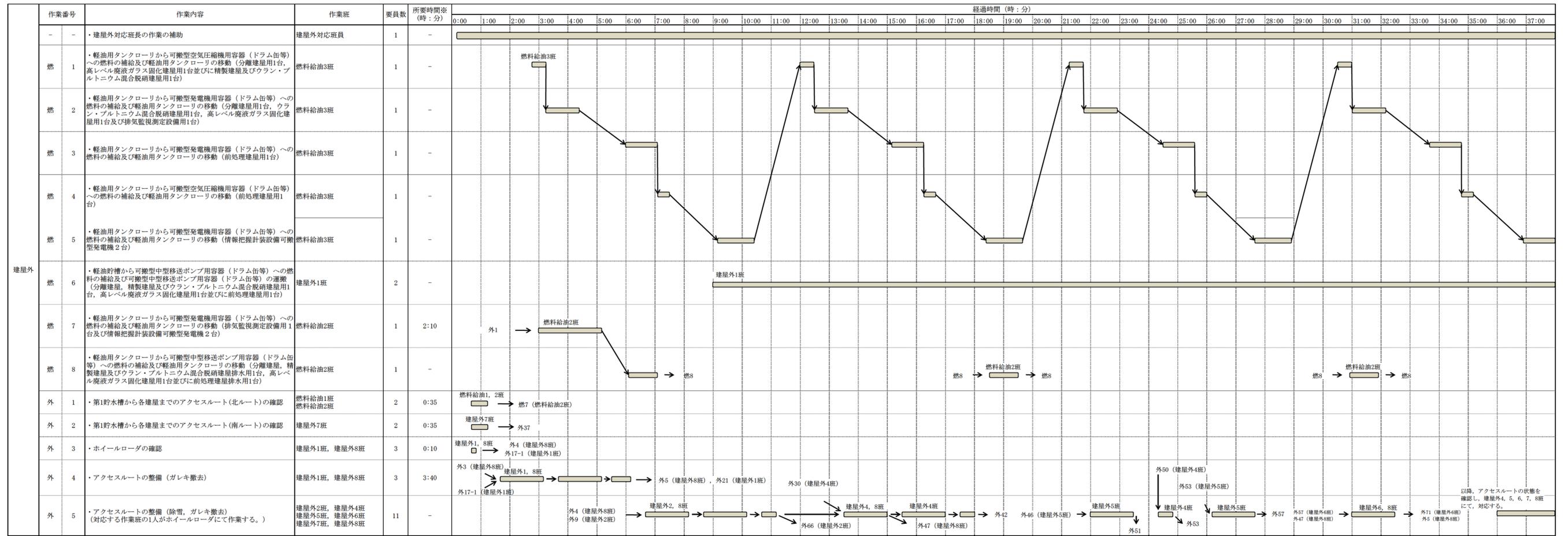
蒸発乾固の拡大防止対策（セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応）の系統概要図
 高レベル廃液ガラス固化建屋



機器名	凝縮器通水	凝縮器通水
	第1接続口 (給水及び排水口)	第2接続口 (給水口及び排水口)
凝縮器	地上1階 ①	地上1階 ②
予備凝縮器	地上1階 ③	地上1階 ④

T.M.S.L.約+55,500

代替安全冷却水系（凝縮器への通水）の通水接続口配置図及び接続口一覧
高レベル廃液ガラス固化建屋（地上1階）



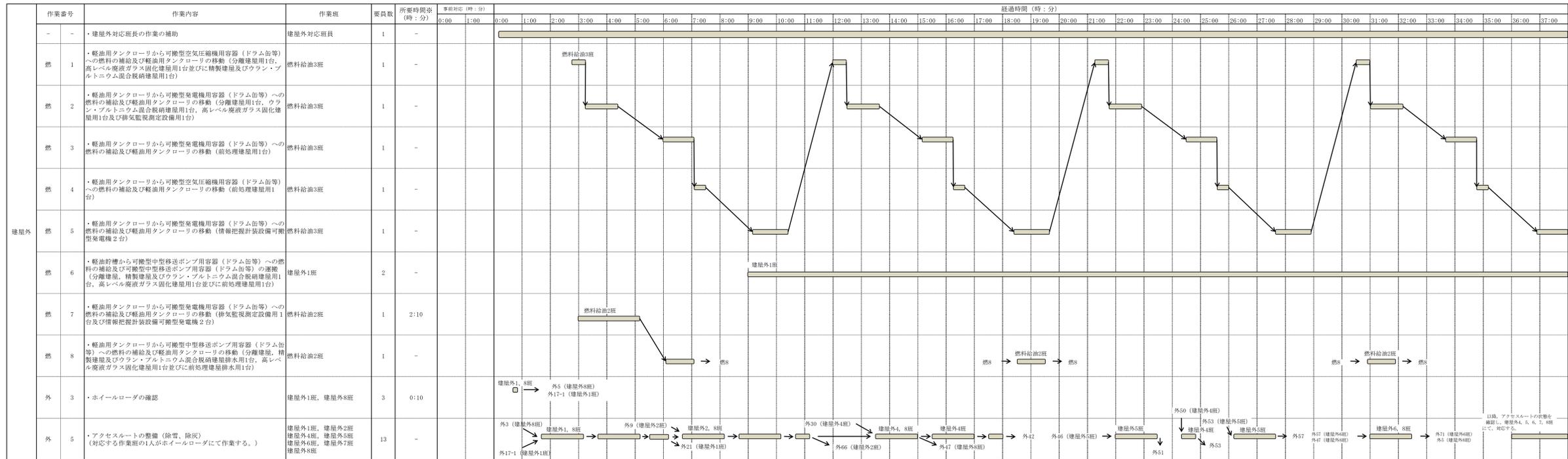
※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

高レベル廃液ガラス固化建屋における地震を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目(その2)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間 (時:分)																																
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00
外 6	・使用する資機材の確認	建屋外2班, 建屋外3班 建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班	10	0:20	建屋外2, 3, 4, 5, 6班																																
外 7	・第1貯水槽取水準備	建屋外2班, 建屋外3班 建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班	10	0:10	建屋外2班, 外10 (建屋外3班), 外11 (建屋外4, 5班), 外25 (建屋外6班)																																
外 8	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外2班	2	0:30	建屋外2班																																
外 9	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 運搬車による可搬型建屋外ホースの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外2班	2	3:30	建屋外2班 → 外5																																
外 10	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外3班	2	0:10	外7 → 建屋外3班																																
外 11	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 可搬型中型移送ポンプの設置及び起動確認	建屋外3班, 建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外7 (建屋外4, 5班) → 建屋外3, 4, 5班 → 外26																																
外 12	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の ホース展開車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外25 (建屋外6班) → 外27																																
外 13	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の ホース展開車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班, 建屋外7班	8	1:10	外27 (建屋外6班) → 建屋外4, 5, 6, 7班 → 外14 (建屋外4班), 外15 (建屋外5, 6, 7班)																																
外 14	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外4班	2	0:30	外13 → 建屋外4班 → 外18																																
外 15	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外13 → 建屋外5, 6, 7班																																
外 16	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の 可搬型排水受槽の運搬車による運搬, 設置及び可搬型建屋外ホース との接続	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外13 → 外64 (建屋外5班), 外65 (建屋外6, 7班)																																
外 18	・精製建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2	0:10	外14 → 建屋外4班 → 外21																																
外 19	・分離建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外17-2 → 建屋外3班 → 外22																																
外 20	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースと可 搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外22 → 建屋外3班 → 外40																																
外 21	・精製建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班, 建屋外4班	4	0:30	外4 (建屋外1班), 外18 (建屋外4班) → 建屋外1, 4班 → 外30 (建屋外4班), 外24 (建屋外1班)																																
外 22	・分離建屋への水の供給流量及び圧力の調整 (必要に応じ精製建屋 側も調整)	建屋外1班, 建屋外3班	4	0:35	外19 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 3班 → 外20 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班)																																
外 23	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給流量及び圧力の 調整 (必要に応じ分離建屋及び精製建屋側も実施)	建屋外1班, 建屋外2班	4	1:40	建屋外1班 → 外66 (建屋外2班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 2班 → 外66 (建屋外2班), 外24 (建屋外1班)																																
外 24	・分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への 水の供給及び状態監視 (流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	-	建屋外1班																																
外 25	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車に よる可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2	0:10	外7 → 建屋外6班 → 外12																																
外 26	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置及 び起動確認	建屋外3班, 建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外11 → 建屋外3, 4, 5班 → 外38 (建屋外4, 5班), 外39 (建屋外3班)																																
外 27	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展開車で敷設する可搬型 建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外12 → 建屋外6班 → 外13																																
外 28	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外 ホースの準備 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:00	外39 → 建屋外3班																																
外 29	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホ ースの設置 (金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:30	外21 (建屋外4班), 外65 (建屋外5, 6, 7班) → 外17-2 → 建屋外4, 5, 6, 7班 → 外5 (建屋外4班), 外32 (建屋外5, 6, 7班)																																
外 30	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展開車による可搬型建屋 外ホースの敷設及び接続	建屋外4班, 建屋外5班 建屋外6班, 建屋外7班	8	2:00	外21 (建屋外4班), 外65 (建屋外5, 6, 7班) → 建屋外4, 5, 6, 7班 → 外5 (建屋外4班), 外32 (建屋外5, 6, 7班)																																
外 31	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2	0:30	外24 → 建屋外1班 → 外24																																
外 32	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外30 → 建屋外5, 6, 7班																																
外 33	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型排水受槽の運搬車による 運搬, 設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班, 建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外30 → 外67 (建屋外6班), 外68 (建屋外5, 7班)																																
外 34	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの可搬型建 屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外41 → 建屋外3班 → 外35																																
外 35	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班, 建屋外3班	4	0:30	外34 (建屋外3班), 外24 (建屋外1班) → 建屋外1, 3班 → 外69 (建屋外3班), 外24, 36 (建屋外1班)																																
外 36	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給及び状態監視 (流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	-	建屋外1班																																

※: 各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

高レベル廃液ガラス固化建屋における地震を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目 (その3)



高レベル廃液ガラス固化建屋における火山を想定した場合の内部ループへの通水に必要な要員及び作業項目（その2）

